

とっとりキャンパスライフ2021

令和3年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

発行 鳥取大学学生部学生生活課
〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話 0857-31-5058

編集 鳥取大学学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会

2022年3月発行

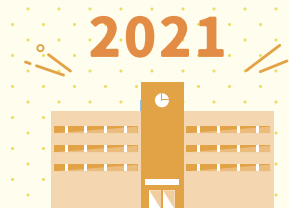
※本報告書利用上の注意

本報告書に掲載されている本学独自の調査データを、引用・転載・コピーして二次利用されることは自由ですが、利用された場合は上記編集委員会（事務担当は発行者欄に記載）宛に利用内容をご報告願います。

とっとりキャンパスライフ 2021

令和3年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書

鳥取大学



とっとりキャンパスライフ

令和3年度 鳥取大学学生生活実態調査報告書



はじめに

この報告書は、令和3（2021）年10月に実施した学生生活実態調査の結果を取りまとめたものです。

学生生活実態調査は、法人化される前の国立大学時代から実施していた定期調査（当時は4年に1度）を引き継ぎ、「本学学生 の生活実態を把握し、学生 の教育及び福利厚生 の改善並びに充実のための基礎資料を得る」ため、およそ隔年（2年毎）で実施してきました。前回調査は平成30（2018）年度でしたので、本来昨年度が調査年度に当たりましたが、日本学生支援機構が隔年実施する類似の調査と実施年が重複していたため、質問の重複や回答の長時間化による回答率の低下を懸念して本年度に持ち越したという経緯があります。

なお、平成22（2010）年度からの調査結果は、鳥取大学のホームページでも公表されています。（<https://www.tottori-u.ac.jp/campuslife/life/investigation/>）

令和2（2020）年の春から日本でも流行が始まった新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大はいまだ終息の気配を見せず、令和4（2022）年2月現在、これまでよりも感染者数が格段に多い第6波の真最中です。この調査を行った10月は夏の第5波が収まりかけた時期でしたが、鳥取大学における学生生活も、対面授業に代わるオンライン／オンデマンド授業の実施、課外活動の制限、就職活動のオンライン化、アルバイトの減少など、大きく影響を受けています。否応なしにそのような状況に置かれた学生達の生活実態に関する真面目な回答が、多くの自由記述とともに寄せられました。前回までの調査と同様に貴重な資料が得られたものと考えています。

調査結果の信頼性を確保するためには、回答率が気になる点です。今回調査の回答率は、関係者の努力や景品配布の試行にもかかわらず、前回よりも約6ポイント低い40.3%に留まりました。分岐設問も加えた設問数は100近くになっており、回答に時間を要することも一因と思われ、回答率向上のためには調査項目を絞り込んでいく必要があります。他方、寄せられた多くの自由記述回答は、改善や充実のために協力し意見を述べようとする学生の意欲の顕れであり、それらに真摯に向き合うとともに、調査結果が大学の改善に活用されていることを更に広報していくことも大切だと考えています。

回答いただいた全ての学生諸君、回答率向上のために労を取っていただいた各部局長や関係教職員、学生生活支援委員会委員、また、調査内容の検討から準備、データ整理、分析、報告書編集まで実働に携わられた学生生活実態調査専門委員会委員や学生生活課職員、技術部職員をはじめ、本調査にご協力をいただいたすべての学生・教職員の皆様にあらためて感謝します。

令和4年3月
鳥取大学 学生生活支援委員会
学生生活実態調査専門委員会 委員長

後藤 知伸

目次

はじめに	1
目次	2
調査・集計・編集の概要	3
Ⅰ. 基本編	
経済状況や居住環境、勉強やサークル活動など、日常の学生生活について回答してもらいました。	
住居・通学方法について	5
課外活動について	8
アルバイトについて	11
就職について	14
カリキュラムについて	16
家計状況について	21
学生生活について	27

Ⅱ. 学生支援体制編	
鳥取大学の学習環境、学生生活へのサポート体制について感じていることを回答してもらいました。	
学習支援体制について	35
経済支援体制について	42
生活支援体制について	45
就職支援体制について	48
その他	51

Ⅲ. 感染症編	
令和2（2020）年からの新型コロナウイルス感染拡大による大学生活への影響や心配事などについて回答してもらいました。	
新型コロナウイルス対策について	57

参考資料	
今回のアンケートを行うにあたり、学生に回答してもらった設問を記載しています。	
アンケート調査票	63

学生生活実態調査専門委員会 名簿

委員長	後藤 知伸	学生支援センター長	令 3.4.1～
	佐藤 匡	地域学部 准教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	藤井 進也	医学部 教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	増井 敏行	工学部 教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	河野 強	農学部 教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	武田 元有	教育支援・国際交流推進機構(高等教育開発センター) 教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	森川 修	教育支援・国際交流推進機構(入学センター) 准教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	桐山 聰	教育支援・国際交流推進機構(教養教育センター) 准教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	井上 菜穂	教育支援・国際交流推進機構(学生支援センター) 准教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	長尾 博暢	教育支援・国際交流推進機構(キャリアセンター) 准教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	三島 香津子	保健管理センター 教授	令 3.4.1～令 5.3.31
	森本 拡伸	学生部学生生活課 課長	令 3.4.1～
	植田 美穂子	学生部学生生活課 副課長	令 3.4.1～令 5.3.31
	西尾 憲二	学生部学生生活課 学生支援係長	令 3.8.1～令 4.3.31
	大野 賢一	学長室 教授	令 2.4.1～令 4.3.31

調査・集計・編集の概要

- 調査の目的

本調査は、本学学生の生活実態を把握し、学生の教育及び
 福利厚生改善並びに充実のための基礎資料を得ることを目的とする。
- 調査期間

令和3年10月1日～10月31日
- 調査の対象

令和3年9月1日現在に在籍する学部及び大学院学生全員
 (ただし、休学者、外国人留学生、連合獣医学研究科の全学生、連合農学研究科の他大学配置学生及び調査
 開始までに卒業・修了等により学籍を喪失する者を除く。)
- 調査の方法

Webシステムによるアンケート調査
- 集計の方法

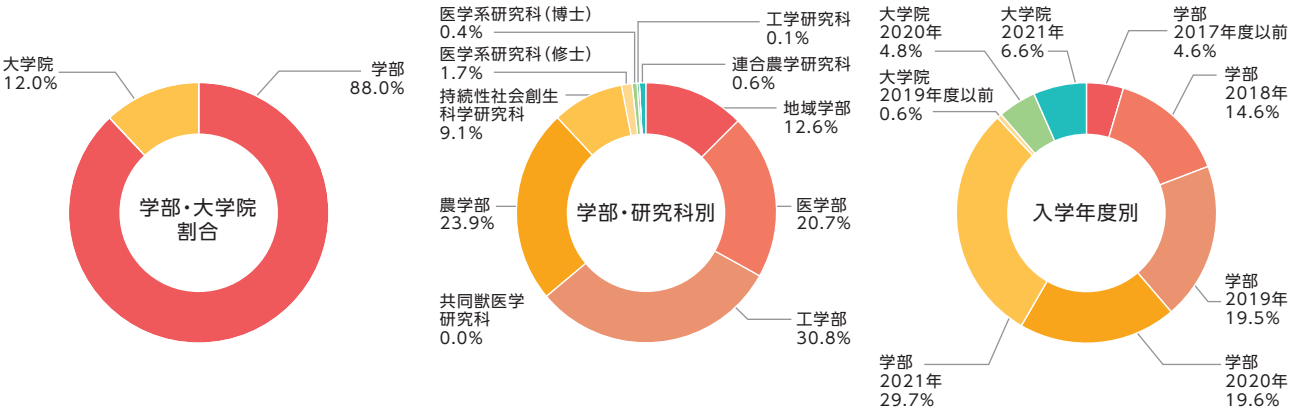
所属、入学年度等の基本情報に基づき、設問毎に統計的にデータの集計を行った。
 (なお、構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計値が100%にならないことがある。)
- 編集の方法

各回答の集計データを基に、学生生活実態調査専門委員会が分析を行った。
 (なお、回答者数が5名以下の学部等は個別の集計の表示を省略しています)

調査表の
回収状況

学部・研究科	回収者数(人)	対象者数(人)	回答率(%)
地域学部	297	707	42.0%
医学部	487	1322	36.8%
工学部	723	1880	38.5%
農学部	562	1116	50.4%
持続性社会創生科学研究科	213	502	42.4%
医学系研究科(修士)	41	96	42.7%
医学系研究科(博士)	9	132	6.8%
工学研究科	3	41	7.3%
共同獣医学研究科	1	10	10.0%
連合農学研究科	14	22	63.6%
総計	2350	5828	40.3%

調査に協力してくれた学生



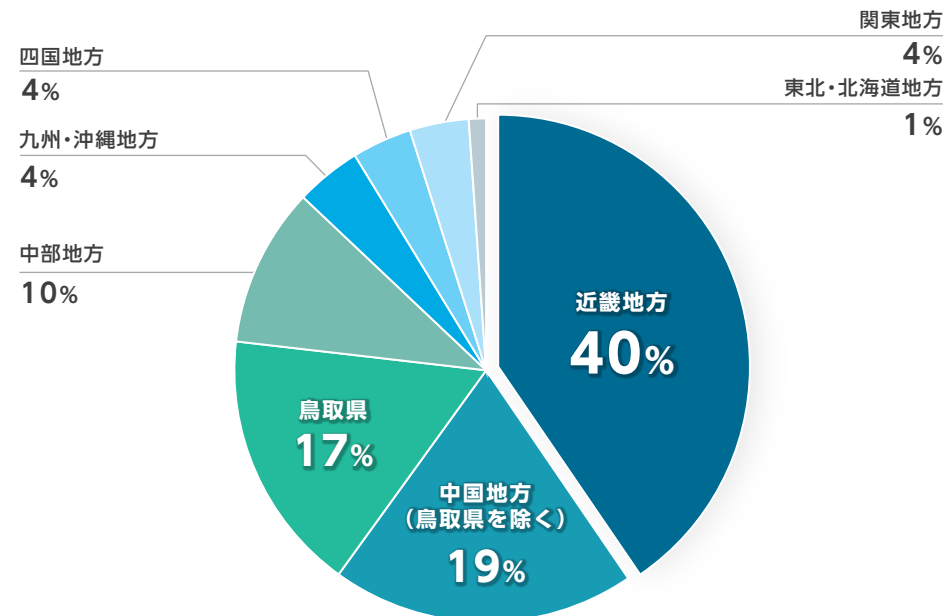
基本編

経済状況や居住環境、勉強やサークル活動など、
 日常の学生生活について回答してもらいました。

01

あなたの出身地域はどこですか。

大学全体



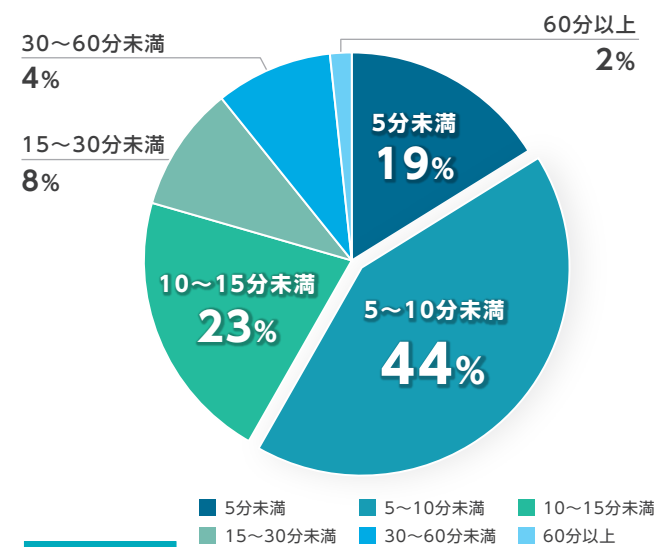
Comment

鳥取県内出身は20%未満で、中国地方全体としても36%です。これに対し近畿地方出身が40%とこれを上回る結果ですが、人口規模のみならず交通の利便性が要因とも思われます。学部別にみると、地域学部・医学部は地元出身者の比率が高めなのに比べ、農学部・工学部は相対的に低めとなっています。

02

あなたの通学時間[片道]はどのくらいですか。

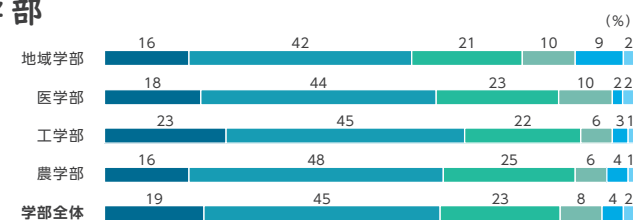
大学全体



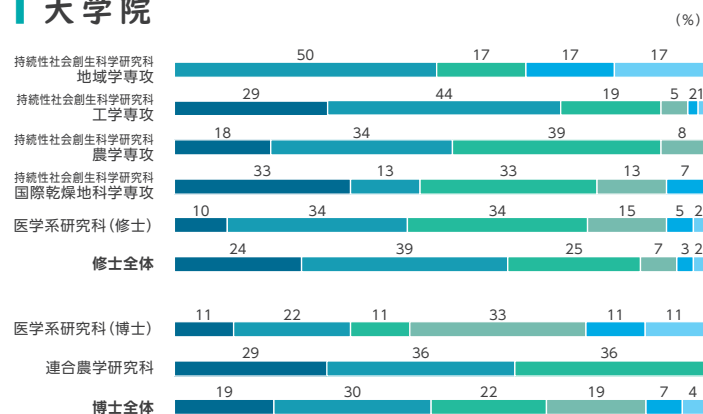
Comment

回答者のうち63%が通学時間10分未満と近場からの通学が多いことがわかりますが、県内出身が3割を占める地域学部では、実家からの通学者が多いためか、30分以上かけて通学する学生も10%程度存在します。

学部



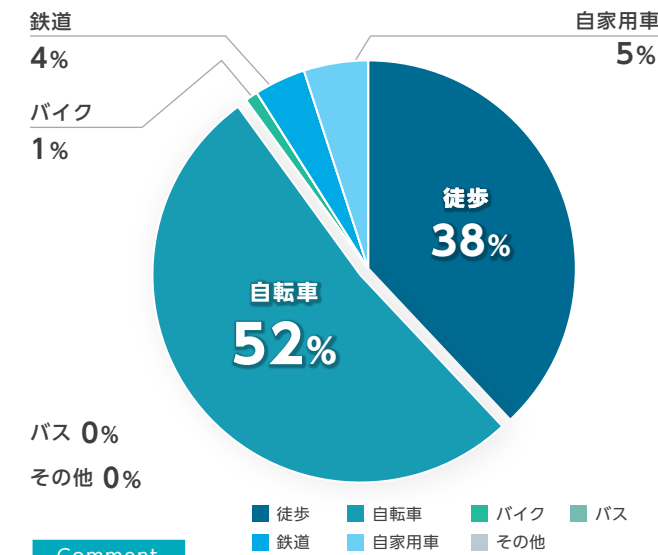
大学院



03

あなたの通学方法は何ですか。
[乗継の場合は最も長い区間の手段を選んでください。]

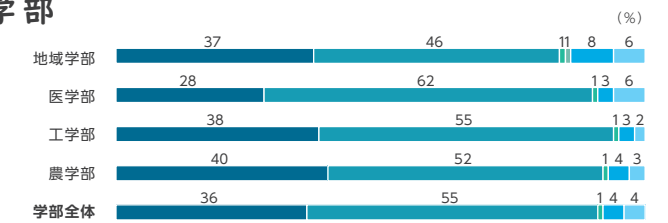
大学全体



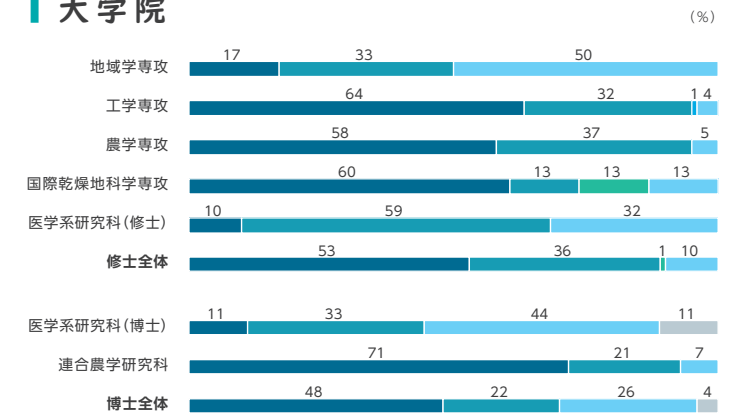
Comment

38%が徒歩、52%が自転車通学で、全体の9割を占めています。問4とも関連しますが、ほとんどの学生が近隣のアパートに住んでいることと合致しています。ただし地域学部の学生については、実家から通っている比率が多いせいか、鉄道を利用する割合が他に比べ多い傾向があります。

学部



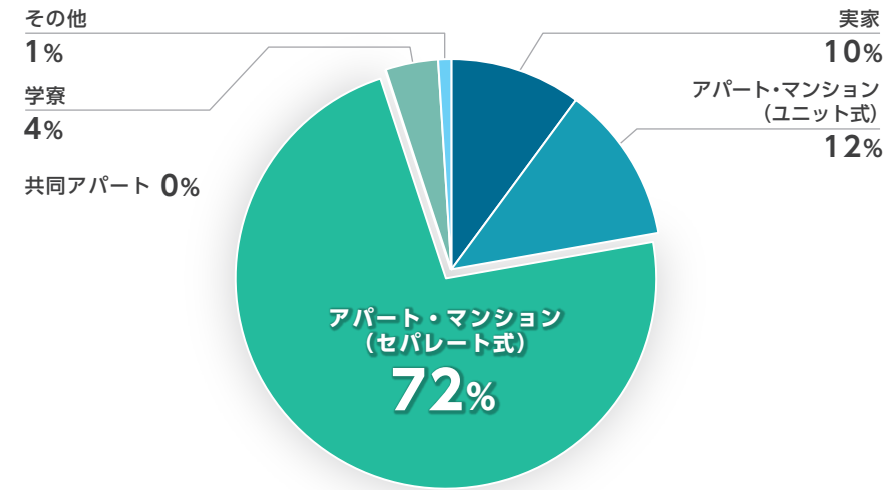
大学院



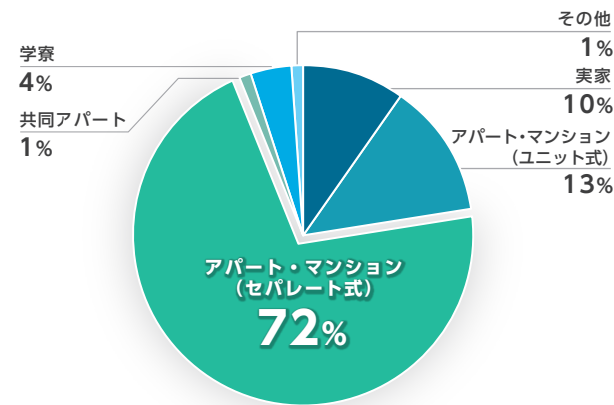
04

あなたの住居の種別はどれですか。

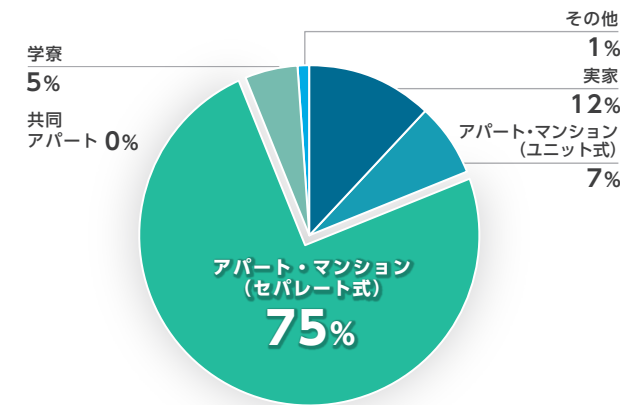
大学全体



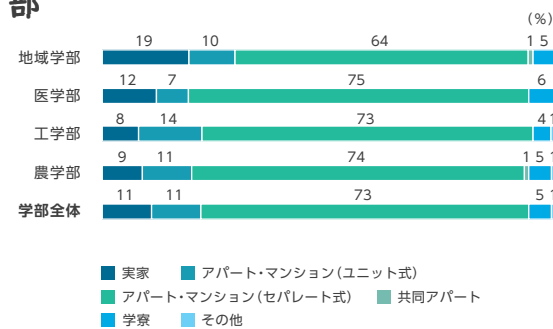
鳥取地区



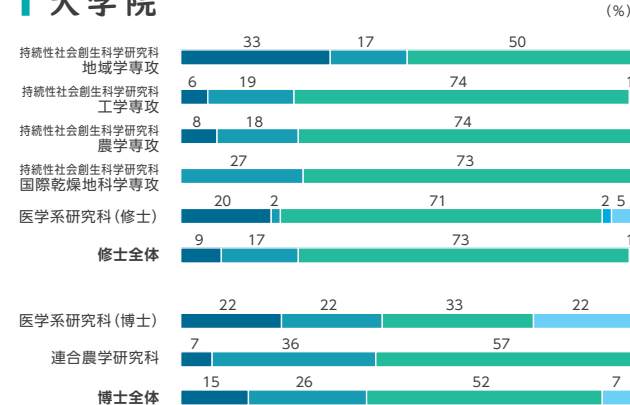
米子地区



学部



大学院



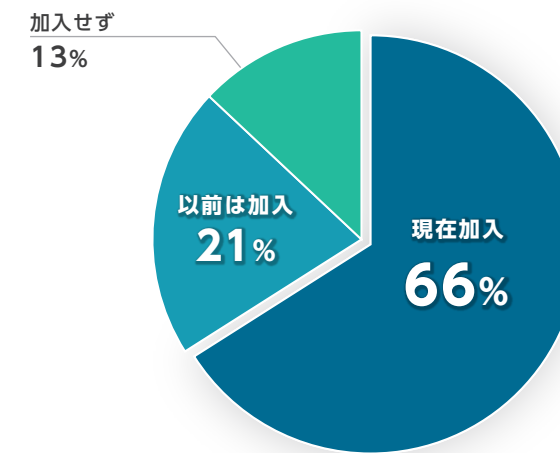
Comment

回答者のうち10%が実家住まいで、90%がアパート・マンション等で生活しているという結果ですが、共同アパート居住者はほとんどいないようです。部屋の構造については、トイレとお風呂がそれぞれ分かれているセパレート式を選択する学生が圧倒的に多いこともわかります。

05

あなたは、現在サークル等[同好会を含む]に入っていますか。

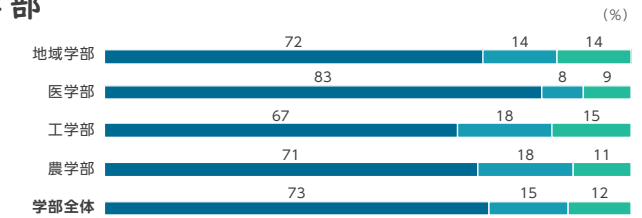
大学全体



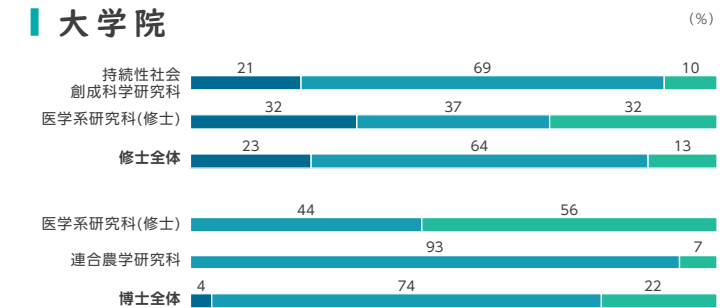
Comment

66%の学生が何らかのサークルに加入し活動しており、過去に加入していた者も含めると9割近い学生が何かしらのサークルに加入した経験があることがわかります。また、修士課程学生でも2割程度はサークル活動を行っているようです。

学部



大学院



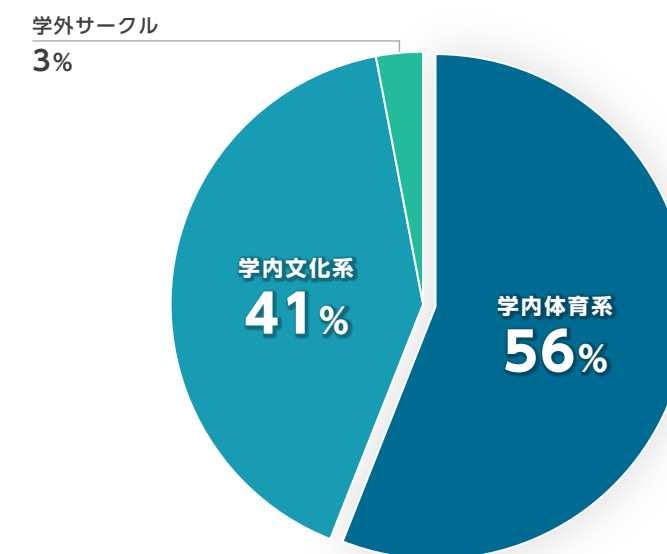
■ 現在加入 ■ 以前は加入 ■ 加入せず

06-1

あなたは、どのようなサークル等[同好会を含む]に入っていますか(または入っていましたか)。

(問5で加入している又は以前加入していたが、現在加入していないと答えた人に尋ねます)

大学全体



Comment

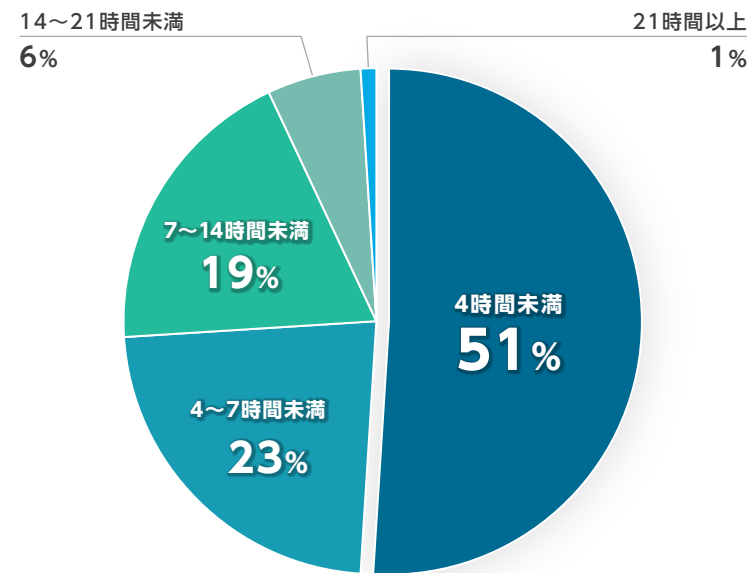
所属するサークルを活動内容で分類すると、体育系サークル所属が56%、文化系サークル所属が41%となり、体育系サークルのほうが加入率が高いことがわかります。ただし地域学部学生に関しては、文化系サークルの加入率が高くなっています。

06-2

あなたは、サークル等で
1週間平均何時間くらい活動していますか。

(問5で加入している又は以前加入していたが、現在加入していないと答えた人に尋ねます)

大学全体



Comment

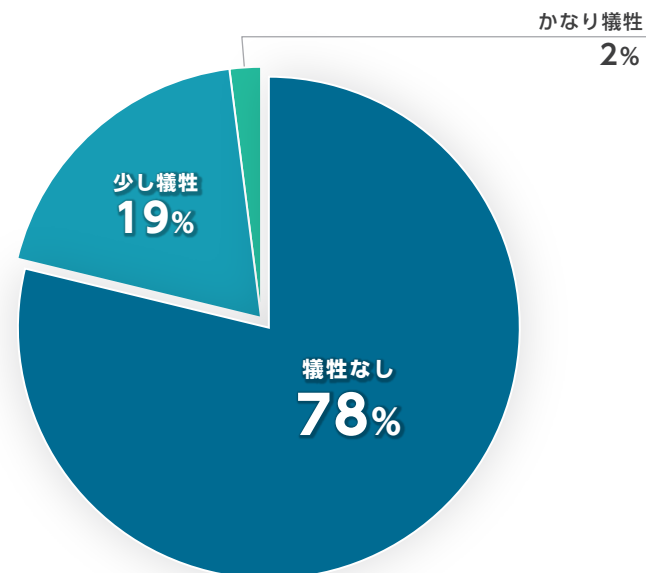
回答者のうち51%が1週間平均4時間未満の活動のようです。少ないようにも感じますが、前回調査時(48%)と大きな隔たりもなく、大学の課外活動の現在の状況だと言えます。学部、大学院の別を問わず、活動時間には同様の傾向がみられます。

06-3

サークル活動と学業の関係はどうか。

(問5で加入している又は以前加入していたが、現在加入していないと答えた人に尋ねます)

大学全体



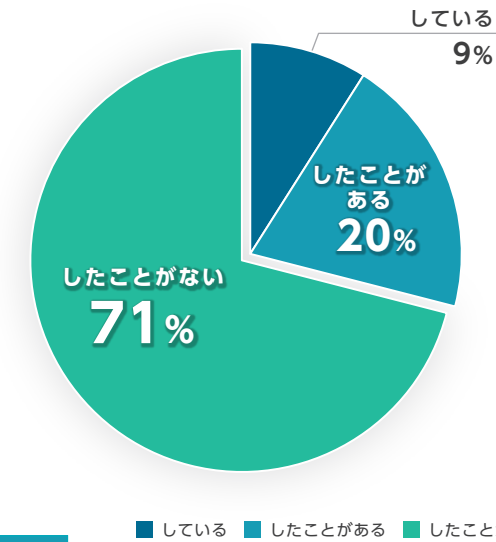
Comment

学生の多く(8割程度)は、学業に差支えない範囲でサークル活動を行っていることがうかがえます。他方「かなり犠牲にしている」と「少し犠牲にしている」と答えた学生は21%ですが、前回調査時(32%)と比較すると減少しています。

07

あなたは、直近1年間にボランティア活動をしていますか。
またはしたことがありますか。

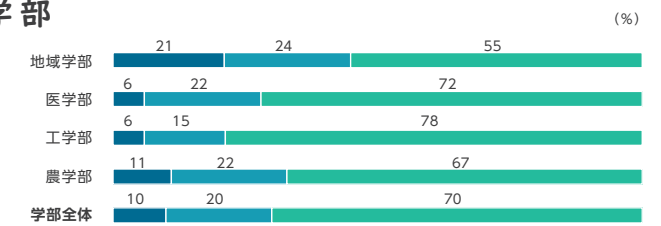
大学全体



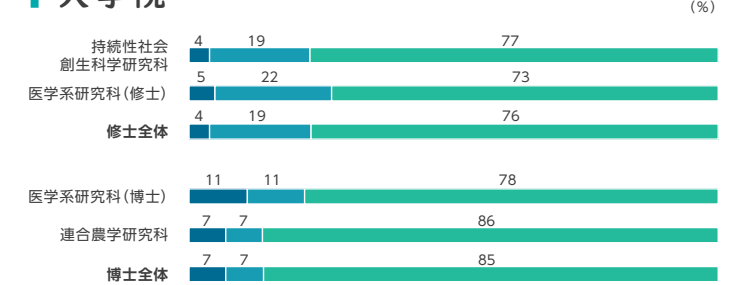
Comment

ボランティア活動を「している」、「したことがある」という学生は3割近くにとどまっていますが、地域学部に限っては、教育内容が地域とつながりが強いこともあってか45%と他の学部に比べ高い数値となっています。

学部



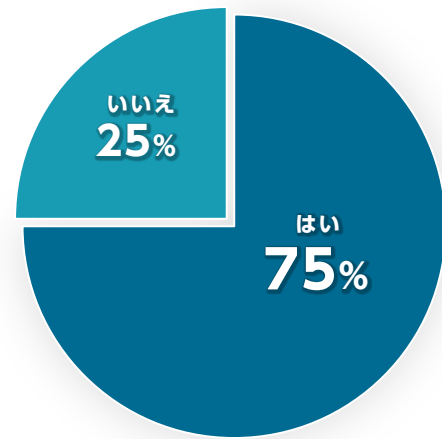
大学院



08

あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

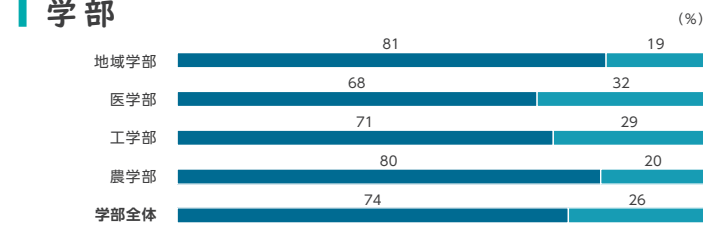
大学全体



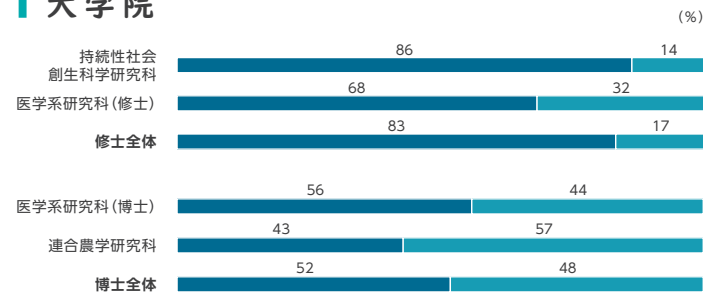
Comment

大学全体では75%と、3/4の学生が直近1年間にアルバイトを経験しています。学部・大学院で比較すると、学部生のアルバイト経験者は74%ですが、大学院生になると経験者の割合は80%に上昇しています。

学部



大学院



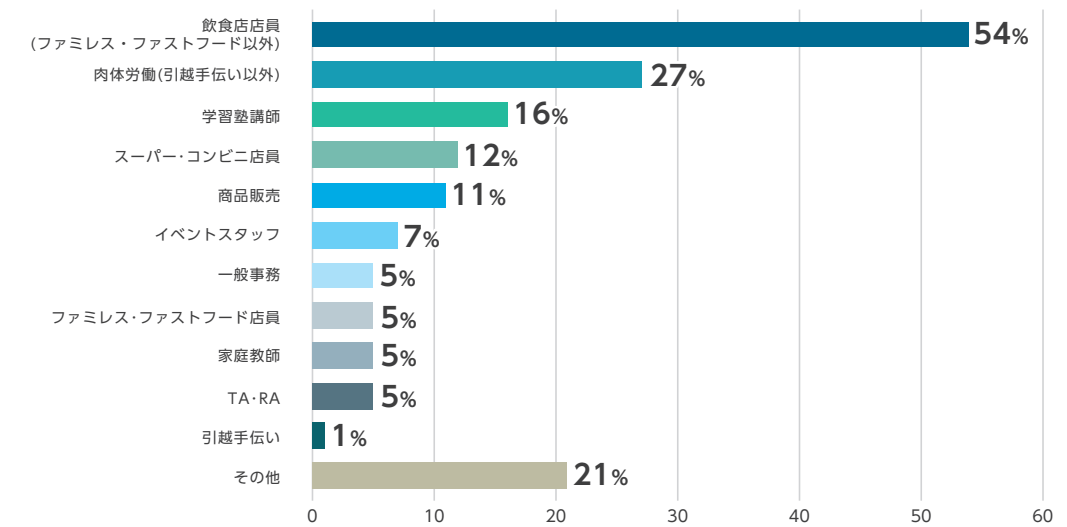
■ はい ■ いいえ

09-2

直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。
〔複数選択可能〕

(問8の質問ではいと答えた人に尋ねます)

大学全体



Comment

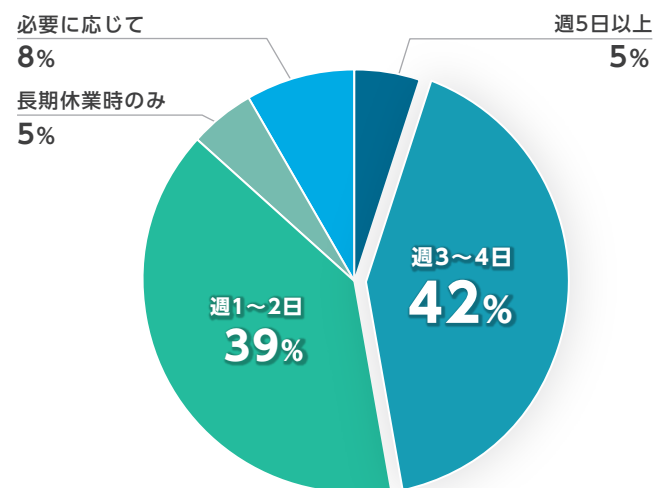
アルバイト先の職種としては「飲食店員(ファミレス・ファストフード以外)」が54%で最多です。学部生では、医学部生の「家庭教師」「学習塾講師」従事者の割合が他学部に比べて多くなっています。大学院生になると、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」の割合が著しく増加します。

09-1

あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

(問8の質問ではいと答えた人に尋ねます)

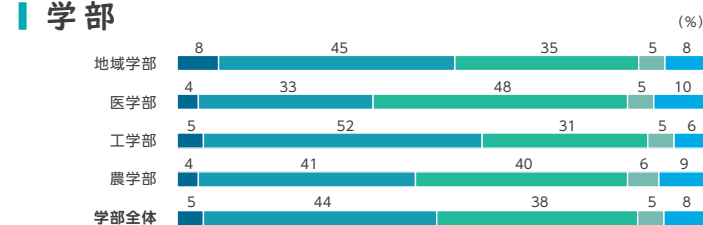
大学全体



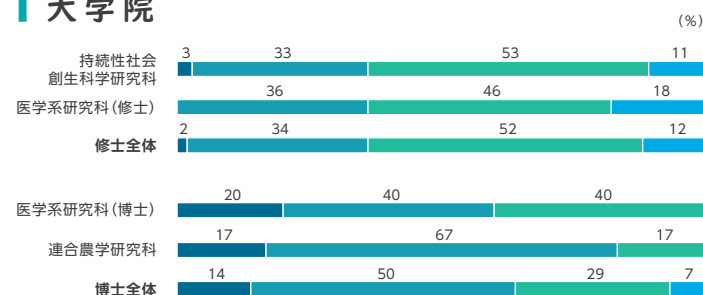
Comment

大学全体では、「週3～4日」と「週1～2日」がそれぞれ4割前後を占めています。学部・大学院で比較すると、学部生は「週3～4日」が44%と最多であるのに対し、大学院生は「週1～2日」が51%を占めて最多となっており、アルバイト日数がやや少なくなっています。

学部



大学院



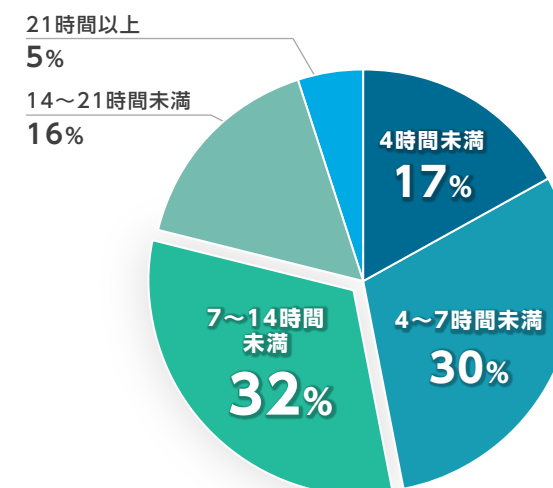
■ 週5日以上 ■ 週3～4日 ■ 週1～2日
■ 必要に応じて ■ 長期休業時のみ

09-3

1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

(問8の質問ではいと答えた人に尋ねます)

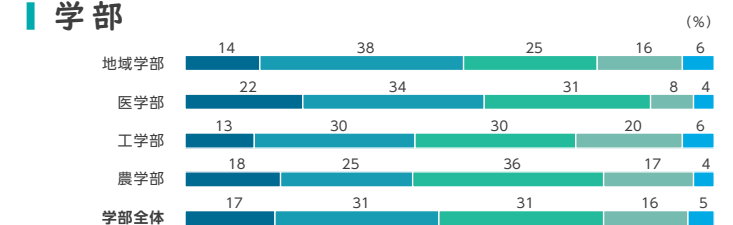
大学全体



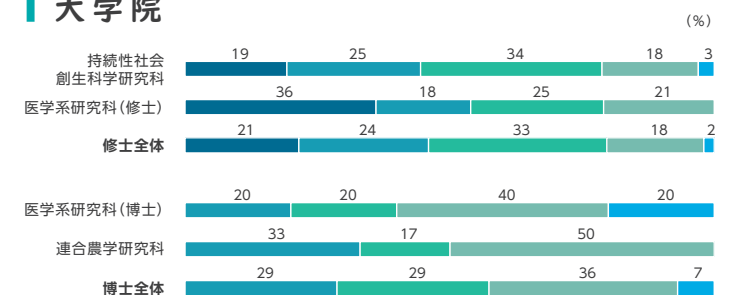
Comment

大学全体では、「週4～7時間未満」と「週7～14時間未満」がいずれも約30%を占めています。学部生ではこれらがともに31%であるのに対し、大学院生では、「週4～7時間未満」が24%、「週7～14時間未満」が33%となり、やや長い時間アルバイトに従事しています。

学部



大学院



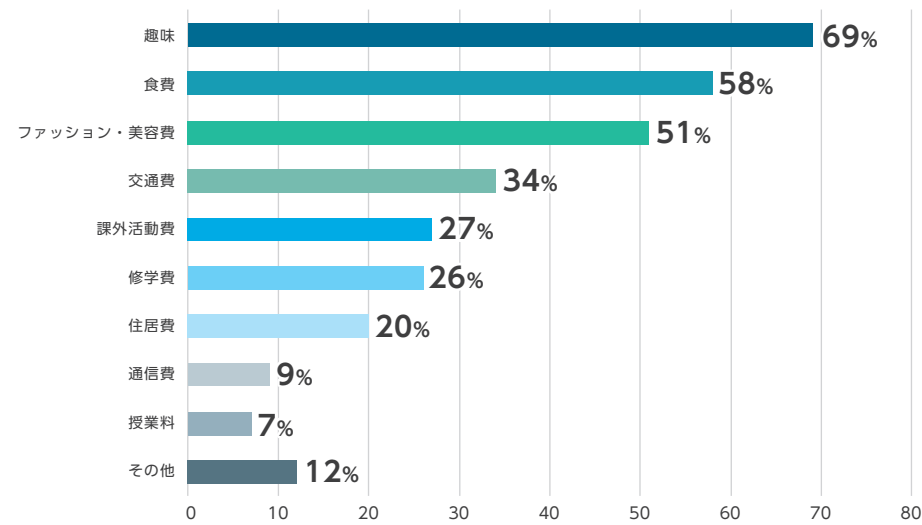
■ 4時間未満 ■ 4～7時間未満 ■ 7～14時間未満
■ 14～21時間未満 ■ 21時間以上

09-4

アルバイトの収入は、何に使いましたか。
または何に使う予定ですか。〔複数選択可能〕

(問8の質問ではいと答えた人に尋ねます)

大学全体



Comment

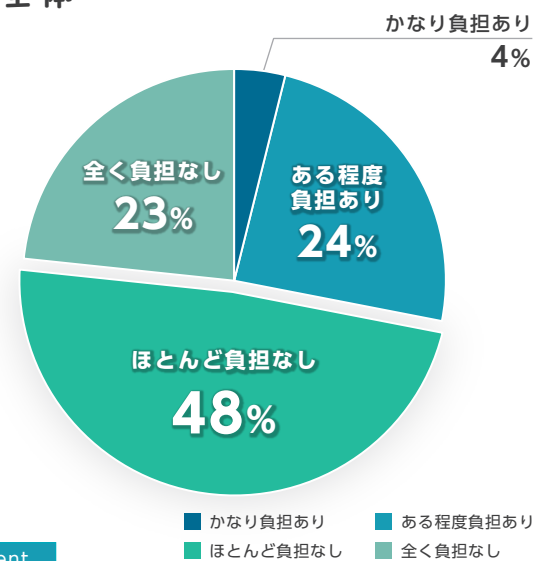
大学全体では、割合が高いものから順に、「趣味」(69%)、「食費」(58%)、「ファッション・美容費」(51%)、交通費(34%)となっています。学部・大学院で比較すると、特に大学院博士後期課程で「修学費」、「食費」、「住居費」、「授業料」の割合が高く、アルバイトで学費や生活費を補完する傾向が見られます。

09-5

アルバイトが修学上、負担になっていますか。

(問8の質問ではいと答えた人に尋ねます)

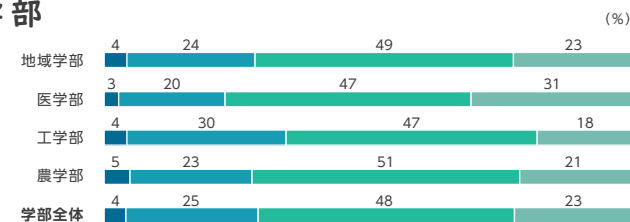
大学全体



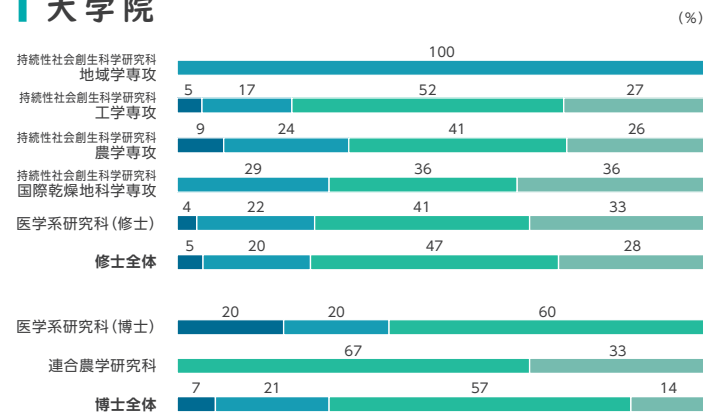
Comment

学部生・大学院生ともに「ほとんど負担なし」が最も多く(48%)、次いで「ある程度負担あり」(24%)と「全く負担なし」(23%)が拮抗しています。概ね大学全体で類似の傾向が見えますが、工学部生については、「全く負担なし」の割合が他学部に比べて少なく、「ある程度負担あり」の割合が多くなっています。

学部



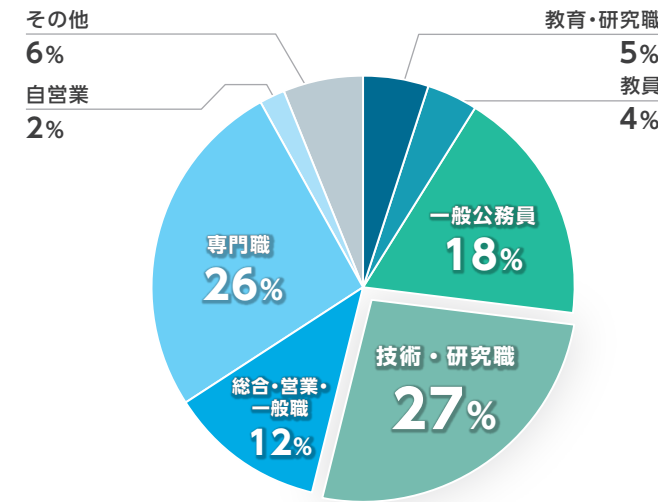
大学院



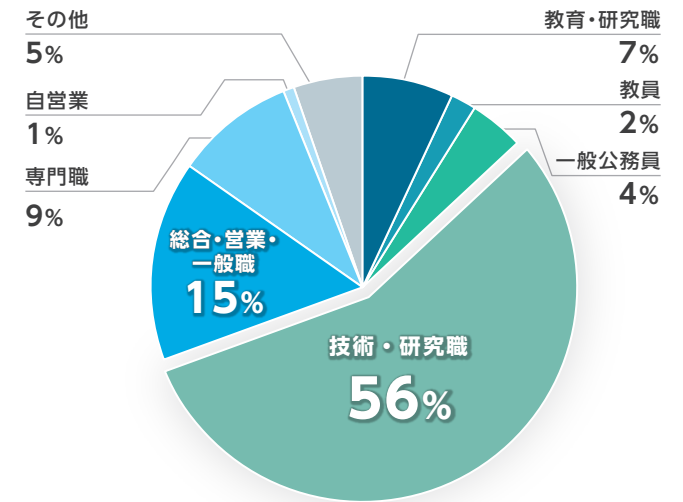
10

あなたは、将来主にどのような職業に就きたいと思いますか。

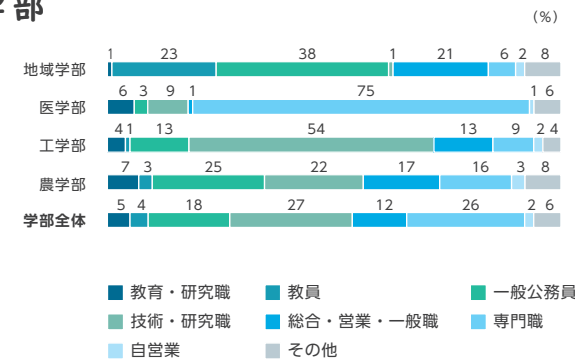
学部全体



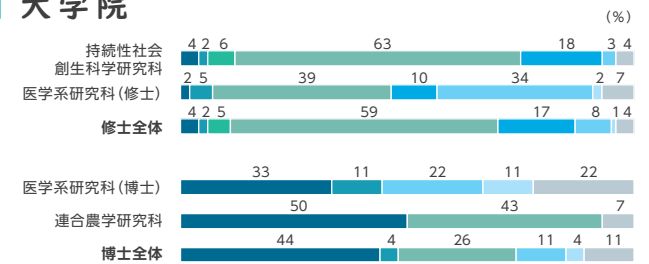
大学院全体



学部



大学院



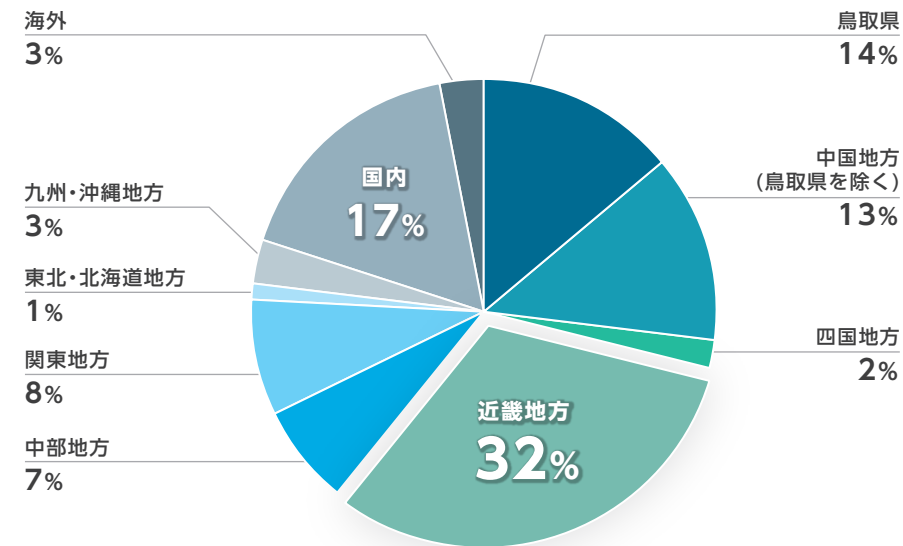
Comment

「資格を要する専門職」は医学部で、「企業等の技術・研究職」は工学部や大学院の工学専攻・農学専攻、医学系研究科(修士)で最多の回答を集めました。「一般公務員」は、地域学部のほか農学部でも最多割合でした。また「教員」と回答した学部生の3/4は地域学部で、次いで2割弱が農学部でした。

11

あなたが就職するとした場合、
勤務地は主にどこを希望しますか。

大学全体



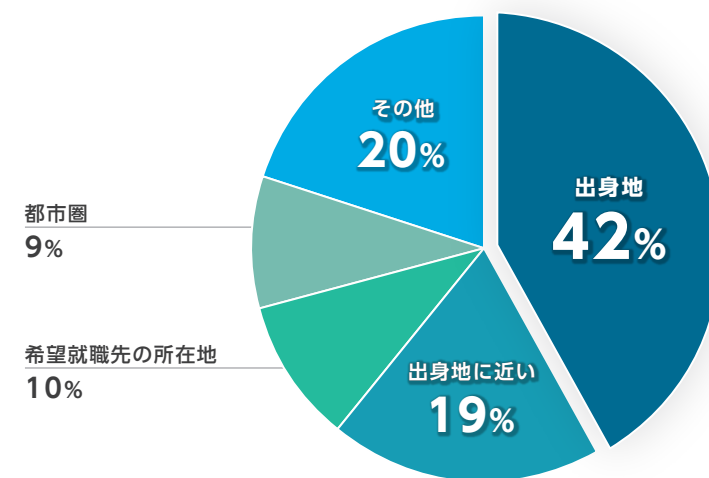
Comment

大学全体・学部全体・修士全体の各区分で「近畿地方」が最も回答を集めました。学部全体では、鳥取県を含む中国地方が近畿に次ぐ割合を占めた一方、修士全体では、特定の地方や出身地に限定しない「国内」が1/4を占めるなど、学部生と大学院生で勤務地についての考え方が異なる結果となりました。

12

勤務地として希望している主な理由は何ですか。

大学全体



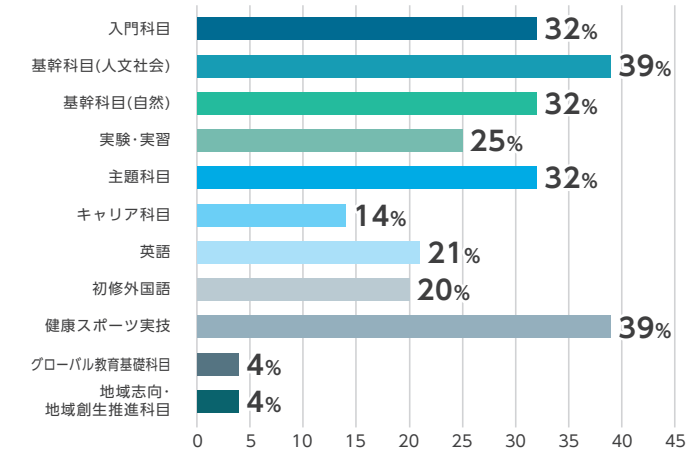
Comment

学部生の場合、どの学部とも「出身地だから」が最も多くの回答を集めました。他方で大学院生の場合は学部生よりも回答が分散しました。この傾向は前回調査でも同様で、身に付けた知識や技術の専門性を活かすことができるなど、勤務地に求めるものが出身地との関係性ばかりではないことが読み取れます。

13-1

全学共通科目について、満足している授業科目の区分を
全て選んでください。[複数選択可能] (学部学生の人に尋ねます)

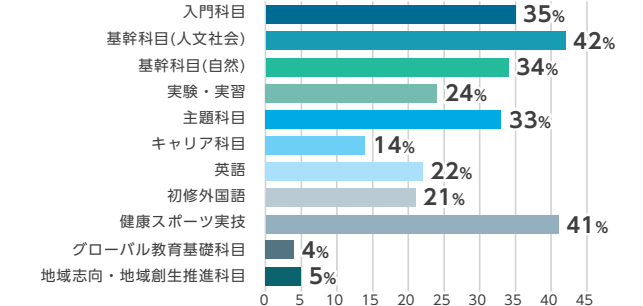
学部全体



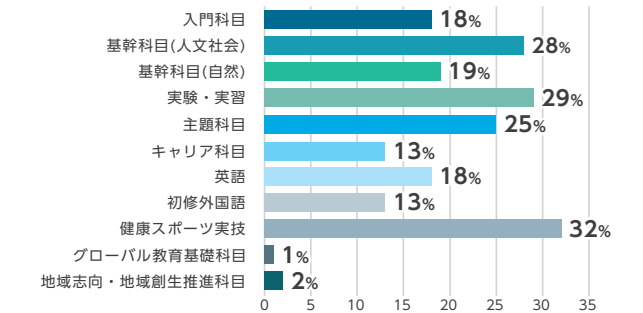
Comment

全学共通科目は所属学部に関係なく広く教養を身に付けることが目的ですが、実際に満足している科目としては、文系の地域学部では文系の「基幹科目(人文社会)」が、理系の工学部・農学部では理系の「基幹科目(自然)」の比重が高くなっています。「健康スポーツ実技」は全体の40%近くが満足しています。

鳥取地区



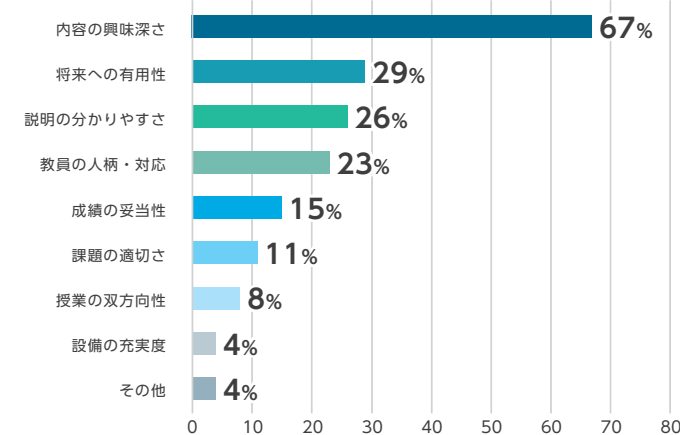
米子地区



13-2

全学共通科目について、満足している理由として
当てはまるものを全て選んでください。[複数選択可能]
(学部学生の人に尋ねます)

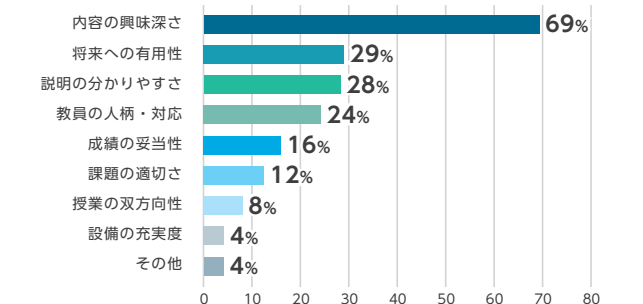
学部全体



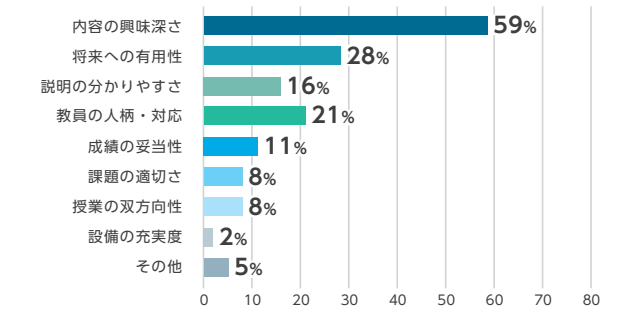
Comment

全学共通科目で満足している理由としては、概ね60%の学生が「内容の興味深さ」を挙げています。「説明の分かりやすさ」・「将来への有用性」もそれぞれ30%近い学生が満足の理由として指摘していますが、基本的には授業それ自体の内容に満足できるかどうかで満足度に影響しているようです。

鳥取地区



米子地区

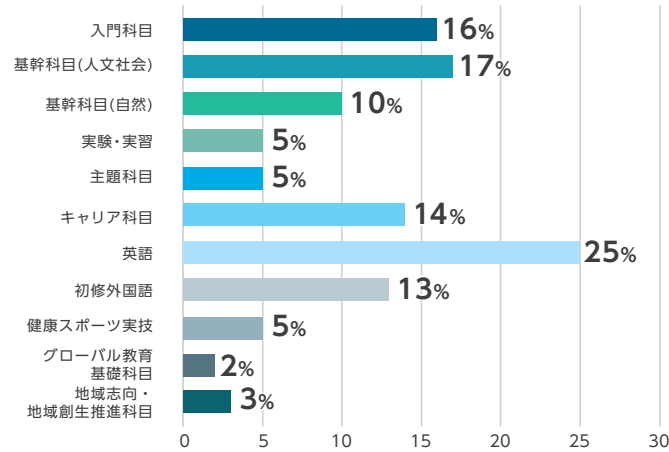


13-3

全学共通科目について、満足できない授業科目の区分を
全て選んでください。〔複数選択可能〕

(学部学生の人に尋ねます)

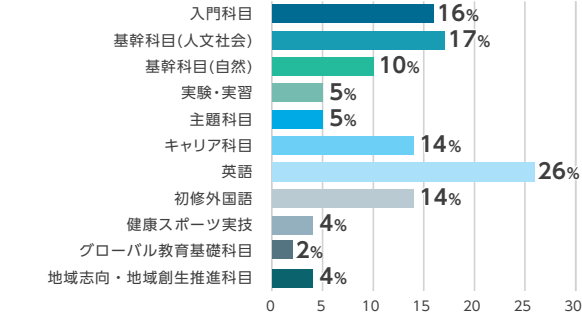
学部全体



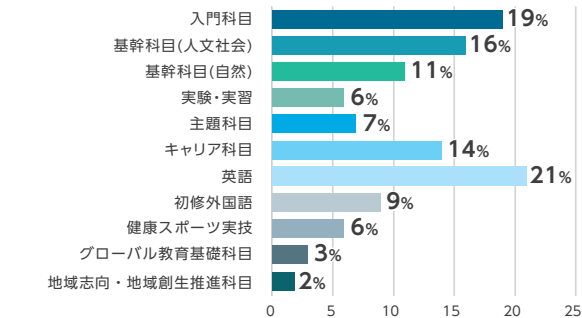
Comment

逆に全学共通科目で満足できない科目は専門と関係ないものが多く、文系の地域学部は「基幹科目(自然)」を、理系の医学部・工学部・農学部は「基幹科目(人文社会)」を指摘しますが、その割合は学生の20%未満にとどまります。また「英語」はどの学部でも20%以上の学生が満足していないようです。

鳥取地区



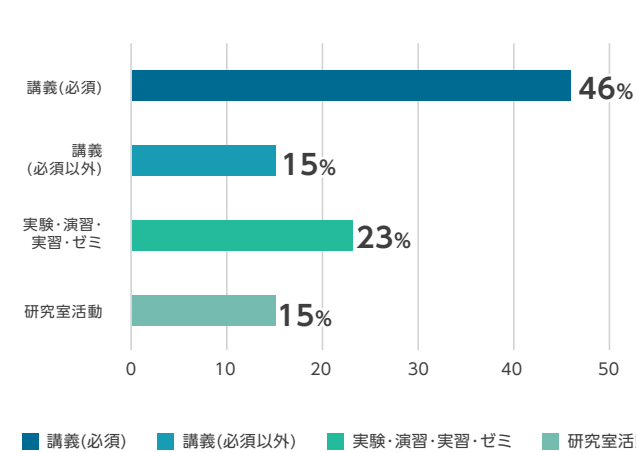
米子地区



14-1

学部または研究科の専門教育について、
満足しているものを1つ選んでください。

大学全体

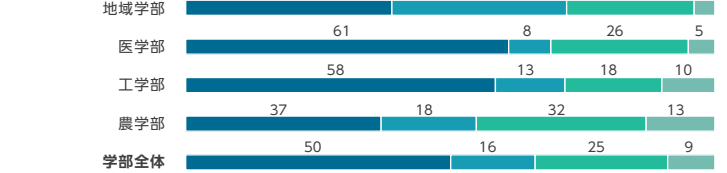


■ 講義(必須) ■ 講義(必須以外) ■ 実験・演習・実習・ゼミ ■ 研究室活動

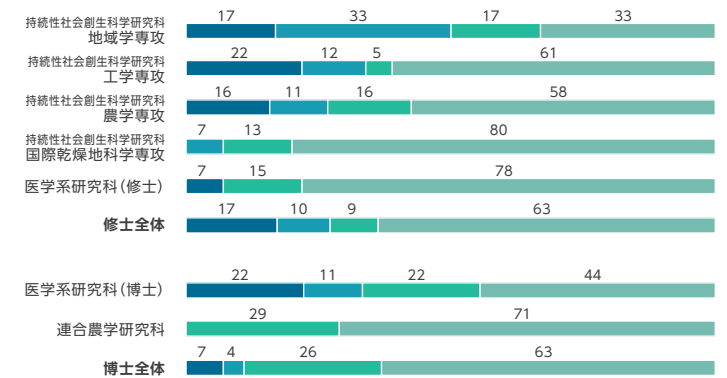
Comment

専門科目で満足している科目区分を複数選択で聞いたところ、「講義(必須)」は50%近い学生が満足と回答して最大となっていますが、学年別では高学年になるほど「実験・演習・実習・ゼミ」の満足が高くなっています。また大学院では全体として「研究室活動」が60%で最大となっています。

学部



大学院

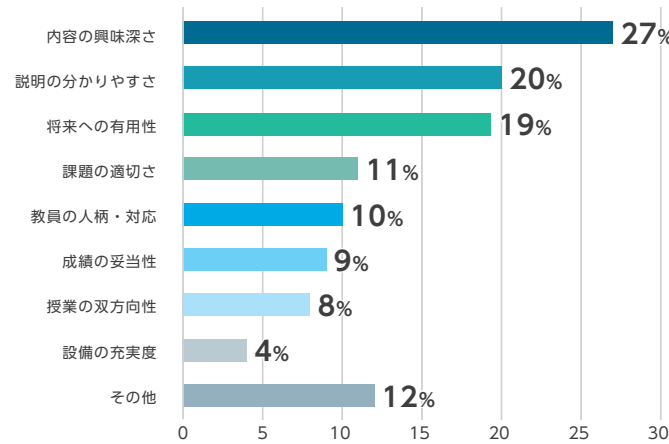


13-4

全学共通科目について、満足できない理由として
当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

(学部学生の人に尋ねます)

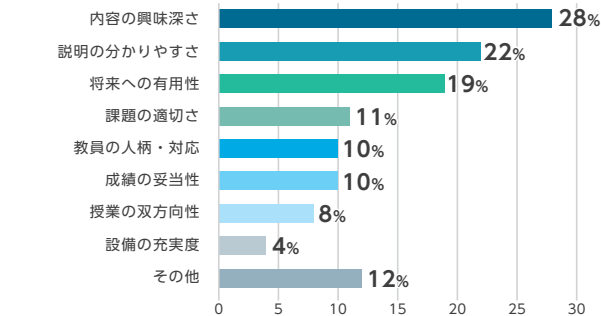
学部全体



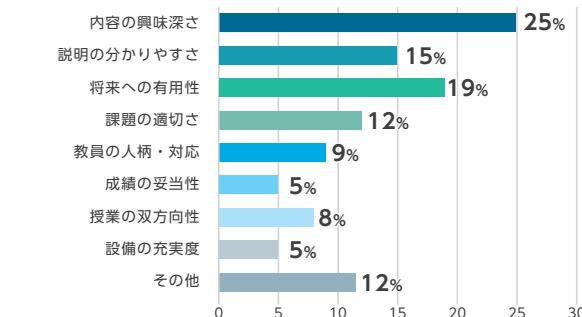
Comment

全学共通科目で満足できない理由としては、満足している場合と同じく、「内容の興味深さ」が25%以上で最も高くなっており、「説明の分かりやすさ」「将来への有用性」が20%前後で続いています。所属学部の専門領域と関係ない学問分野には、なかなか興味を持ちにくい実態があると思われます。

鳥取地区



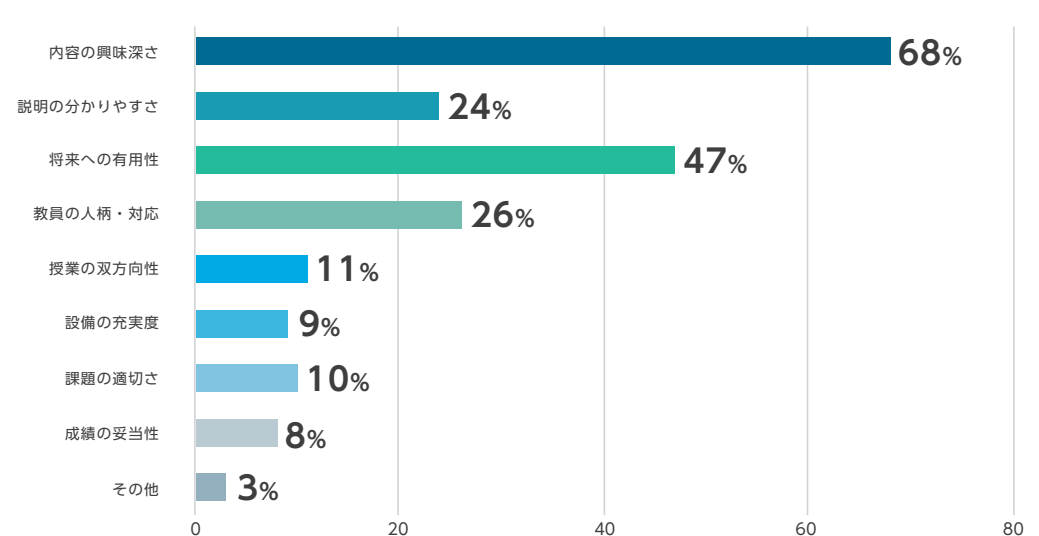
米子地区



14-2

学部または研究科の専門教育について、
満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。
〔複数選択可能〕

大学全体



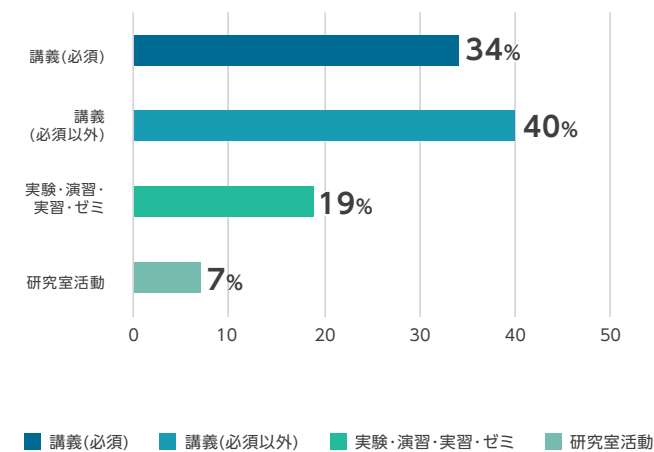
Comment

専門科目に満足している理由として、60%の学生が「内容の興味深さ」を指摘していますが、進路と結びつく「将来の有用性」も50%近くを占めます。また全学共通科目の場合とは対照的に、「教員の人柄・対応」も25%を占め、なかでも「研究室活動」が中心となる大学院の修士課程では40%近くになります。

14-3

学部または研究科の専門教育について、満足できないものを1つ選んでください。

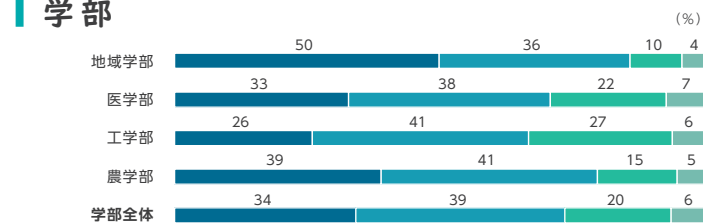
大学全体



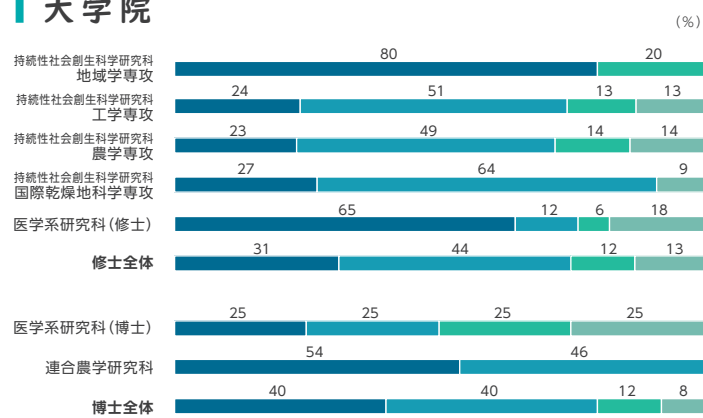
Comment

専門科目で満足できない科目として、地域学部では「講義(必須)」が50%に達していますが、他の学部では「講義(必須以外)」が概ね40%で最大となっています。大学院では多くの研究科・専攻で「講義(必須以外)」が平均40%で最大ですが、一部では「講義(必須)」も50%を超えて最大となっています。

学部



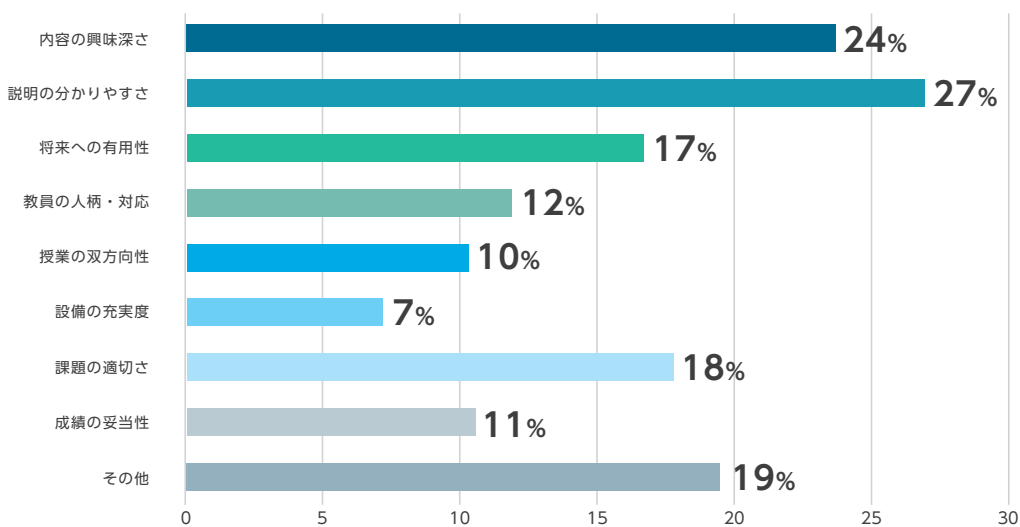
大学院



14-4

学部または研究科の専門教育について、満足できない理由として当てはまるものを全て選んでください。[複数選択可能]

大学全体



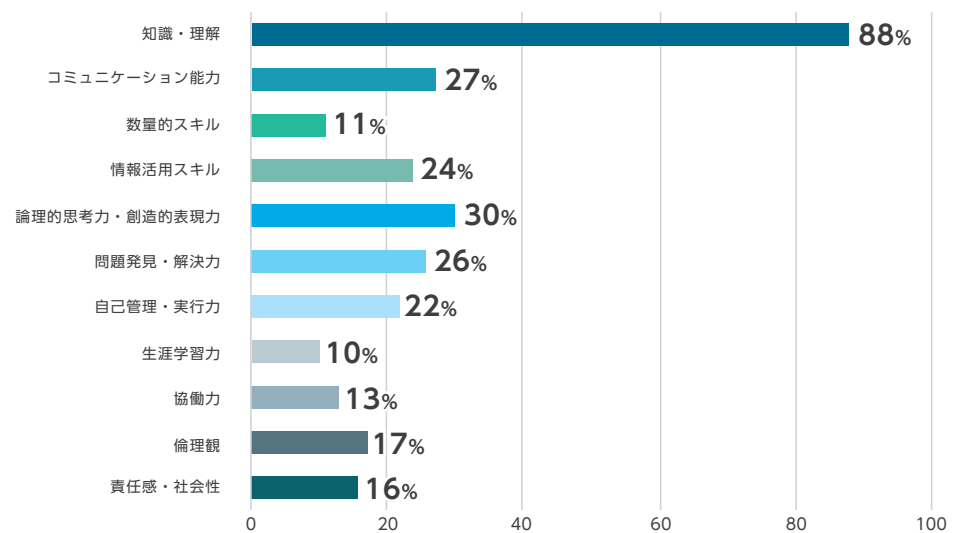
Comment

専門科目に満足できない理由としては、専門性が高い故に「説明の分かりやすさ」を指摘する学生が最も多く、学部・大学院全体の30%近くを占めます。大学院では「将来の有用性」・「課題の適切さ」に対する不満が学部より高くなっています。また内容は不詳ですが、「その他」も全体の20%を占めています。

14-5

授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。[複数選択可能]

大学全体



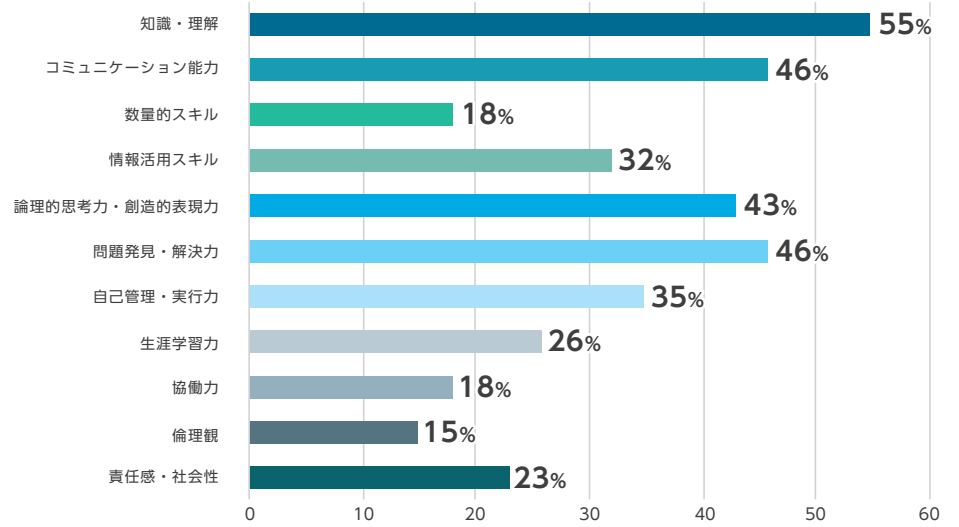
Comment

鳥取大学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)が提示する能力・技能について、実際どのような力が身に付いたと思うか聞いたところ、学部・大学院とも90%近くの学生が「知識・理解」を選択して最大となっており、他に「論理的思考力・創造的表現力」も30%の学生が身に付いたとしています。

14-6

授業科目(全学共通を含む)を通じて、今後どのような力を身につけたいですか。当てはまるものを全て選んでください。[複数選択可能]

大学全体



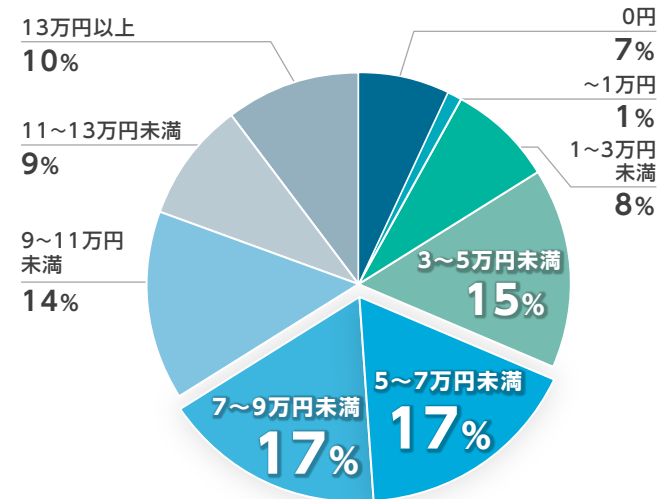
Comment

同じく、これからどのような力を身に付けたいと思うか聞いたところ、やはり「知識・理解」が最大となっていますが、選択した学生は50%にとどまり、むしろ「コミュニケーション能力」・「問題発見・解決力」を身に付けたいと回答した学生がそれぞれ45%以上に達しています。

15-1

あなたの直近1年間における
平均的な1か月の収入はいくらですか。

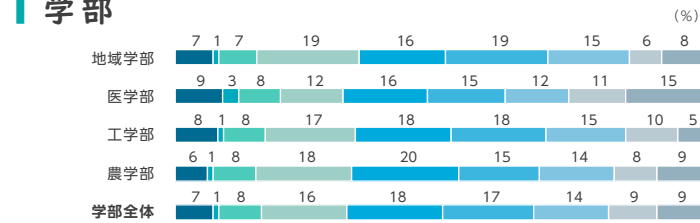
大学全体



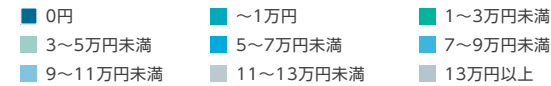
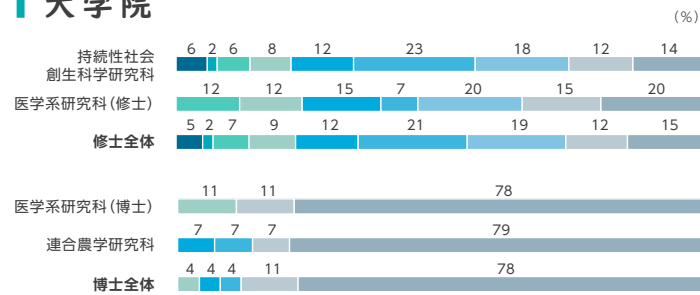
Comment

1ヶ月の収入について、一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると7万円程度です。また、金額の範囲は非常に広く、学生の家計状況はまちまちであることがわかります。

学部



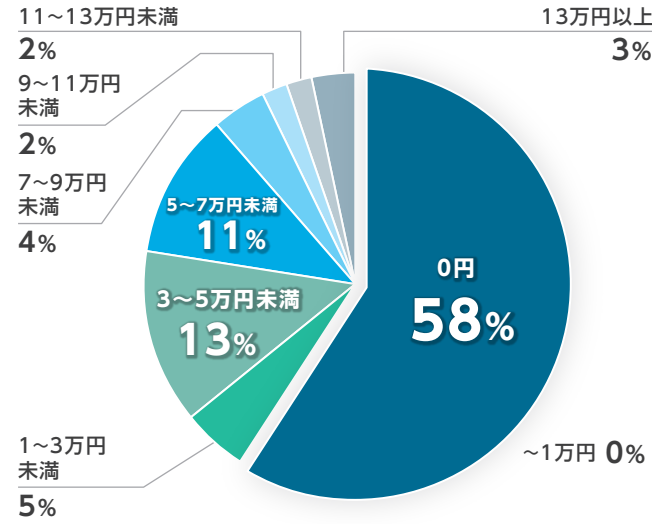
大学院



15-3

【収入内訳】奨学金

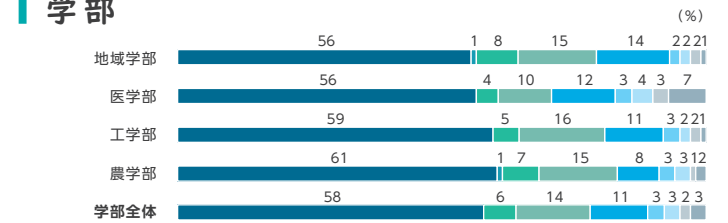
大学全体



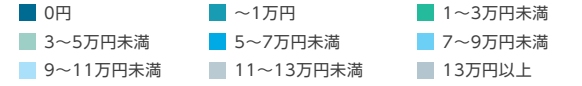
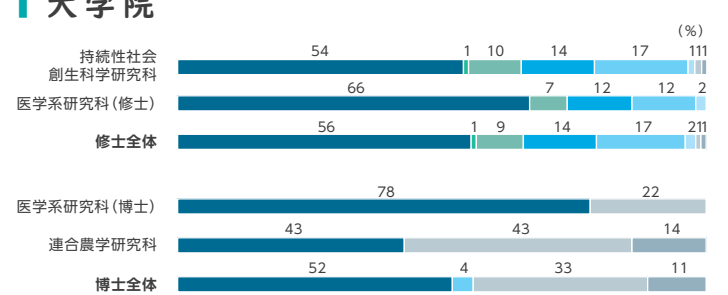
Comment

奨学金を受けている学生の割合は42%です。この値は、全国の大学生の平均値と大きく変わらず、前回、前々回の調査とも変化は見られませんでした。受給額は3~7万円が多く、これは日本学生支援機構の第1種奨学金を得ている学生が大多数のためと思われます。

学部



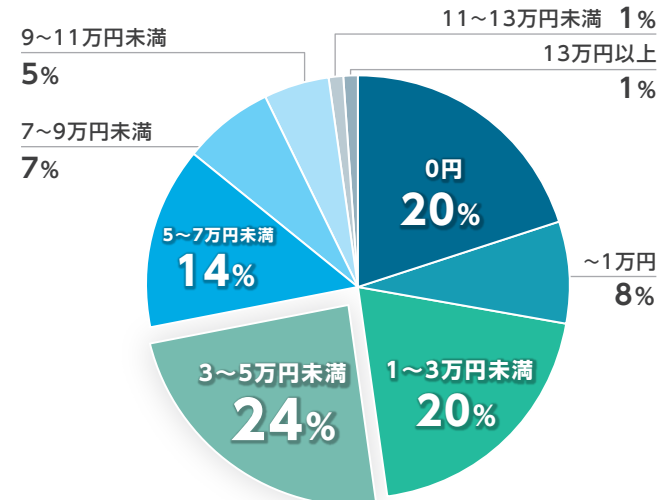
大学院



15-2

【収入内訳】学資負担者等からの小遣いや仕送り

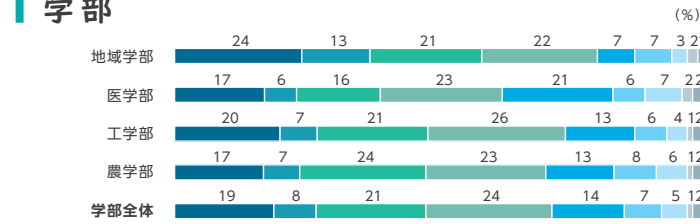
大学全体



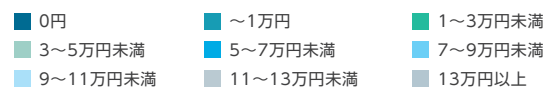
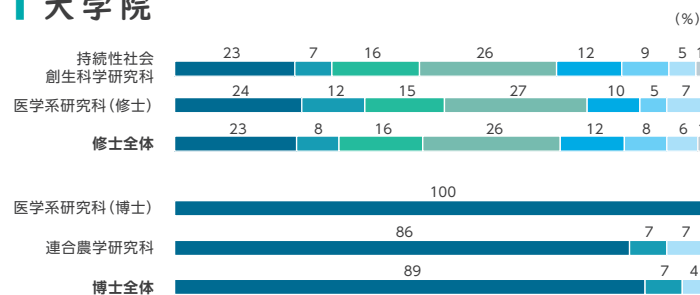
Comment

学資負担者等からの小遣いや仕送りをもらっていない学生が約2割です。さらに約半数は仕送り等が3万円未満で生活していることになります。前回調査では3万円未満で生活している学生の割合が42%でしたので、新型コロナウイルスの影響を受けているように思われます。

学部



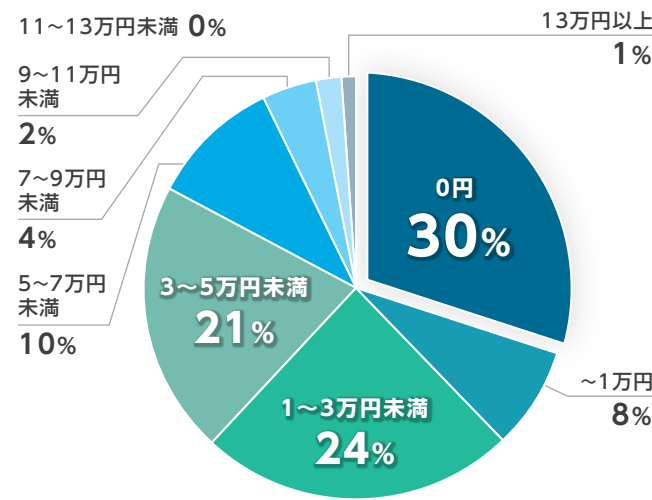
大学院



15-4

【収入内訳】アルバイト

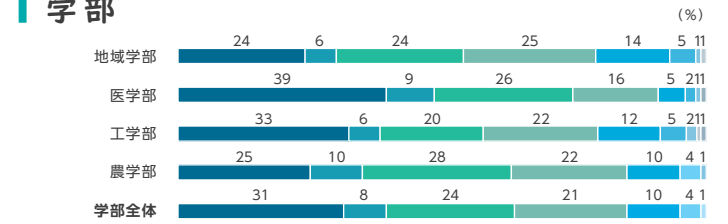
大学全体



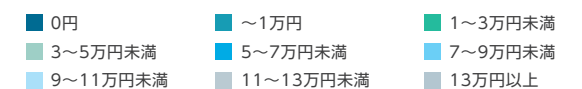
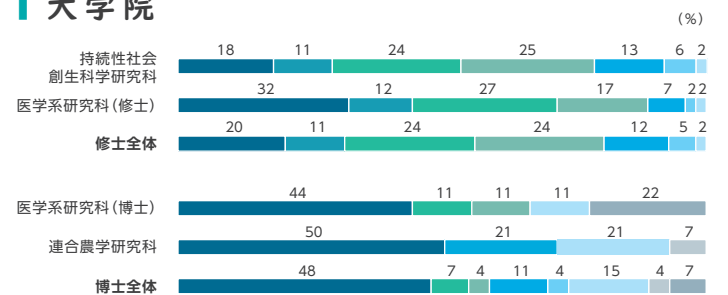
Comment

約7割の学生がアルバイトによって収入を得ています。半分程度の学生は収入5万円未満で、学業等との両立の心配はないと思われます。学部別で比較すると、医学部が他の学部と比べて、アルバイトをしている学生の比率や収入が少ないようです。

学部



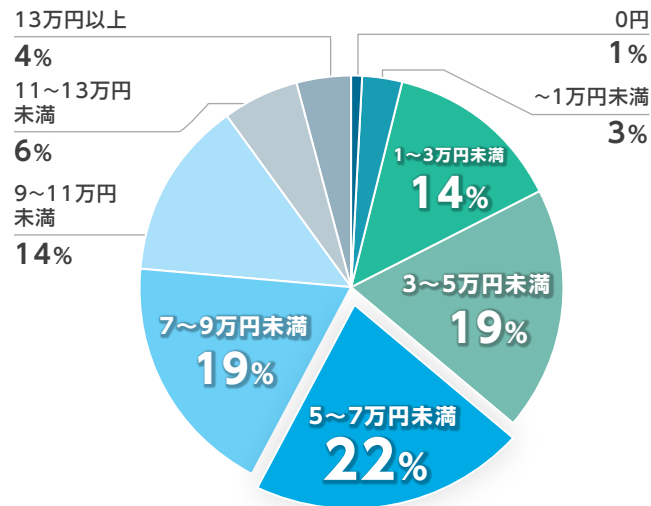
大学院



16-1

あなたの直近1年間における
平均的な1か月の支出はいくらですか。

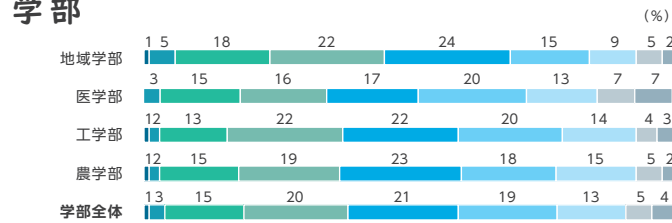
大学全体



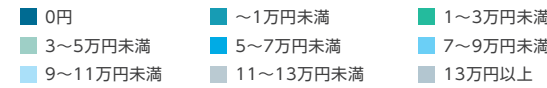
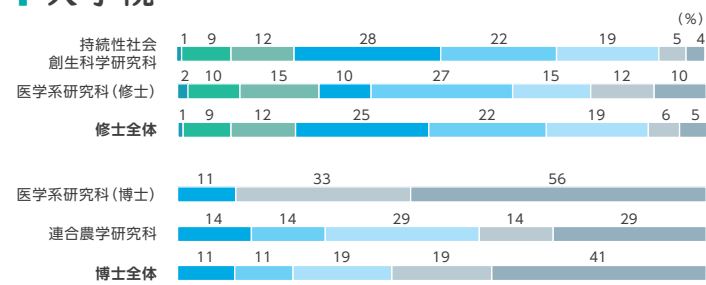
Comment

1ヶ月の支出について、一般的な学生の生活水準の指標として中央値を取ると5~7万円と前回調査と同じで、分布に関しても、前回調査と各金額帯での差は2%以内であり、全く変わっていないと言えます。

学部



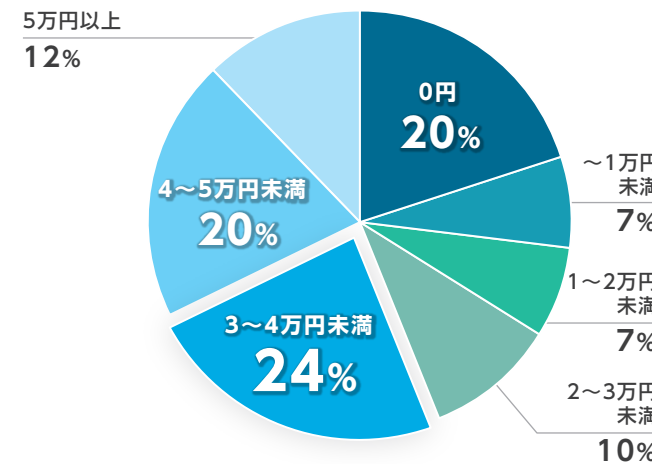
大学院



16-3

【支出内訳】住居費〔家賃、光熱水料費含む〕

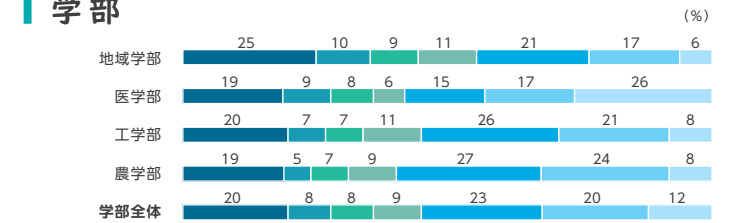
大学全体



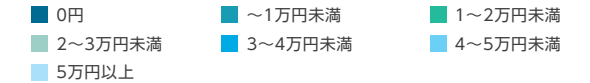
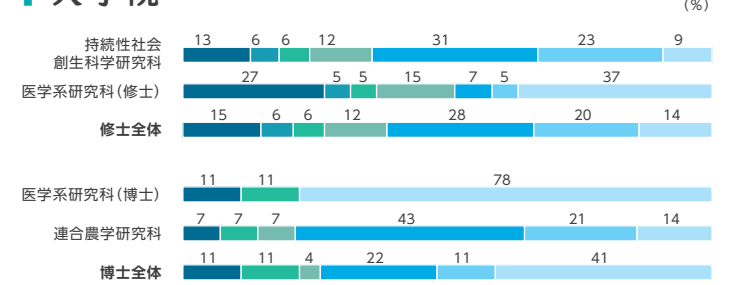
Comment

光熱水料費を含む住居費は、3~4万円が最も多いです。鳥取大学生協での契約者における平均家賃(光熱水料費を除く)は、鳥取地区で約3.1万円、米子地区では約3.9万円です。住居費の安さは鳥取大学の魅力の1つに挙げられます。

学部



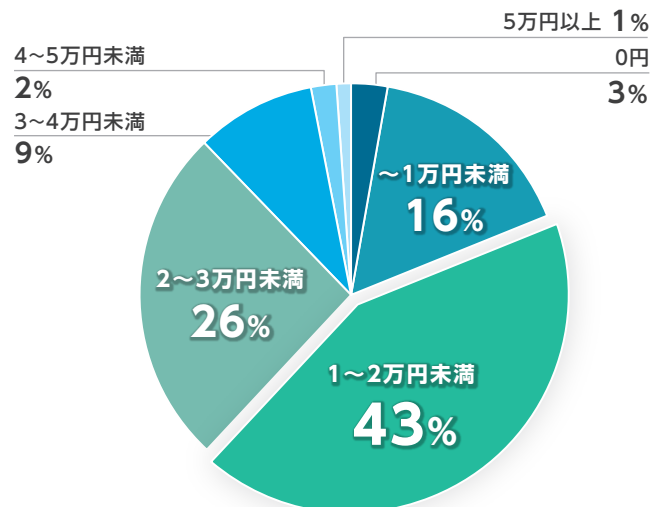
大学院



16-2

【支出内訳】食費

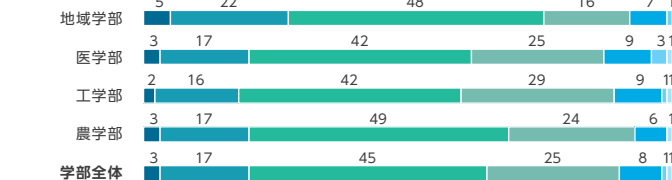
大学全体



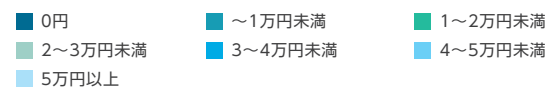
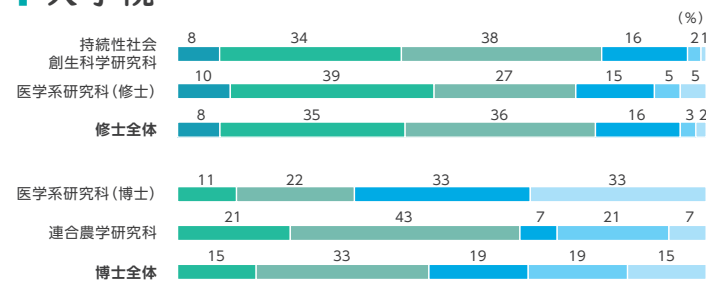
Comment

食費は1~2万円が最も多いです。1ヶ月の食費としては少ないように思われますが、鳥取大学の学生の約7割は大学生協のプリペイド式ミールカードを利用しているため、その金額が反映されていないことも一因と推測されます。

学部



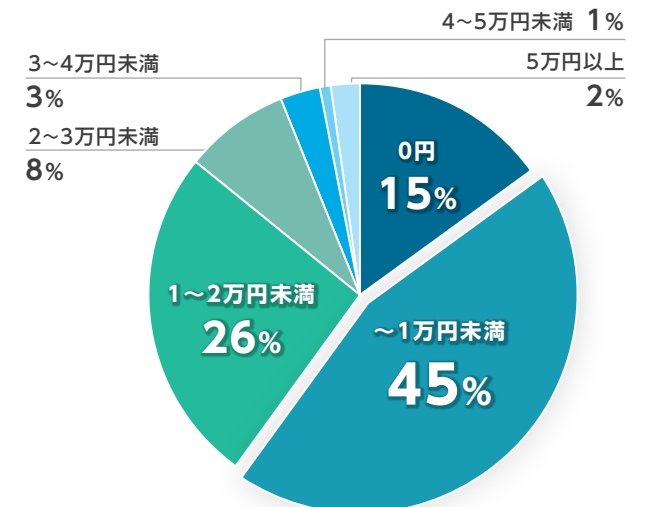
大学院



16-4

【支出内訳】修学費
〔教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等〕

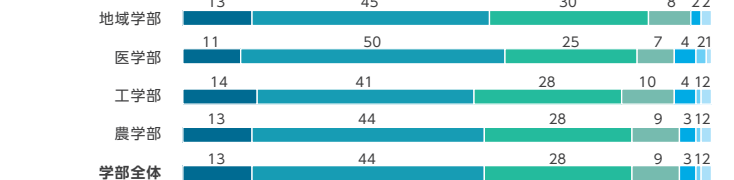
大学全体



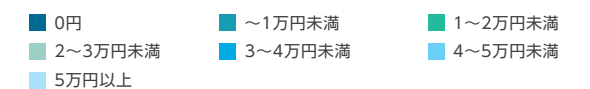
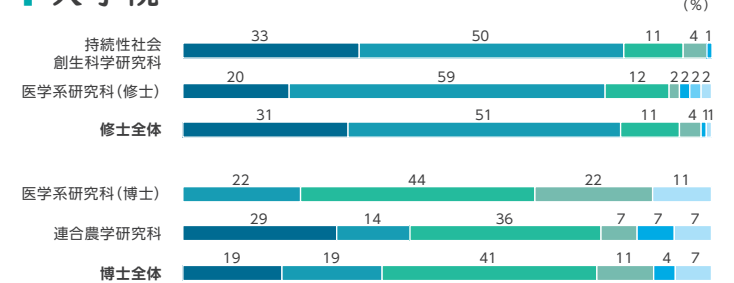
Comment

授業料を除く修学費は、1万円未満が最も多いという結果でした。分布に関して、前回の調査と各金額帯での差が5%以内となっており、大きな変化はなかったと言えます。

学部



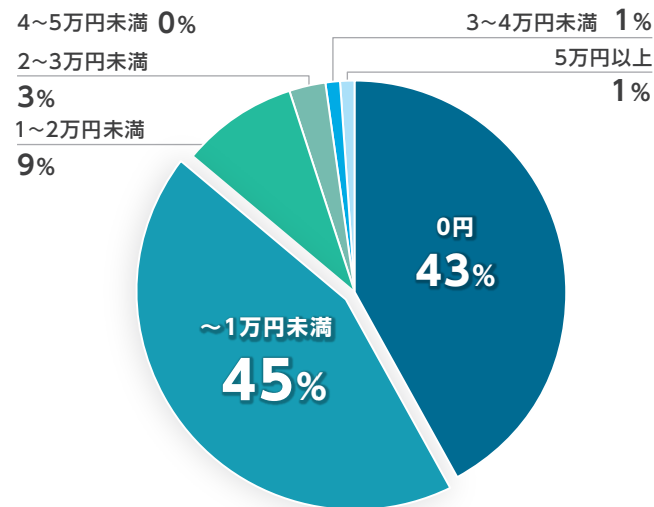
大学院



16-5

【支出内訳】課外活動費
〔サークル活動、ボランティア活動等〕

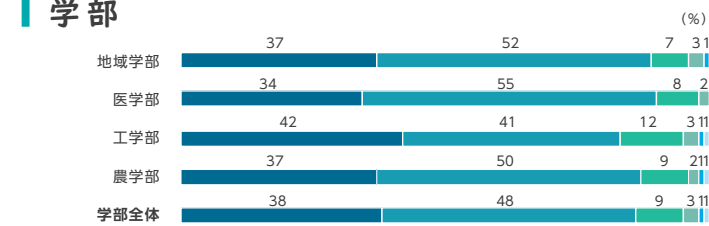
大学全体



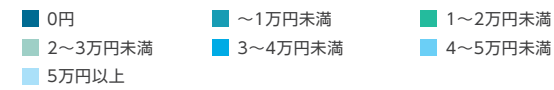
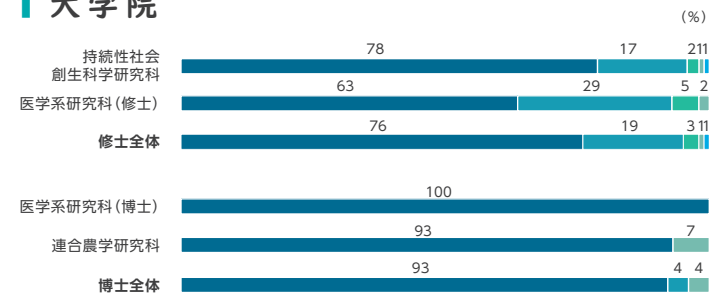
Comment

課外活動費は、1万円未満が88%でした。前回の調査では71%だったので、課外活動に対する支出は大きく減っていました。新型コロナウイルスの影響で活動が制限された時期もあり、開催地の感染状況等による大会の中止や延期などもあったため、費用が大きく減少したと思われる。

学部



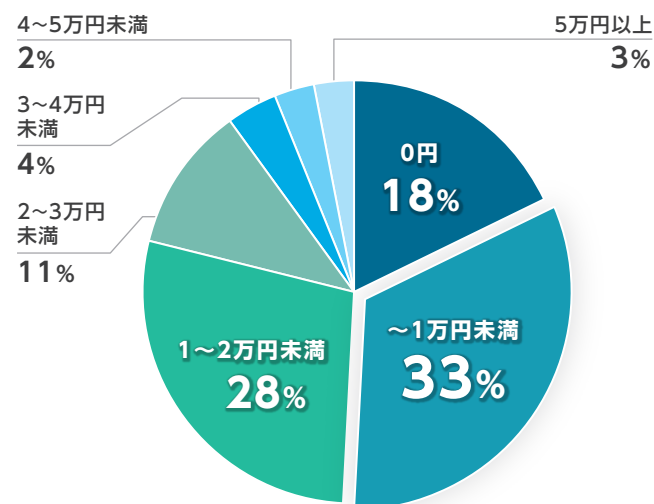
大学院



16-6

【支出内訳】その他〔上記に含まれない経費〕

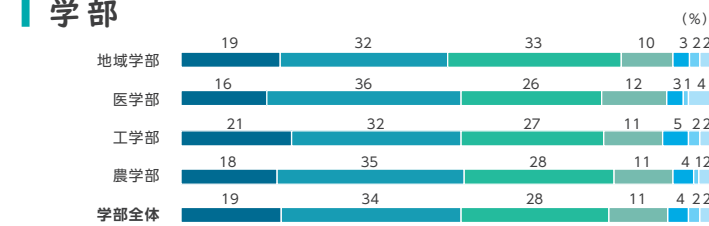
大学全体



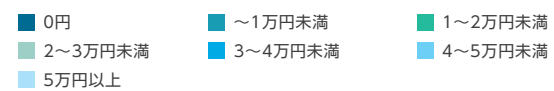
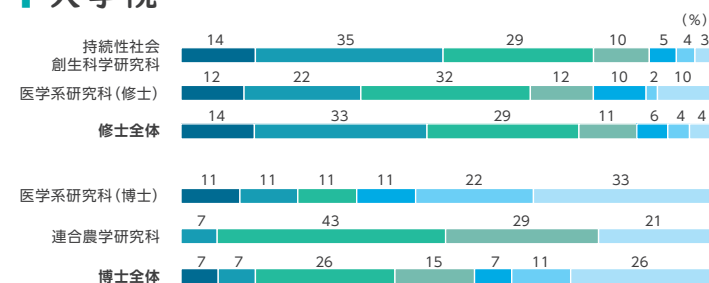
Comment

家計のその他の項目の費用は、前回調査よりも増えています。これは、調査項目の改定によるものです。この中には通信費(携帯電話、インターネット等)や衣料品などが含まれていると推測されます。

学部



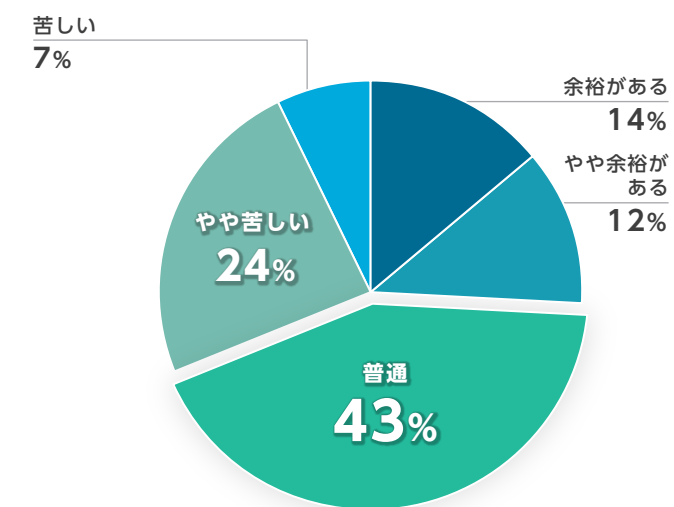
大学院



17

あなたは、現在の自分の経済状態をどのように感じていますか。

大学全体



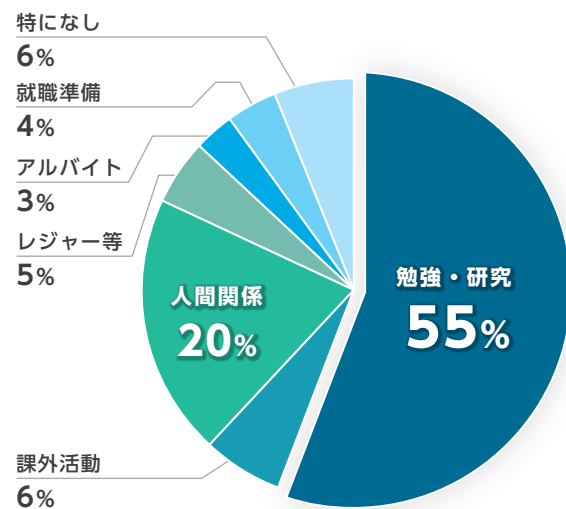
Comment

経済状況について、前回、前々回の調査とほぼ同じような割合での回答であり、新型コロナウイルスの影響はそれほど大きくはないと思われます。鳥取大学の学生のうち、約3割が経済的な困難を抱えながら学生生活を送っていることがうかがえます。

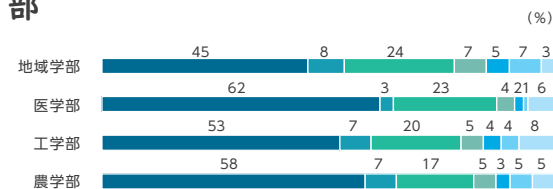
18

あなたは、現在学生生活の中で
どのような点に最も重点をおいて行動していますか。

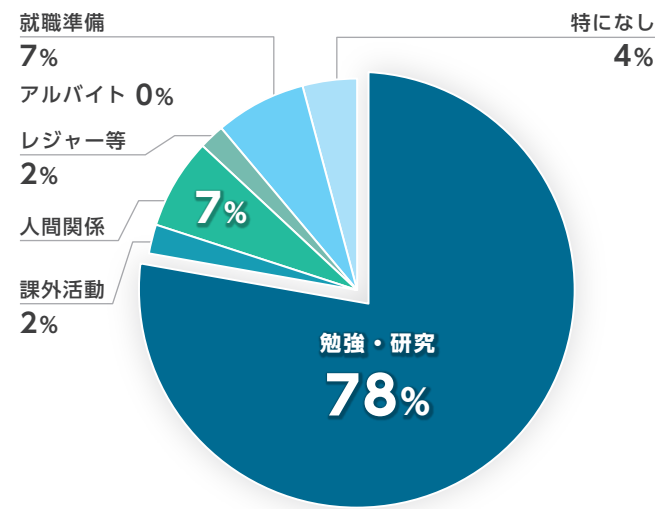
学部全体



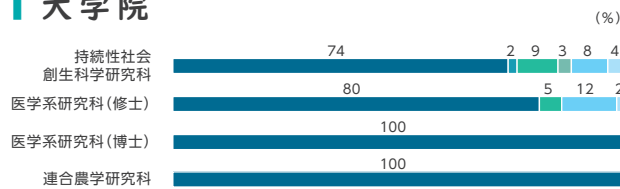
学部



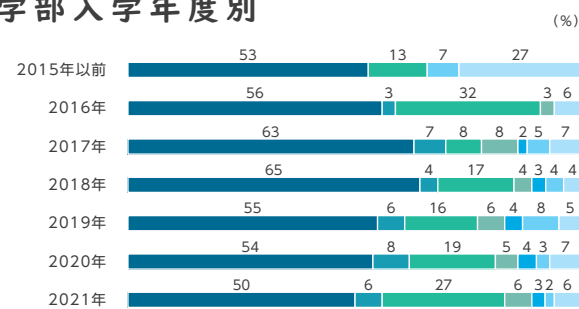
大学院全体



大学院



学部入学年度別



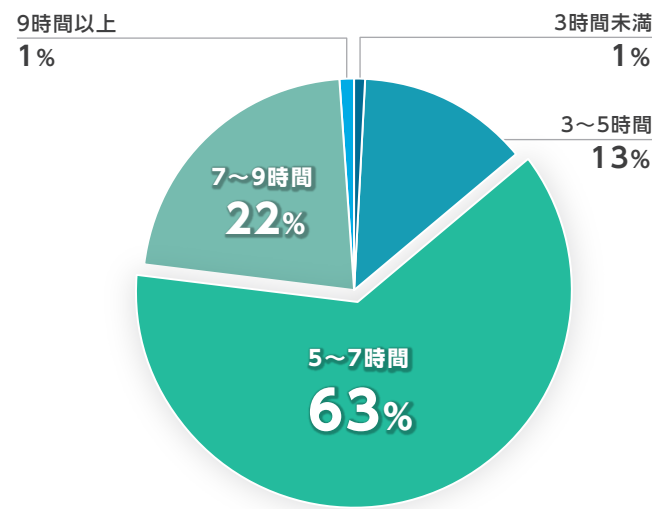
Comment

学生生活の中で重点をおくものとして、学部生・大学院生ともに「勉強・研究をする」が最も多く、その割合は学部生55%、修士学生75%、博士学生100%でした。学部別では理系学部の方が「勉強・研究」に力を入れる割合が高く、高学年になるとその割合が増加しています。

19

あなたは、1日平均何時間くらい睡眠をとっていますか。

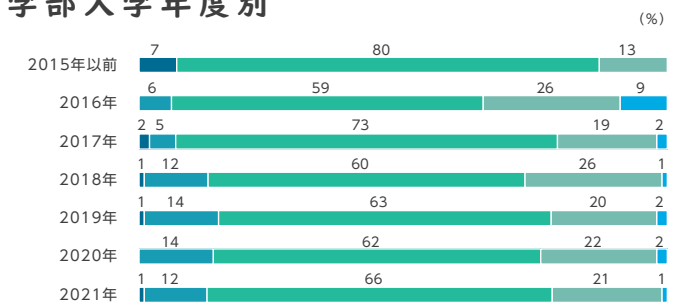
大学全体



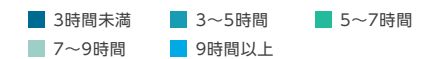
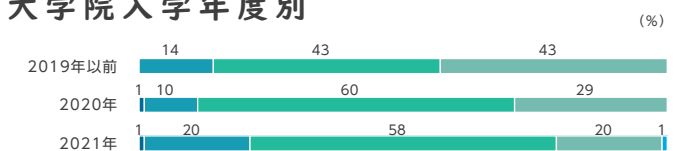
Comment

睡眠時間は学部生・大学院生ともに「5～7時間」が一番多く、大学全体でみると63%を占めています。次いで、「7～9時間」で22%でした。学部や入学年度によって差はみられませんでした。一方で13%の学生が「3～5時間」睡眠であることから、慢性的な寝不足状態の学生も一定数いると考えられます。

学部入学年度別



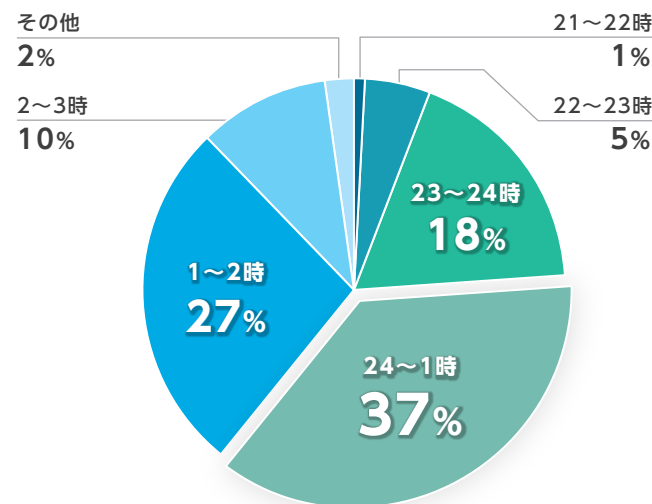
大学院入学年度別



20

あなたは、何時ごろに就寝していますか。

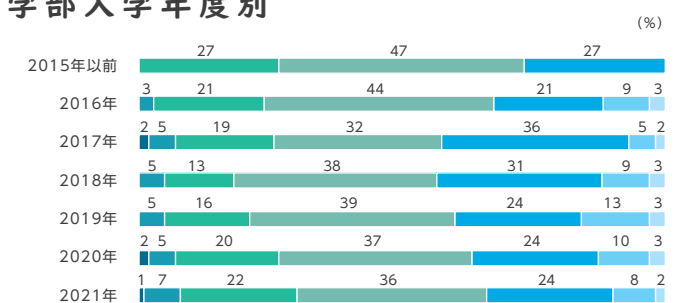
大学全体



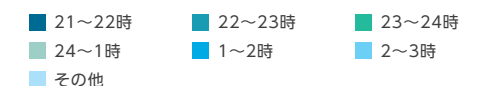
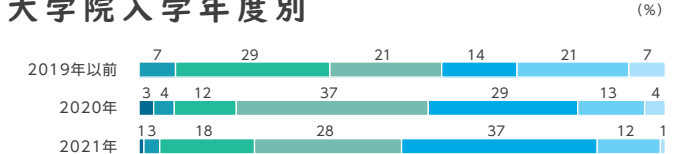
Comment

大学全体では24時～1時に就寝する学生が一番多く(37%)、次いで1時～2時に就寝する学生が27%でした。睡眠は生活習慣病や心の健康とも関係しています。夜更かしが習慣化すると、日中の脳の働きや仕事の効率が低下するだけでなく、体内時計が乱れ、睡眠障害につながるがあるので注意が必要です。

学部入学年度別



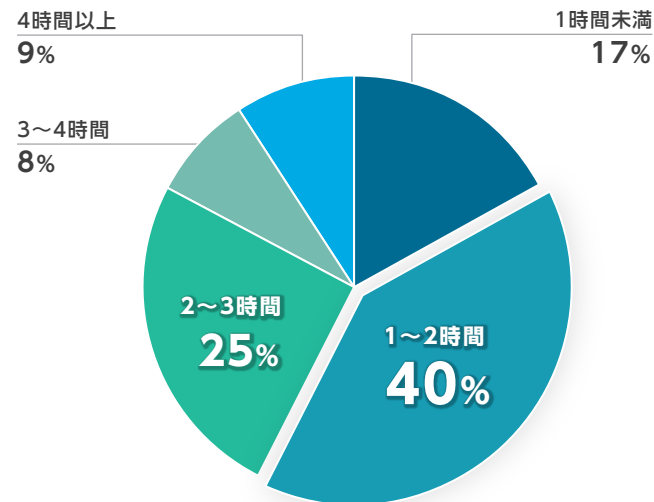
大学院入学年度別



21

あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

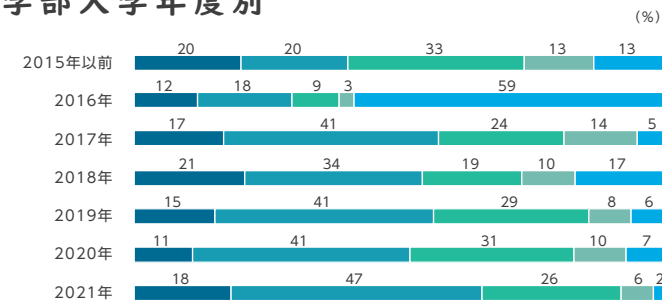
大学全体



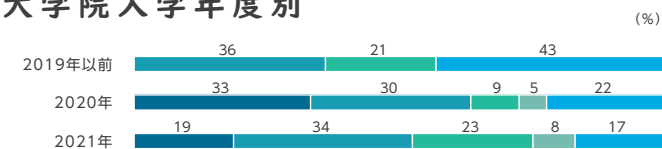
Comment

大学の授業以外の勉強時間は、8割の学生が3時間未満と答えています。内訳は1～2時間(40%)が一番多く、次いで2～3時間(25%)、1時間未満(17%)の順になっており、学部間に大きな差はみられませんでした。大学院生になると若干勉強時間が多くなる傾向がみられました。

学部入学年度別



大学院入学年度別

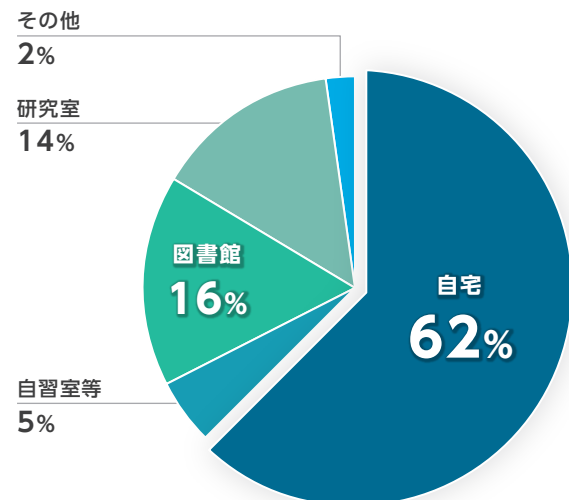


■ 1時間未満 ■ 1～2時間 ■ 2～3時間
■ 3～4時間 ■ 4時間以上

22

授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

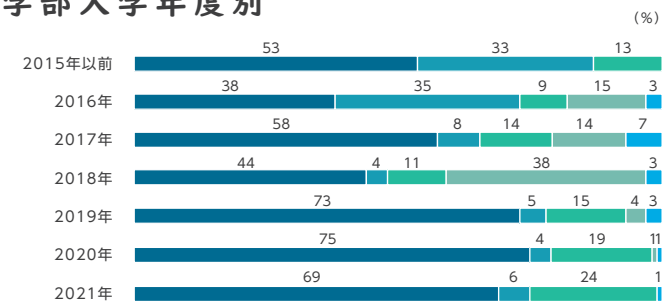
大学全体



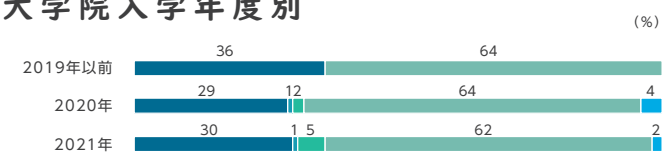
Comment

学部生の6割が勉強場所として自宅(66%)をあげています。これは前回調査よりも20%ほど増加しており、コロナウイルス感染症拡大によるオンライン授業の影響をかなり受けていると考えられます。一方、大学院生では自宅(30%)よりも研究室(64%)で勉強する学生が多くみられました。

学部入学年度別



大学院入学年度別

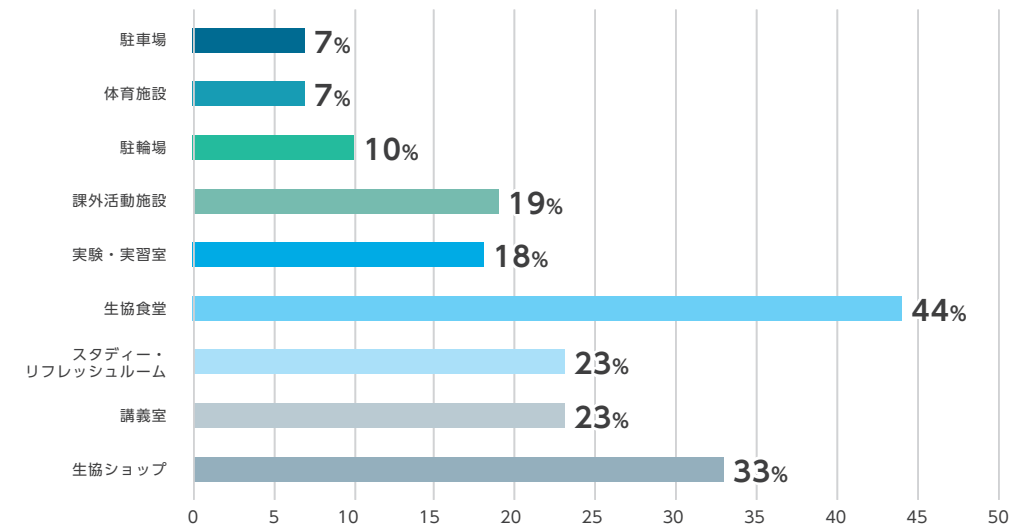


■ 自宅 ■ 自習室等 ■ 図書館
■ 研究室 ■ その他

23

本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。[複数選択可能]

大学全体



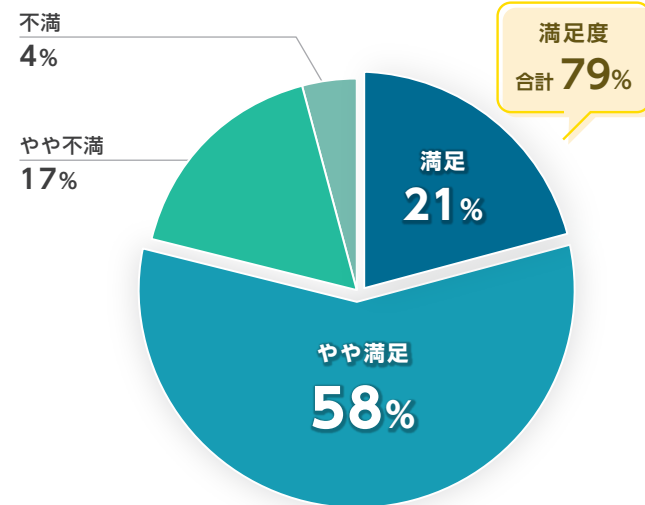
Comment

大学全体では生協食堂(44%)、生協ショップ(33%)が充実していると回答しており、学部生も類似の回答でした。一方で大学院生では実験・研究室(33%)をあげており、次いで生協ショップ(35%)と回答しています。高学年になると研究施設の充実感が増加することが明らかになりました。

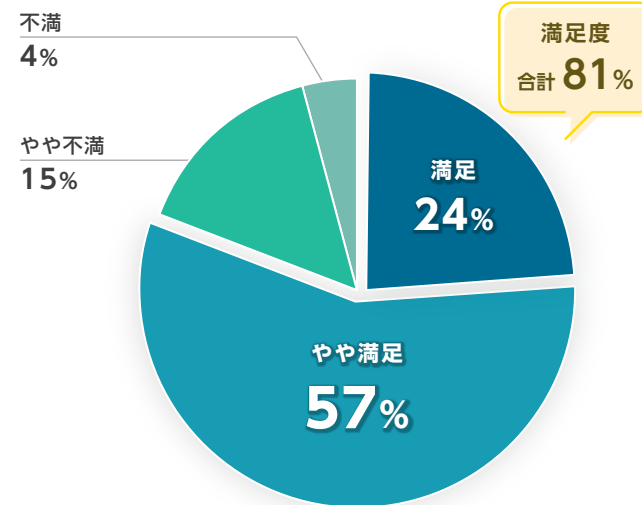
24

あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

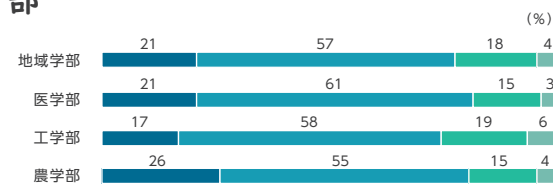
学部全体



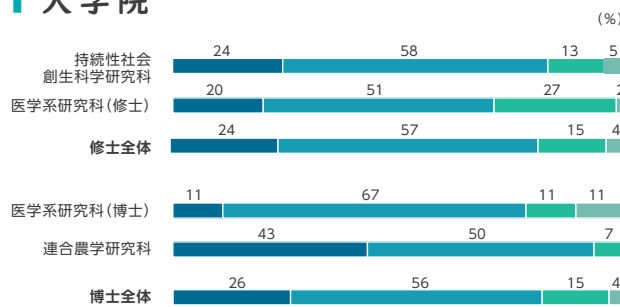
大学院全体



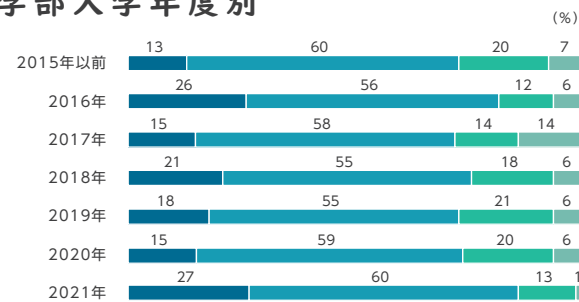
学部



大学院



学部入学年度別



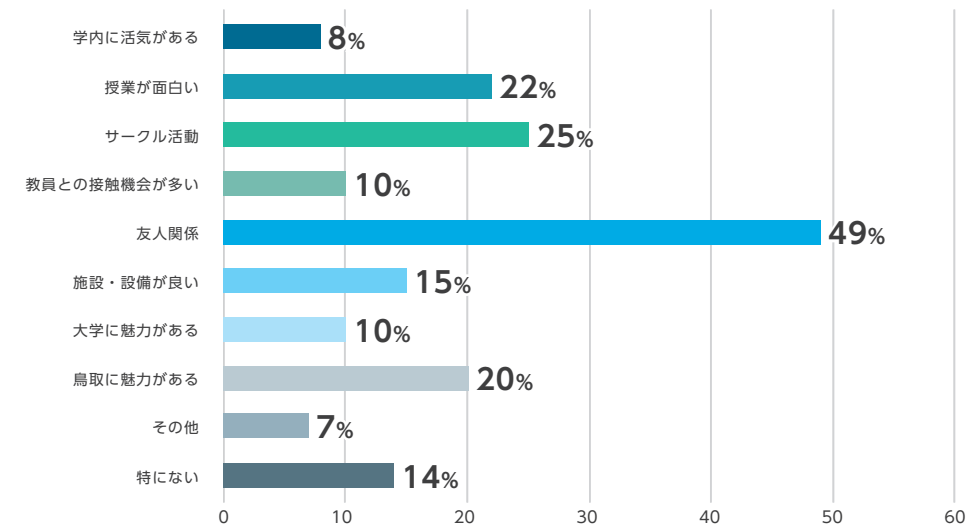
Comment

大学全体、学部生、大学院生ともに約8割の学生が大学生活に概ね満足しているという結果になりました。前回調査に比べて若干増加しており、コロナ禍においても多くの学生が学生生活への満足度が高いことが明らかになりました。学部間での大きな差はみられませんでした。

25

現在の学生生活で満足している部分を教えてください。
〔複数選択可能〕

大学全体



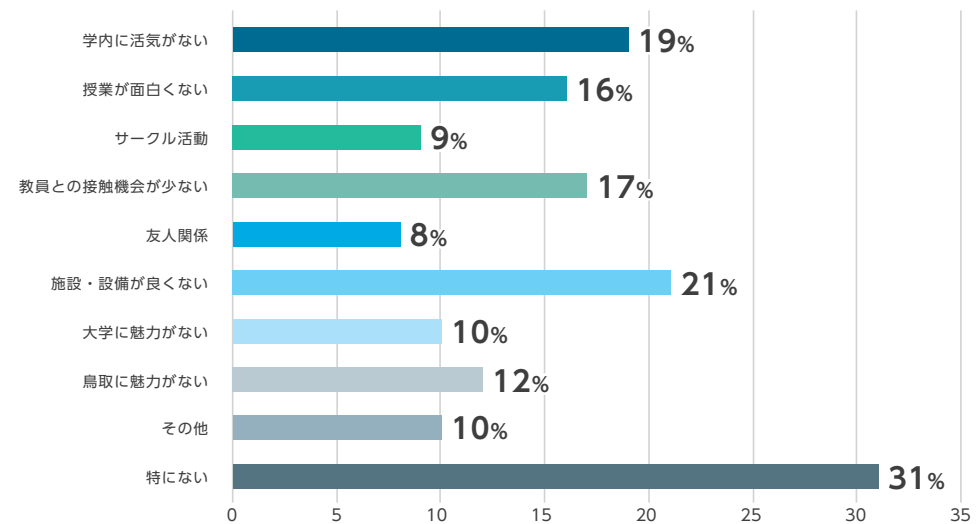
Comment

学部生は「友人関係(51%)」「サークル(27%)」が学生生活の満足度に大きく影響していることが明らかになりました。大学院生は「友人関係(41%)」にくわえ、「教員との接触機会(24%)」と回答しており、高学年になると研究における人間関係の充実度も学生生活の満足度に影響するようです。

26

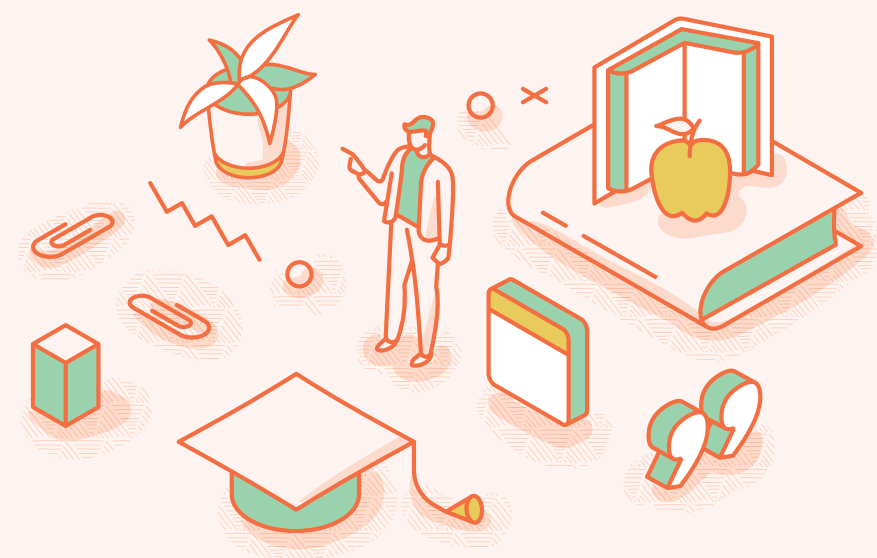
現在の学生生活で不満な部分を教えてください。
〔複数選択可能〕

大学全体



Comment

大学全体では、施設・設備がよくない(21%)、学内に活気がない(19%)を不満の理由としてあげています。他方、コロナ感染症の影響を受けてオンライン授業が増加したにもかかわらず、前回の調査と比較すると、授業への不満は大幅に下がりました。(前回調査時38%)



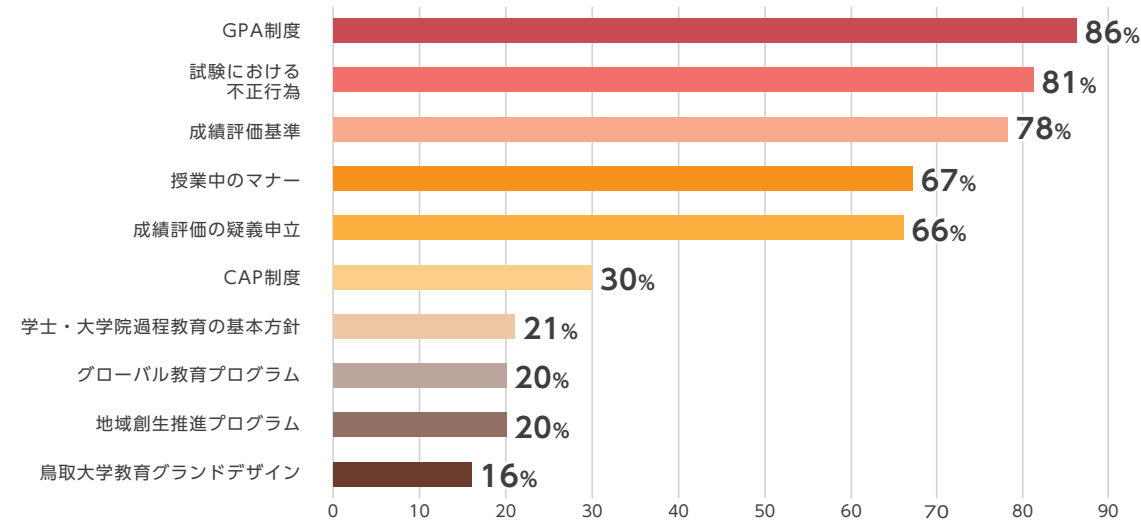
学生支援体制編

鳥取大学の学習環境、
学生生活へのサポート体制について
感じていることを回答してもらいました。

27

教育に関連するポリシー、制度等について、知っているものを全て選んでください。

大学全体



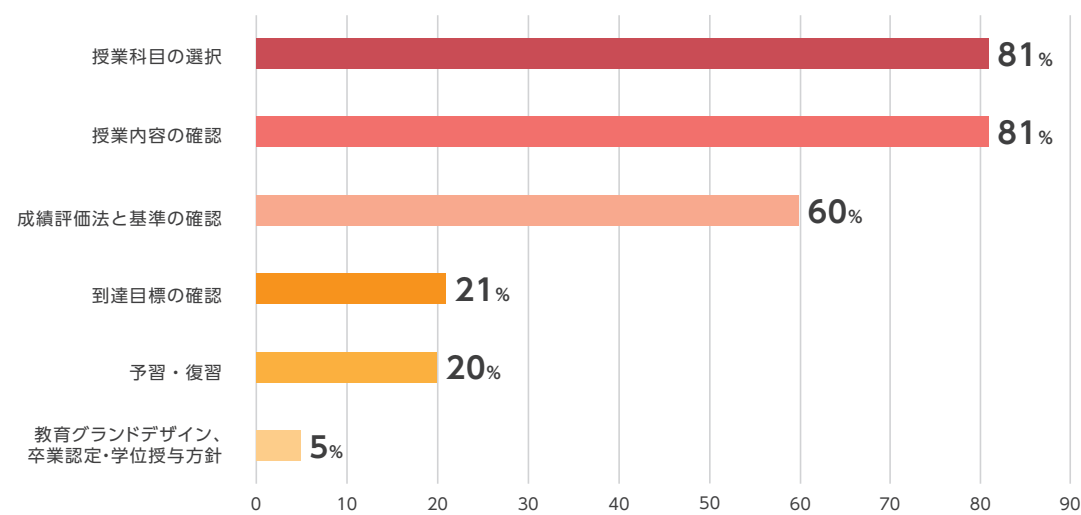
Comment

教育に関連するポリシー、制度等は、「成績の評価」、「成績評価の疑義申立て」、「GPA制度」、「授業中のマナー」、「試験における不正行為」が全回答者の65%以上に知られていました。対して、「鳥取大学教育グランドデザイン」、「学士課程・大学院課程教育に関する三つ基本方針」は20%前後でした。

28

シラバスはどのように活用していますか。〔複数選択可能〕

大学全体



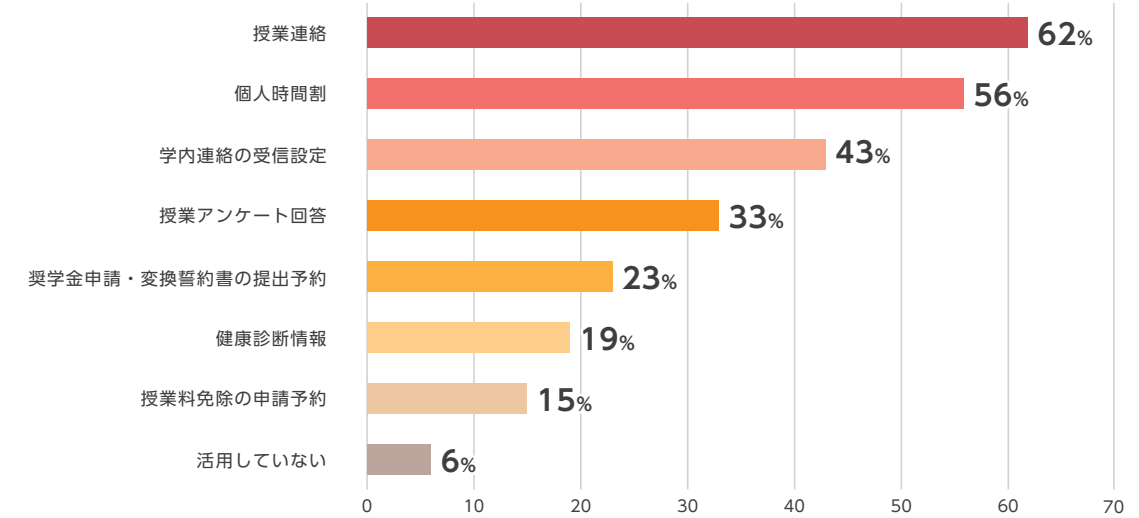
Comment

シラバスの活用方法は、「授業科目の選択」、「授業内容の確認」、「成績評価方法と基準の確認」を全回答者の60%以上が選んでいました。対して、「予習・復習」、「到達目標の確認」は20%前後、「教育グランドデザインや卒業認定・学位授与の方針との関連」は5%となり、活用される項目に偏りが見られました。

29

学務支援システムは、履修登録と成績の確認以外で、どのように活用していますか。〔複数選択可能〕

大学全体



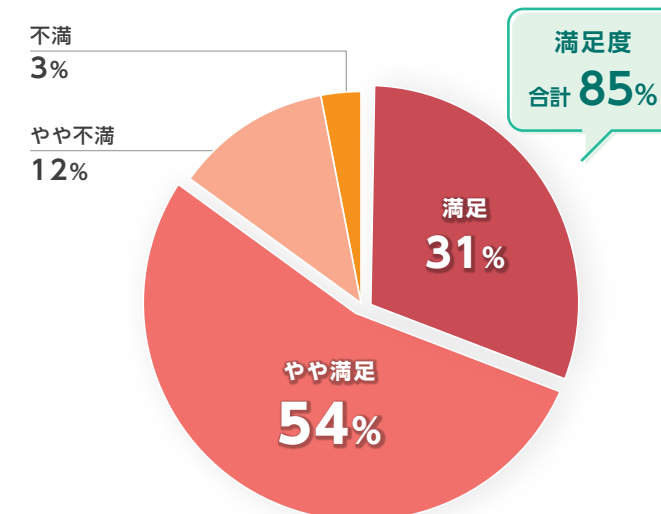
Comment

学務支援システムの活用は、「個人時間割の確認」、「授業連絡の確認」を全回答者の55%以上が選んでいました。また、「一般健康診断情報の確認」、「授業料免除の申請をする日の予約」、「奨学金の申請・返還誓約書提出をする日の予約」は20%前後で、当該機能を必要とする学生による活用実態が確認されました。

30

学習支援環境(学務支援システム、シラバス、ネットワーク、e-Learningシステム、オンデマンドプリンタ等)について満足していますか。

大学全体



Comment

学習支援環境(学務支援システム、シラバス、ネットワーク、e-Learningシステム、オンデマンドプリンタ等)に対する満足度は、全回答者の85%が肯定的な回答(「満足」、「やや満足」)でした。本学の学習環境は比較的充実した環境である、と言えます。

こんな意見が寄せられました

講義室や、階数によっては、Wi-Fiの受信が出来ずに不便に感じることもあるため。

メールで来たお知らせをいちいち学務支援システムにログインしないと見れない点が非常にめんどくさい。

学務支援システムやManaba、学部の掲示板など情報があちこちにあり、必要な情報を集めることが困難な状況にあることに不満である。

シラバスや時間割を検索するのに手間がかかるので、もう少し簡単にできるといいと思います。

疑義申し立て期間内に成績(点数)が出ないのはおかしいと思います。

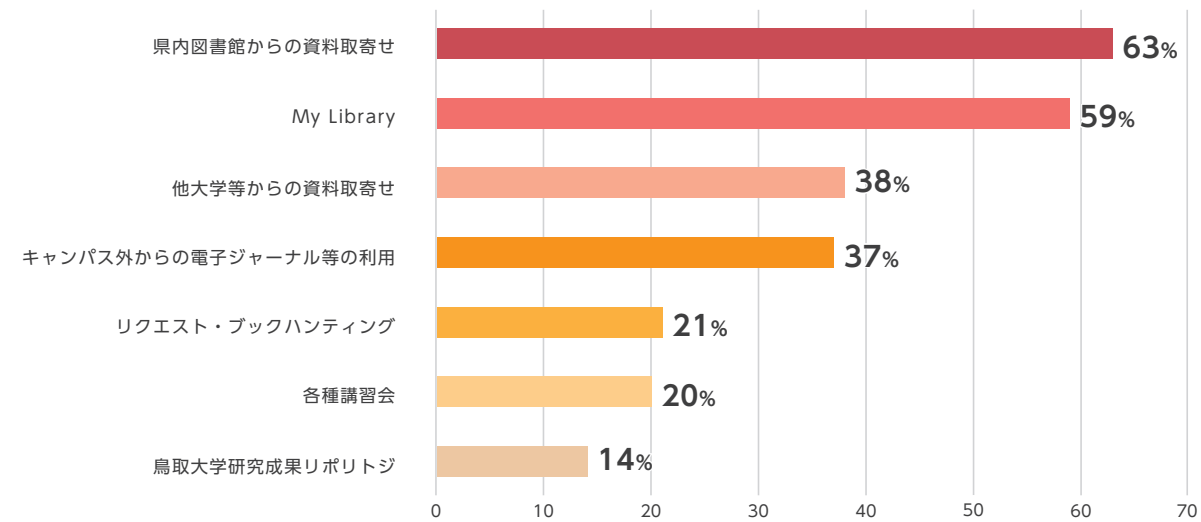
シラバスの充実化を要望します。

単位修得で、基盤科目や専門科目や教養科目といくつか種類があるが、それぞれ卒業要件を満たしているのか一目で分かるようにしていただきたいです。

31

図書館に関連するサービス等について、
知っているものを全て選んでください。[複数選択可能]

大学全体



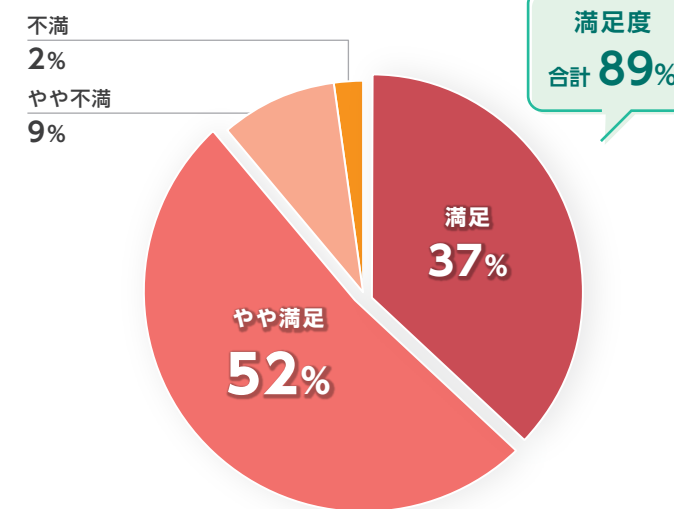
Comment

『My Library』及び『県内図書館からの資料取寄せ』については、過半数の学生及び院生に認知されていますが、その他の図書館のサービスについては、あまり認知がされていないことがわかりました。このことから図書館機能を十分に利用できている学生が少ないことがわかりました。今後の課題です。

32-1

図書館の施設(ラーニングコモンズ、閲覧室など)
について満足していますか。

大学全体



こんな意見が寄せられました

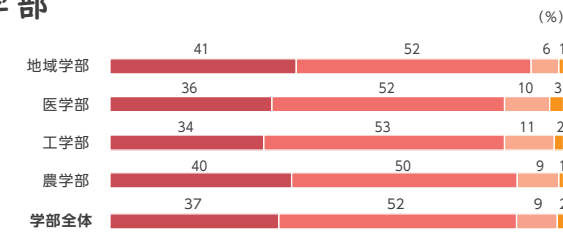
ラーニングコモンズについてですが、コロナウイルス感染症が流行する以前、マナーが悪い人が結構いました。大声で会話をしたり、においのきつい食べ物を食べたり、机を必要以上にたくさんくっつけたりする行為が気になっていました。

少し窮屈ですが、学習机がいつも綺麗に保たれている点は大変満足しております。いつもありがとうございます。

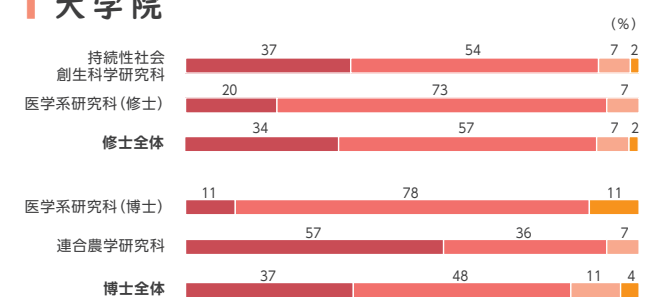
コンセントやLANケーブルが席によって使えない場所があるため、席を選ぶ必要がありますが、すぐそういった席が埋まってしまうので、不便なときがあります、...

本の場所が分かりづらく、司書さんに尋ねないと閲覧できないことがある。ラーニングコモンズは陣取っている人達がいるため様々な人が使用できていない。

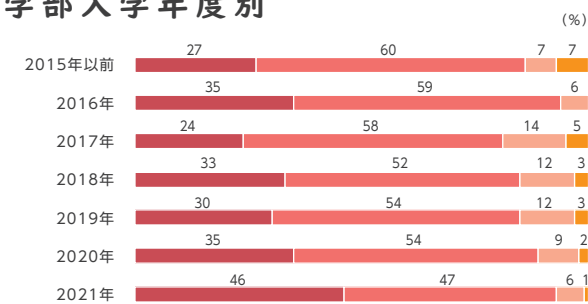
学部



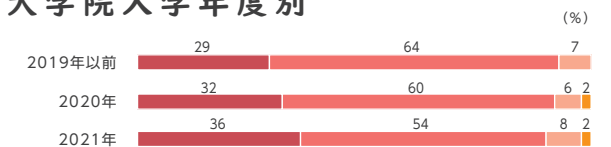
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



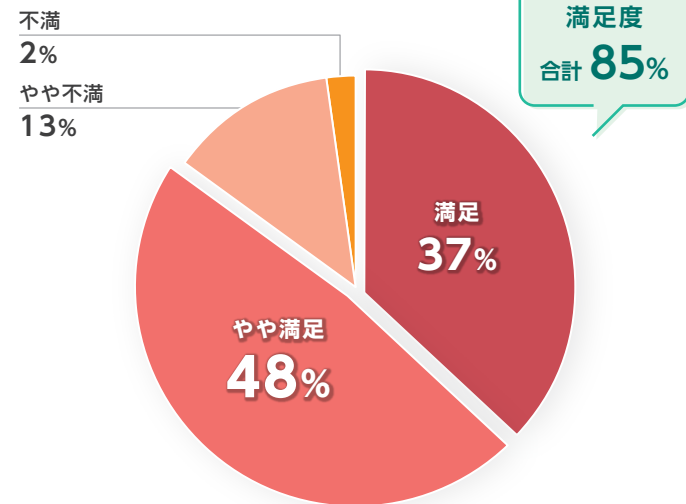
Comment

図書館の施設・設備については、学部生・大学院生ともに「満足」「やや満足」と答えた学生が8割以上を占めました。また鳥取・米子のキャンパス間でも大きな差異は見られず、どちらのキャンパスの学生も、概ね図書館施設の環境には満足していることがうかがえます。

32-2

図書館の蔵書(冊数、構成)について満足していますか。

大学全体



こんな意見が寄せられました

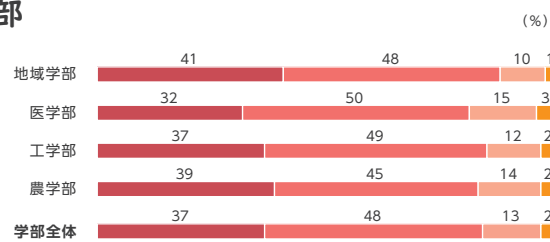
専門書が豊富なのは満足だが、教養を広げるための一般的な本があまりにも少ない。

専門的なものは閉架図書になっていることが多く、開架図書にできるスペースを確保してほしいです。就活系の本棚などももっと大きくすればいいのになあって思います。

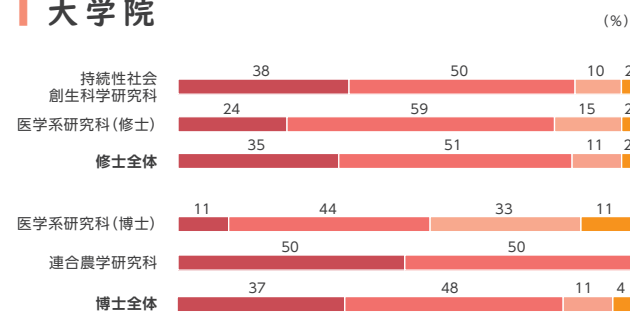
検索して出てくる番号のところに、その本が無いことがある本が窮屈に並べられており、1度出すと戻せない。もっと余裕をもって並べて欲しい。

最近のベストセラーや話題の本などが少ない気がします。また、目的の本がなくて鳥取県立図書館から取り寄せることも多いです。

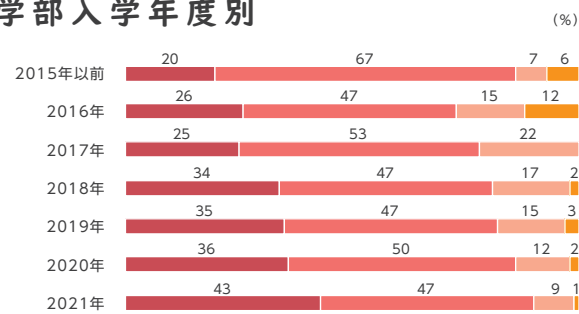
学部



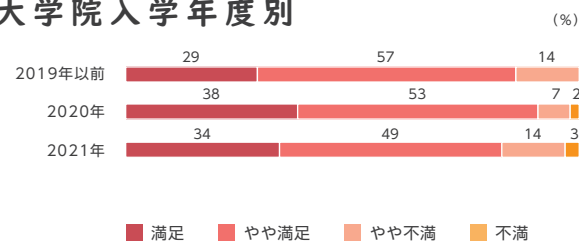
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



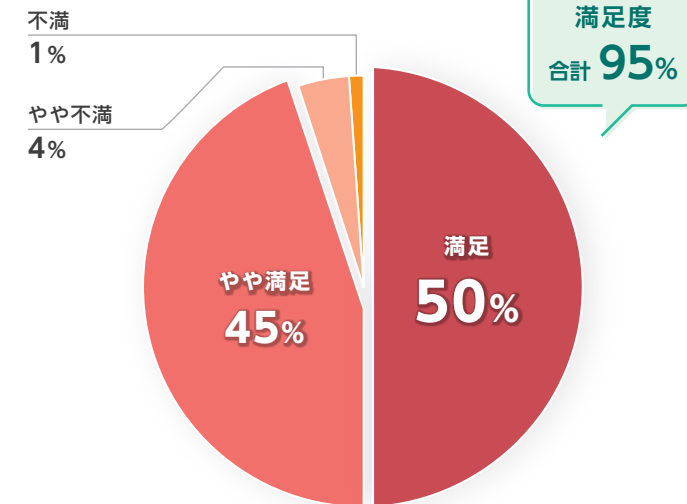
Comment

図書館の蔵書についても、学部生・大学院生ともに「満足」「やや満足」と答えた学生が8割以上を占めました。他方、母数が少ない部分もありますが、医学図書館を使用している医学系の学生からはやや低評価が多いようにも見えます。今後の課題かもしれません。

32-3

図書館のサービス(貸出、Webサービスなど)について満足していますか。

大学全体



こんな意見が寄せられました

学部生の貸出し可能数が以前より増えたのは良かったが、それでもまだ10冊は少ないと感じてしまう。

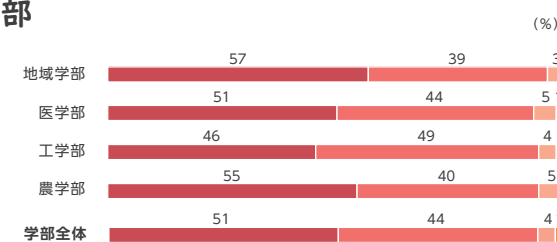
最近はずっと自動貸出機を利用していたのに、ここ数回、システムエラーということで利用できなかった。本を置いたら耳をつんざくような爆音でエラーを知らされて驚いた。

検索サービスでも本の説明とタイトル、章タイトル等しかヒットしないため専門的な知識を求めて本を探しているとなかなか見つけづらい。

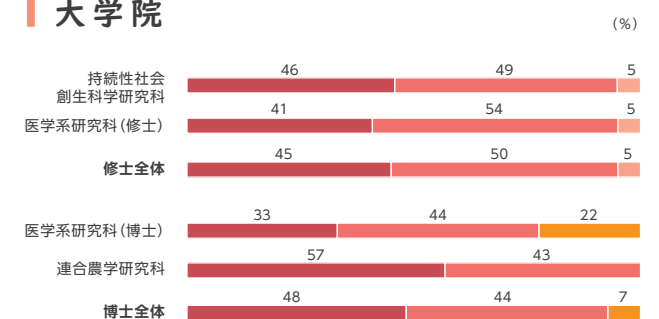
借り方が未だにいまいちわからない。初めての人もわかりやすくしてほしい。

専門書などは読むための時間が通常の本より時間がかかるために二週間では短い。したがって通常の貸し出し期間を三週間にしてほしい。

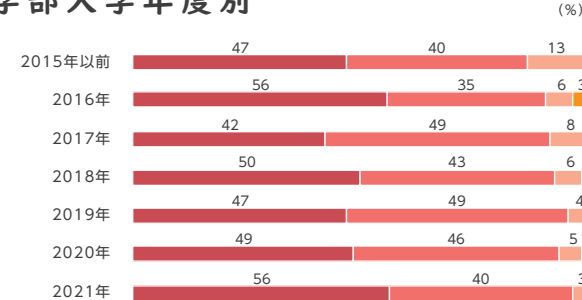
学部



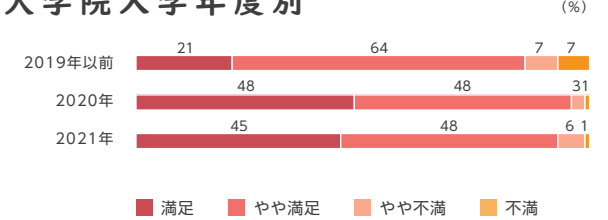
大学院



学部入学年度別



大学院入学年度別



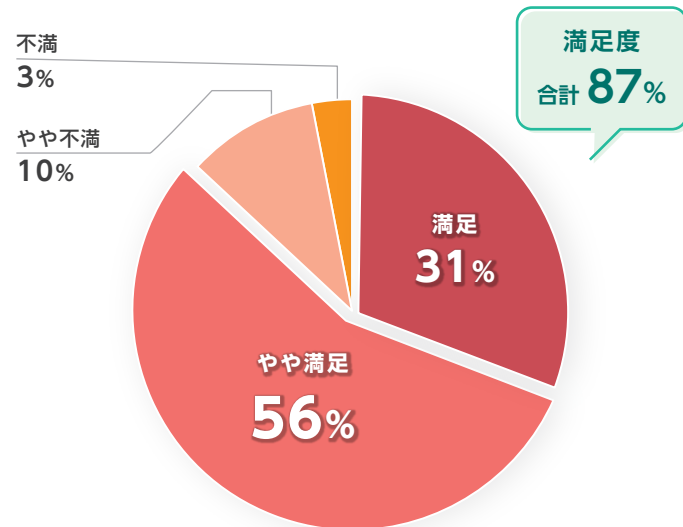
Comment

図書館のサービスについても、9割以上の学生から高い評価が得られました。図書館に関する満足度は前回調査に比べて30%ほど向上しており、総じて図書館の環境は評価されているようです。電子書籍を含む蔵書の充実や、コロナ禍においても感染対策をしながら利用に供していたことが要因かもしれません。

33

本学の学習支援全般に満足していますか。

大学全体



こんな意見が寄せられました

3年になり専門性が増したことで各受講者への成績などのフィードバックが充実するようになった。居室訪問した際も的確な答えをいただけることが多く勉強の面でも充実している。

大学で契約されているデータベース等を大学だけではなく、自宅でも気軽に活用できるのはありがたかった。

特別な支援配慮を希望している人に対するサポートが中学、高校よりも手厚いと感じています。

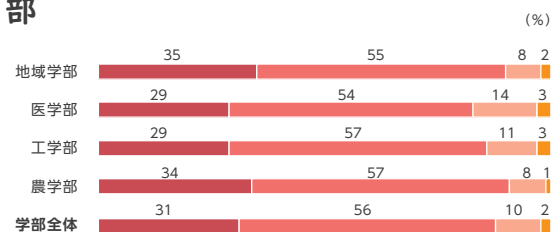
総合研究棟でも自習室のような場所を設けてほしい。研究室のデスクではあまり話せないので、議論しながら作業できるスペースが欲しいです。

教職関係の手続きなどをもう少し円滑に行っていただければと思います。

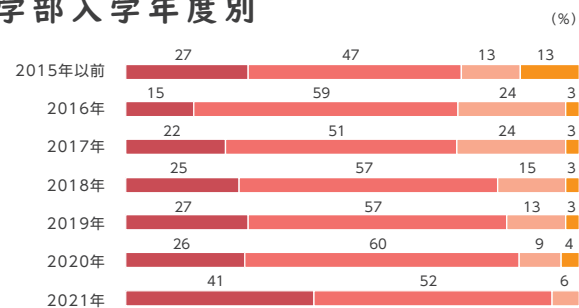
snsに関する大学側の処理の仕方がまったく体系が整っていない。

CAP制度が正直邪魔です。自習時間の確保という目的の上での制度であることは分かります。制度自体はなさないにしても、もう少し融通をきかせてほしいです。

学部



学部入学年度別



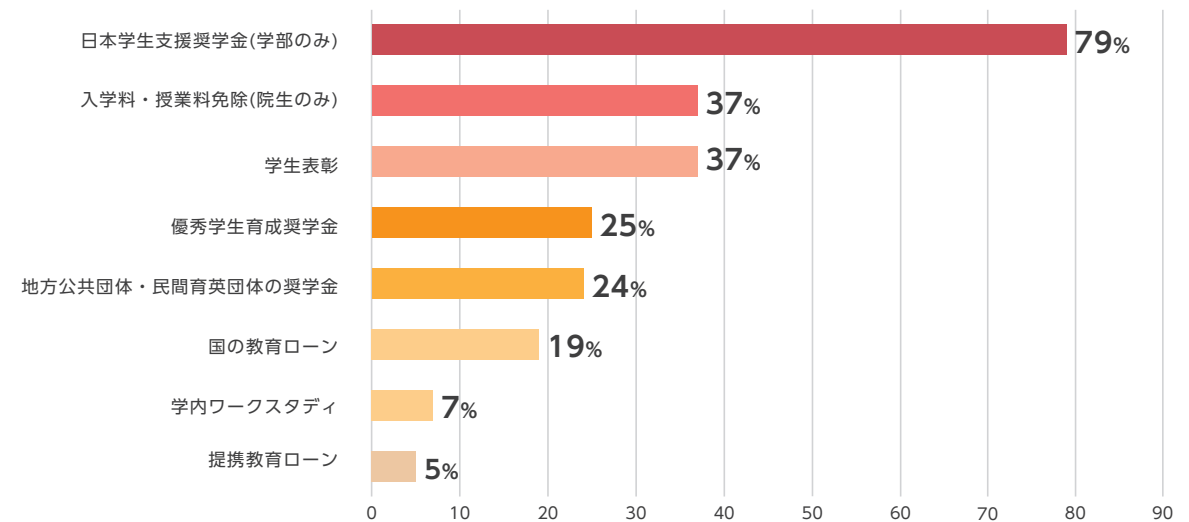
Comment

本学の学習支援全般に対する満足度は、全回答者の87%が肯定的な回答（「満足」、「やや満足」）でした。学部全体と修士全体の回答傾向は概ね一致していました。学部別では、医学部生の否定的な回答（「やや不満」、「不満」）が17%となり、他学部よりもわずかに高い数値でした。

34

経済支援制度について、知っているものを全て選んでください。
〔複数選択可能〕

大学全体



Comment

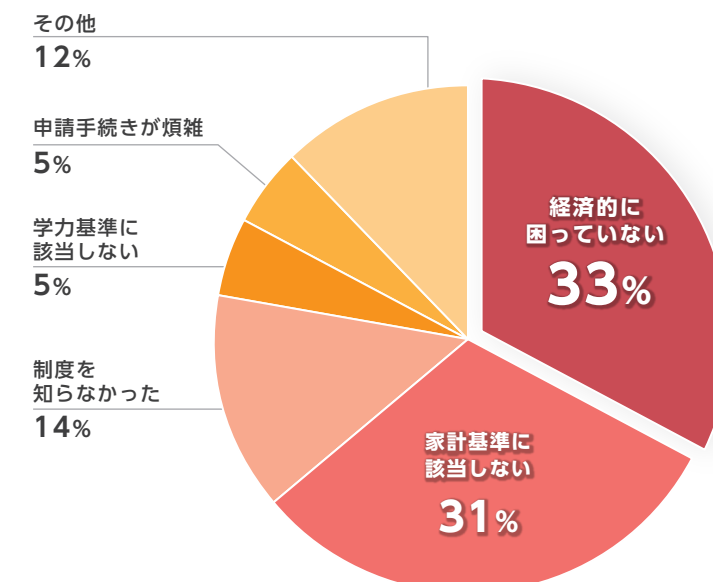
大学全体で、日本学生支援機構奨学金は79%の学生に、入学金・授業料免除(大学院)も70%以上の学生に認知されていました。一方、その他の制度の認知度はいずれも40%未満でした。これらの情報はHPや掲示等で周知していますが、コロナ禍であることもふまえ、必要な学生に必要な情報が届く工夫が求められます。

35

申請しなかった主な理由は何ですか。

(日本学生支援機構奨学金(修学支援新制度を含む)を申請しなかった学部生が対象です)

学部全体



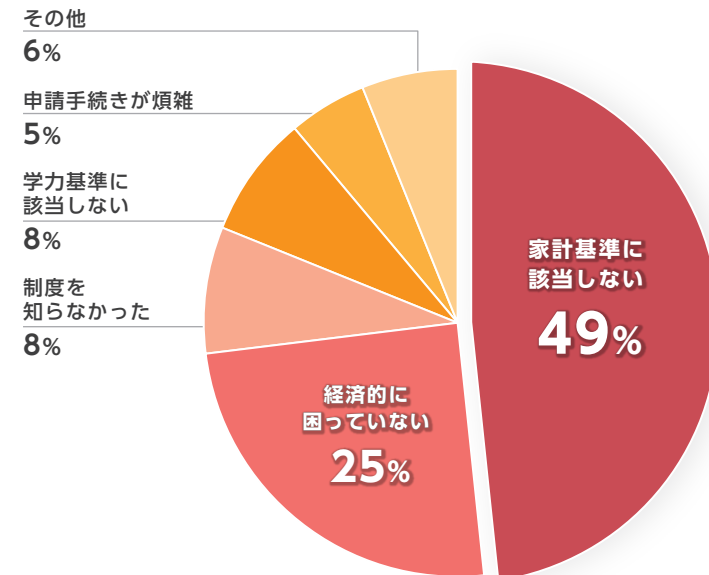
Comment

学部全体で、申請しなかった理由として一番多いのは、意外にも「経済的に困っていない」(33%)でした。次いで「免除基準(家計基準)に該当しないと思った」(31%)でした。また、「制度を知らなかった」学生が大学全体で14%いることから、制度の周知を徹底するようさらなる情報発信が必要と考えます。

36-1

入学料・授業料免除を申請しなかった主な理由は何ですか。 (入学料免除・授業料免除/日本学生支援機構奨学金を申請しなかった大学院生が対象です)

大学院全体



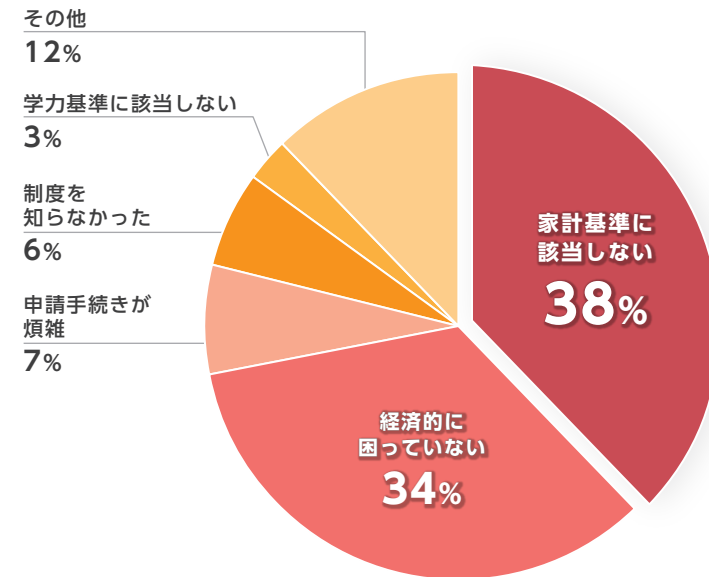
Comment

大学院全体で免除を申請しなかった理由として一番多いのは、「家計基準に該当しない」(49%)でした。次いで「経済的に困っていない」(25%)でした。「制度を知らなかった」は8%であることから、大学院では制度の周知はある程度行き届いていると考えられます。

36-2

奨学金を申請しなかった主な理由は何ですか。 (入学料免除・授業料免除/日本学生支援機構奨学金を申請しなかった大学院生が対象です)

大学院全体



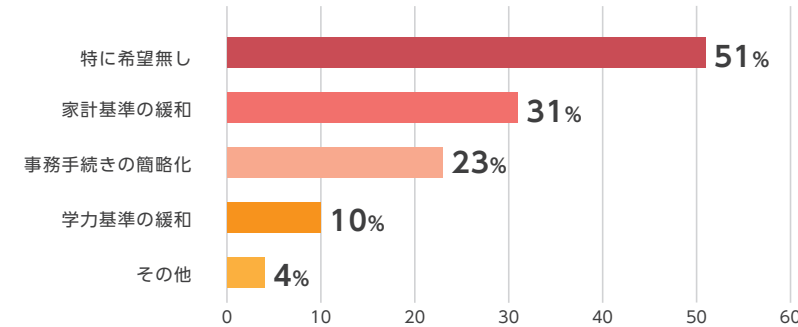
Comment

大学院全体で奨学金を申請しなかった理由として一番多いのは、「家計基準に該当しない」(38%)でした。次いで「経済的に困っていない」(34%)で、「制度を知らなかった」は6%であることから、大学院では制度の周知はある程度行き届いていると考えられます。

37

日本学生支援機構奨学金(修学支援新制度を含む) について要望することがありますか。[複数選択可能]

大学全体



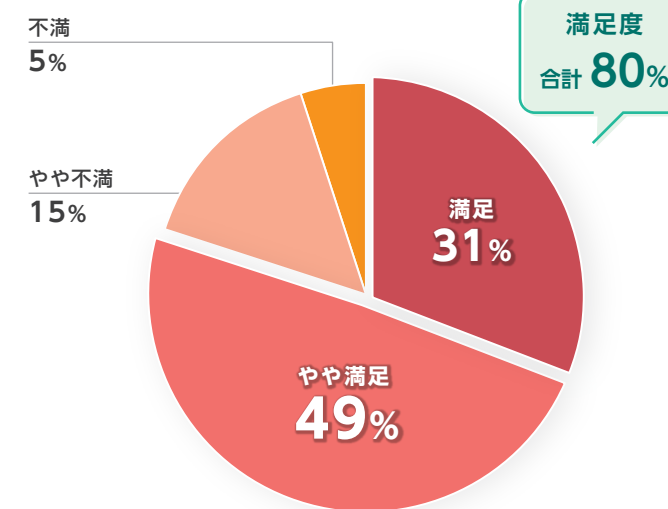
Comment

日本学生支援機構奨学金への要望として半数以上が「特に希望無し」(51%)でした。次いで挙げられたのは「家計基準の緩和」(31%)であり、奨学金に関する回答全体の傾向も勘案すると、大学として「家計基準の緩和」された経済支援策を検討すべきと考えます。

38

本学の経済支援全般に満足していますか。

大学全体



こんな意見が寄せられました

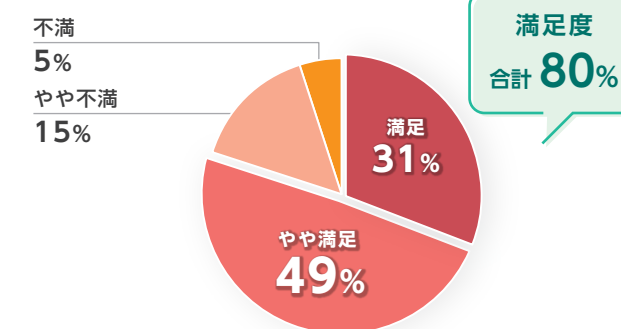
入学時、奨学金の手続きをした際、授業料免除の案内もしていただいたため、授業料免除になっており、かなり助かっている。

授業料免除の基準を緩和して欲しいと思った。

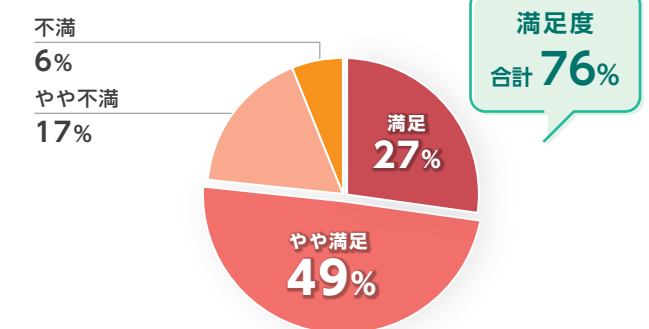
コロナ禍が続く中で、食料の無料提供など積極的に行っているように思うから。

鳥取大学の支援について不満な点はありません。民間の奨学金について随時紹介され、対応も丁寧にしてくださっています。

学部全体



大学院全体



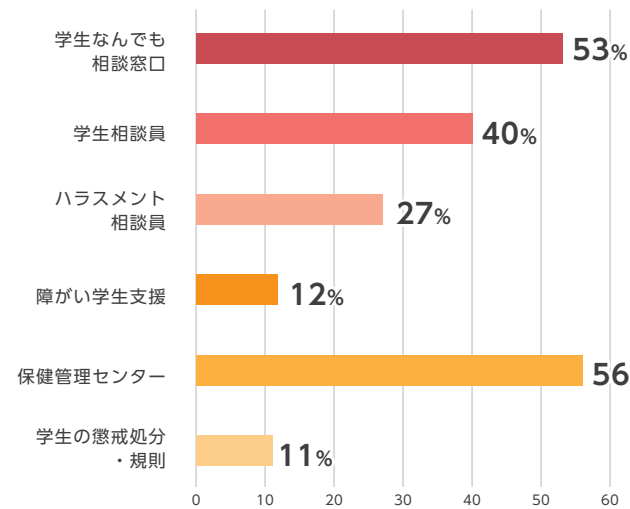
Comment

本学の経済支援に対する満足度として「満足」、「やや満足」とした学生は80%となり、前回調査(75%)を上回りました。しかし、「不満」、「やや不満」の回答も20%あることから、本学の経済支援の充実を図り、少しでも不満の解消につながる取り組みが求められています。

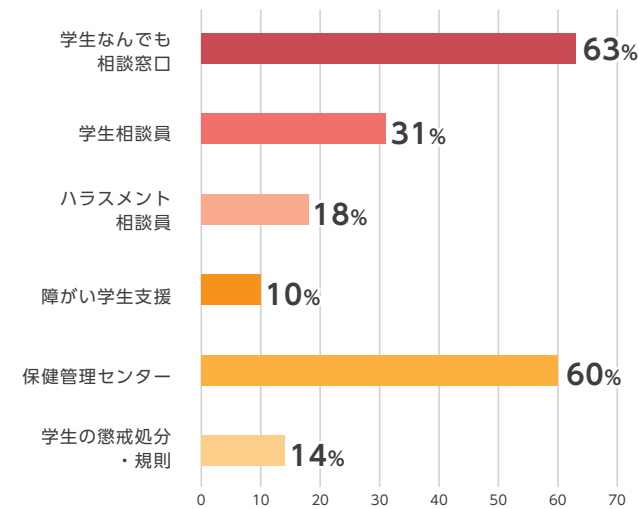
39

学生相談、生活支援、ハラスメントの防止等に関連するサービス、制度等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

鳥取地区



米子地区



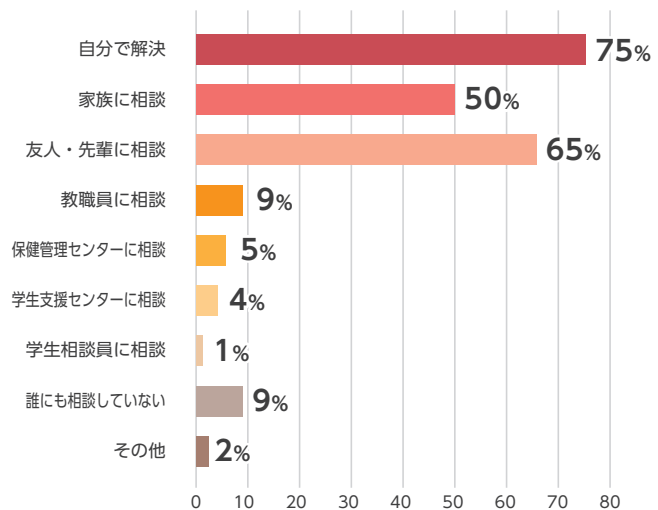
Comment

鳥取・米子両地区とも「保健管理センター」「学生なんでも相談窓口」は半数以上が知っていましたが、「ハラスメント相談員」「学生相談員」はあまり知られておらず、「学生の懲戒処分等の規則」「障がい学生支援」については10%台でした。相談窓口・規則等の周知方法等を検討する必要があります。

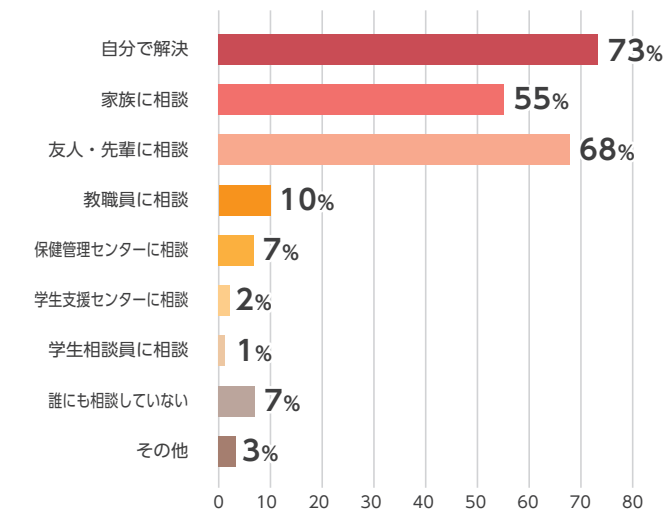
40

あなたは、自分の不安や悩みについて、どのように対処していますか。〔複数選択可能〕

鳥取地区



米子地区



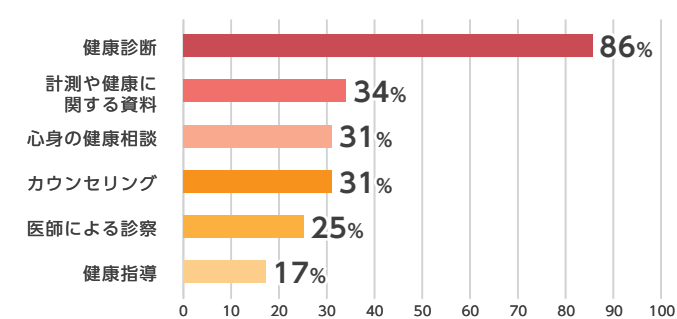
Comment

鳥取・米子両地区とも相談相手は友人・先輩、家族が多く、学内相談等の利用は1割程度で、文部科学省の全国調査(令和3年3月)と同様の傾向でした。「自分で解決」が多い反面、「誰にも相談していない」学生が一定いることもしっかりと認識し、学内の各相談窓口の利用しやすい体制整備が望まれます。

41

保健管理センターで行っているサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

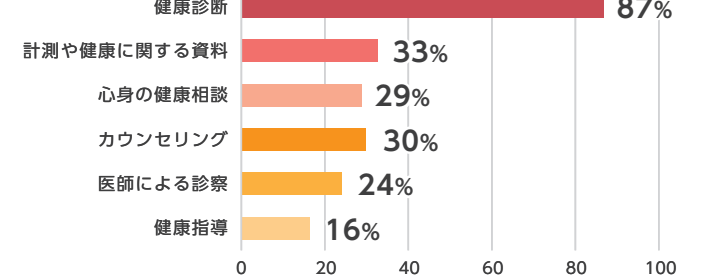
大学全体



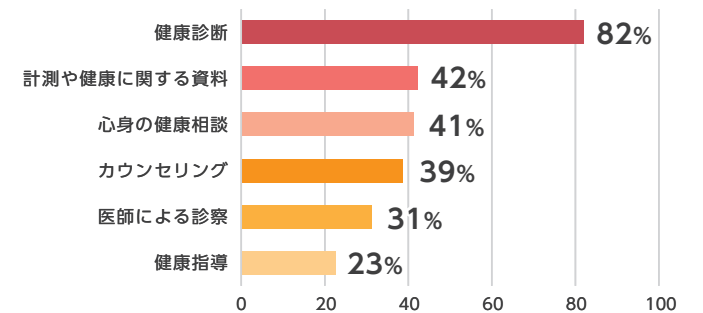
Comment

健康診断は多くの学生が知っていましたが、その他の項目は鳥取地区16～33%・米子地区23～42%と低い結果でした。保健管理センターには保健師・看護師・カウンセラー・医師が勤務し、学生の皆さんの心身の悩みや不調への対応・健康支援を行っていることを、わかりやすく周知する必要があります。

鳥取地区



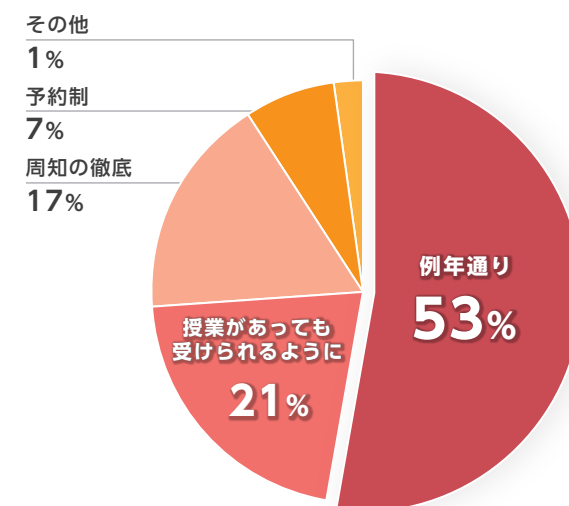
米子地区



42

健康診断を確実に受診するために、実施してほしい取組みはありますか。

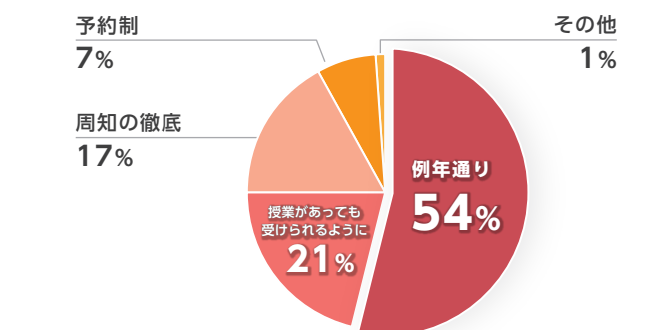
大学全体



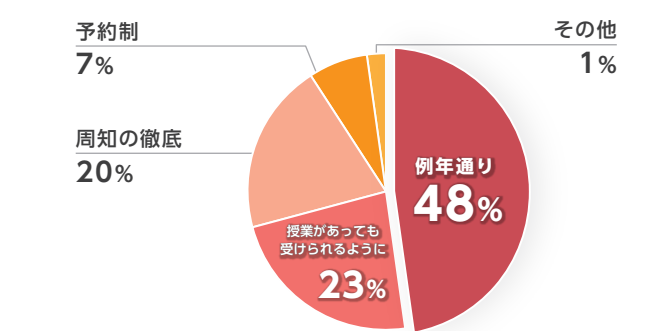
Comment

鳥取・米子両地区とも「例年通り」の実施でよいとする回答が約半数でした。学生の皆さんが確実に健康診断を受診できるように、引き続き周知方法等改善に取り組み、令和4年度からは予約制で実施する予定です。健康診断を「授業があっても受けられる」ように、検討を進めていく必要があります。

鳥取地区



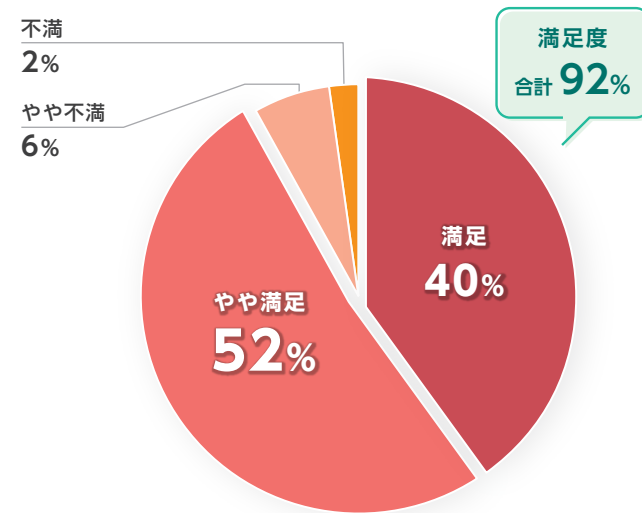
米子地区



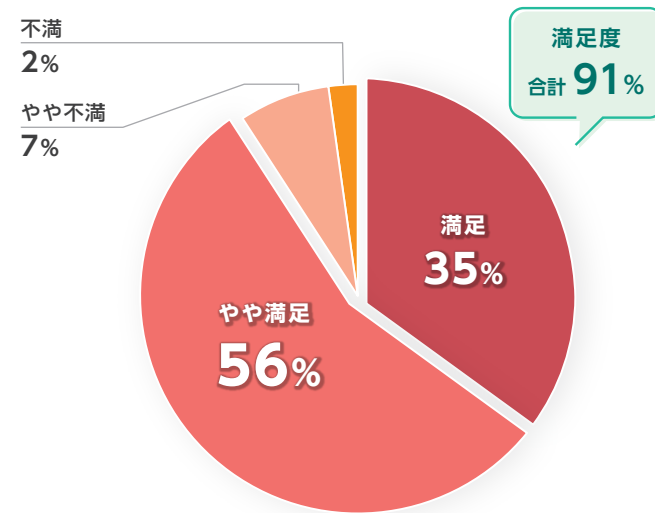
43

本学の学生相談及び生活支援全般に満足していますか。

鳥取地区



米子地区



こんな意見が寄せられました

支援の体制が整っていると思うから。相談しにくい雰囲気を出す人もおらず、みなさん優しく話を聞いてくださるから。

利用したことはまだないが、あるというだけでとても安心できる。

そういった支援があることは素晴らしいが、それをどのように利用するのが学生にあまり浸透していないように感じるから。

学生相談など、行われているのは知っているが、教員と学生との間に見えない壁があるように感じ、相談に行きづらいと考えたため。

知ろうとしなければ知ることができない情報というのは支援を必要としているような余裕のない人には届きづらいと考えられるため。

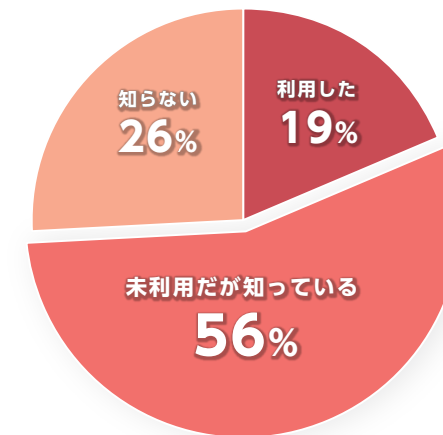
Comment

「満足」「やや満足」が鳥取地区92%・米子地区91%で、本学の学生相談及び生活支援全般に概ね良い評価が得られました。しかし、「やや不満」「不満」を感じている学生もあり、相談・支援の周知と体制の整備とともに、教職員は日頃から学生に寄り添い真摯に対応することが重要です。

44

キャリアセンター(米子地区は学務課学生係の就職相談)を利用したことがありますか。

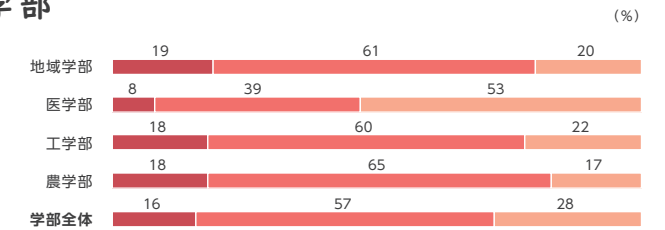
大学全体



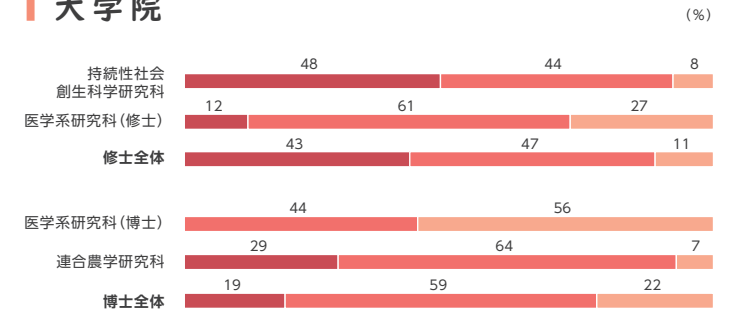
Comment

大学全体でみた場合、「知らない」が約1/4を占めますが、鳥取地区に在籍する学生ではその割合は小さく、一定の認知度はあると考えられます。ただ、大学院生に比べて学部生の利用度・認知度が低い傾向があるため、インターンシップも含めた低年次からの積極的な利用を促していくことが課題といえます。

学部



大学院

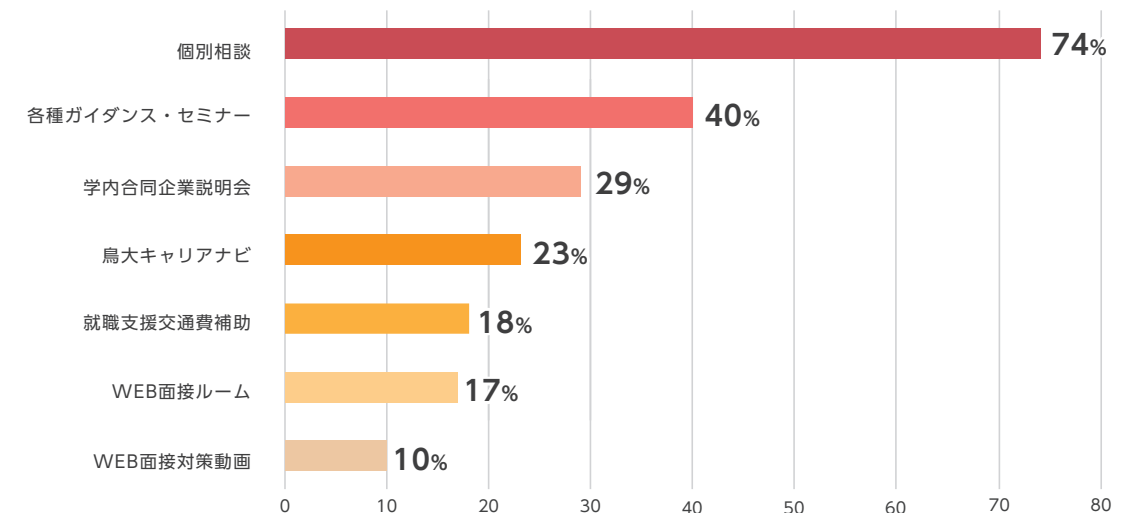


■ 利用した ■ 未利用だが知っている ■ 知らない

45

就職支援に関する本学のメニューや制度等について、知っているものを全て選んでください。[複数選択可]

大学全体



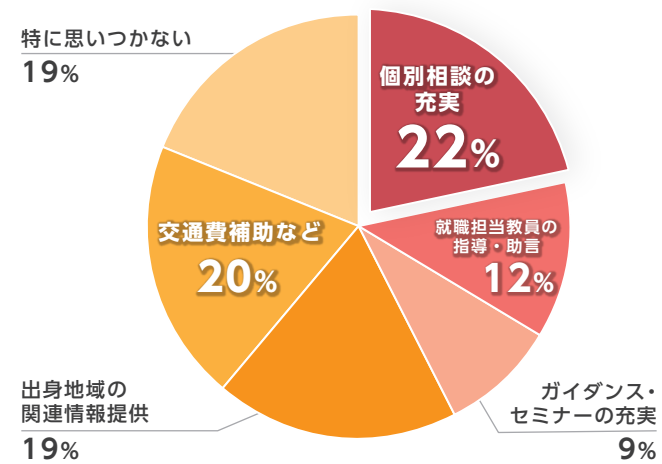
Comment

学部生・大学院生とも、「個別相談」の認知度が群を抜いて高く、次いで「各種ガイダンス・セミナー」、「学内合同企業説明会」の順となりました。他方で、昨今の社会状況をふまえて整備した、「鳥大キャリアナビ」やWEB面接対策については認知度が低いことから、本学の特色ある支援の認知度向上が課題です。

46

就職活動への支援として、
大学側にどのようなことを最も期待しますか。

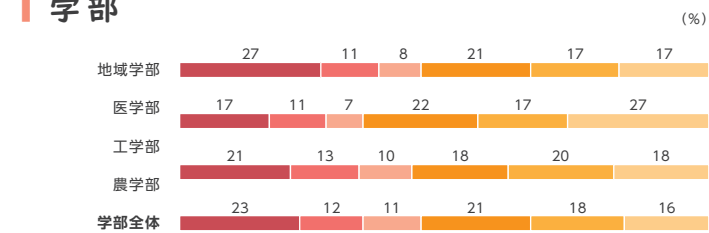
大学全体



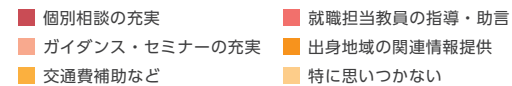
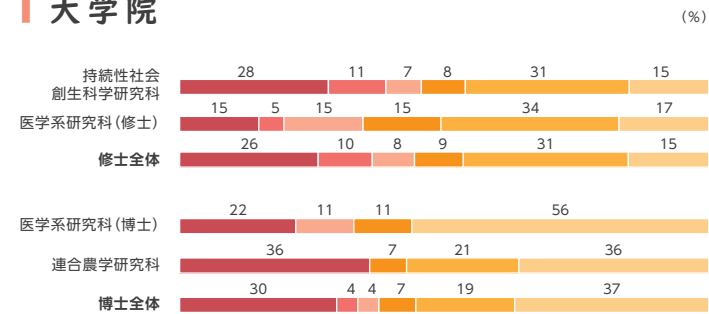
Comment

学部生・大学院生とも、「個別相談の充実」が最も回答を集めたほか、「交通費補助など」や「出身地域の就職情報提供」も、多く選択されました。学生たちの回答から、就職活動の実際の場面で、個々のニーズに寄り添った、機動的できめ細やかな支援メニューが期待されていると考えられます。

学部



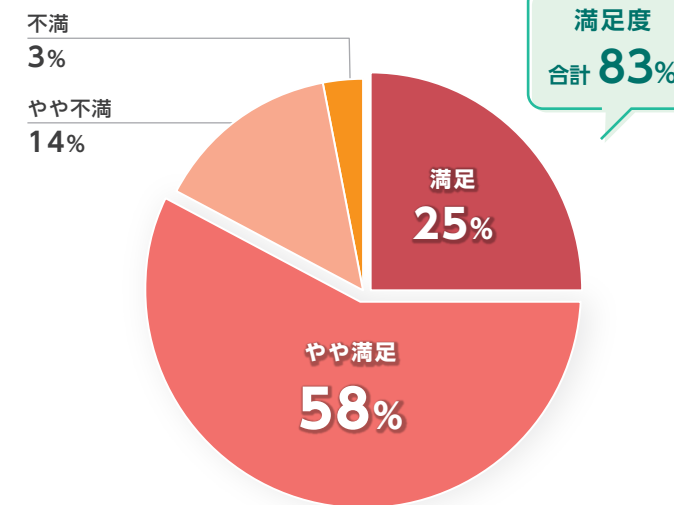
大学院



47

本学の就職支援全般に満足していますか。

大学全体



満足度
合計 **83%**

こんな意見が寄せられました

就職活動における具体的な面接のアドバイス、ESの添削のみならず、メンタル面でもとても支えになった。

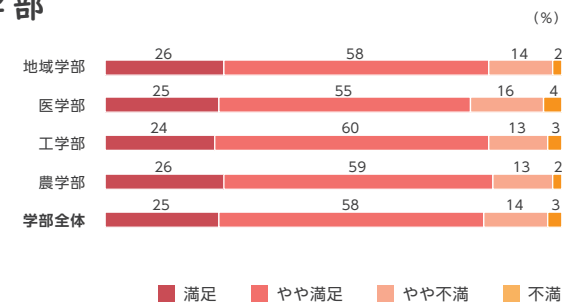
大学会館やマーレのテレビ画面によく、キャリアセンターからのお知らせが流れており、周知が良くなされていて、利用してみようかなと気軽に思えるようにしているため。

就活の時に大変お世話になりました。やはり、個別面談がありがたかったので相談員の増加や設備の充実があればもっと多くの大学生が助かると思います。

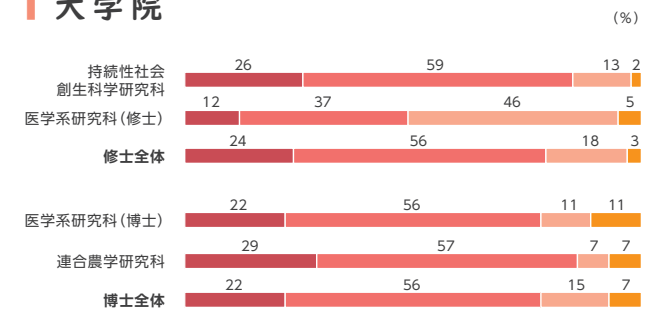
大きな不満はないが、キャリアセンターがどのようなところかわかりにくく行きづらいため、利用した学生の立場からの発信があてほしい。

webでの就職関連セミナーが授業時間帯と被り、受けられないこともあるので、アーカイブ配信があるセミナーが増えて欲しいです。

学部



大学院



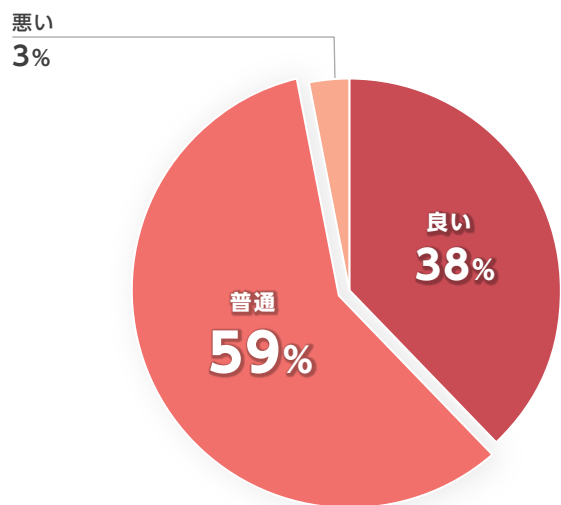
Comment

「満足」と「やや満足」の合計で8割強、「不満」と「やや不満」の合計が2割弱、という結果で、3年前の前回調査に比べて、肯定的評価の割合が5ポイント程度増加しています。今後も学生の満足度をさらに向上させるべく、社会状況と学生のニーズの双方を的確にとらえた取組の強化が必要と考えられます。

48

本学の教職員の対応はどうか。

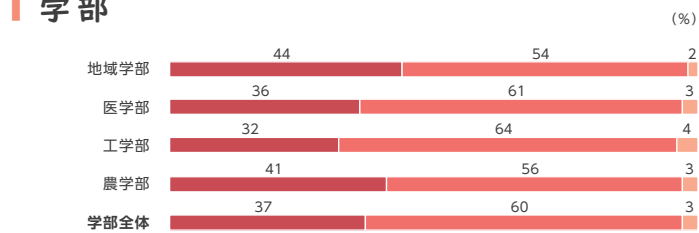
大学全体



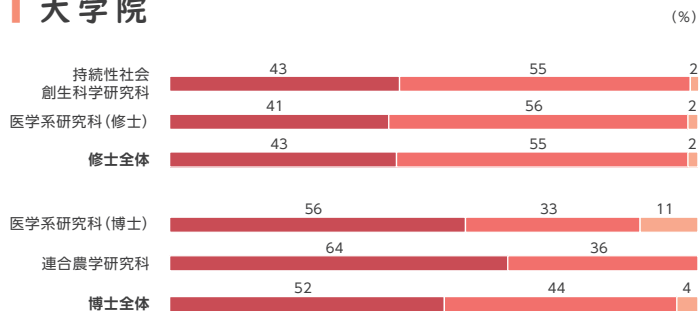
Comment

学部・大学院それぞれでそれほど大きな差異もなく、大学全体で評価がほぼ同じ割合となりました。「良い」、「普通」、「悪い」と回答した学生の割合も気になるところですが、この回答を選択した理由が重要です。積極的に選択されたものかどうか、問49や他の設問への回答も参考に分析する必要があります。

学部



大学院



■ 良い ■ 普通 ■ 悪い

49

教職員に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

主な自由記述内容

主な自由記述内容を以下に記載しますが、同じ内容のものや、個人もしくは特定の関係者を中傷する内容の意見は委員会の判断により掲載をしていません。また、掲載にあたり、文章に必要最低限の修正を加えているものがあります。

履修・授業関係

授業に対する熱量の差が大きい。 大きな声で喋り、わかりやすい見やすいレジュメ作りを心がけて欲しい。 紙のレジュメは資源の無駄になるのでデータで渡して欲しい。最近問題になっている、環境問題に配慮した対策が多く求められると考える。	医学部
たまに、講義資料自体を一切配布しない教員の方がおられますが、自身でメモすることにも限界があるので、講義の最後などに簡単な資料を配布して欲しいと感じます。	医学部
オンライン授業と対面授業を混合させるのであれば、自宅から学校の移動時間なども考慮してほしい。	地域学部
対面とオンライン授業の併用などより効果的な講義を設計してほしい。	工学部

授業等で質問がしたい時に、コロナの状況で仕方がない部分があることは理解できるが、対面で相談できる機会が増えてほしい。

農学部

講義で声が聞こえづらい教員がいる。

医学部

発表などの授業では発表で終わってしまうのではなく、何ができていて何ができていなかったのかというところまで教えてほしいです。

工学部

複数の先生が交代で担当する授業の際、使用したパワーポイントまたは資料をこちらが後から見れないことが多いので、配布してもらえると助かる。

農学部

既にやっていただいている先生もいらっしゃるのですが、オンラインで実施している授業について、授業中は授業の進行を妨げると思い質問が言いづらいこともあるので、授業後に質問したい場合の為に少し時間を作っていただくか、manabaの課題の問題の最後などに質問欄を設けていただけると嬉しいです。

農学部

定期試験・成績（評価）

評価基準が非常に厳しい先生がいる。
資格をとりたくて、履修しても、単位をなかなかとれなくて、諦めたものがある。

工学部

明らかに単位認定が厳しすぎる教員の方がおられ、やる気を見出せないことがあったので、もう少し緩和してほしいと思いました。

農学部

連絡（周知の時期・方法等）

シラバスの更新とeラーニングシステムでの授業についての連絡をもっとはやくしてほしい。

工学部

教職員の授業案内の出す時間を前日夜までにして欲しい。

農学部

どの先生も親身になって生徒のことを考えて講義をしてくださっているので不満はないです。一つ要望を出すとするならば、講義が対面なのかオンラインなのかをもう少し早くに連絡してもらえると計画が立てやすいので助かります。

地域学部

教職員の態度等

講義後の質問など丁寧に対応していただける点について非常に満足しています。講義内容については最新の研究内容などもあり満足しています。講義方法については定期的な小テストで理解度確認ができればうれしく思います。

医学系研究科
(修士)

学生によって態度を大きく変える教員とは接しにくく、指導を受けたくない。

農学部

落とし物など困ったときに親身になって動いてくれた方がいて、非常に感謝しています。

農学部

挨拶が出来ない方が多い。

農学部

学生思いのいい先生が多いです

医学部

親身になって相談に乗ってくれる先生が沢山いる中で一部の先生は学生の意見を耳に取り入れずどれだけ発言しても先生の学問の話にすり替える先生もいます。もう少し柔軟に学生の意見を取り入れて欲しいです。

地域学部

講義の内容や課題についての質問や、研究室配属、就職活動など幅広く相談に乗っていただけるのでとても満足しています。

工学部

全員が悪いというわけでは決していないが、一部、けなしてくる、人格を否定してくる発言の多い教職員がいてとても不快である。

工学部

対応の仕方については教職員によって変わることは理解できるが、同じことを聞いたり頼んでいるのに対応が変わるのはよくないと思う。
対応が丁寧な人とそうでない人がいるので統一させてほしい。

工学部

人によりますが、人を萎縮させる、または呆れたような物言いをする方がおられることがありますので、直して頂きたいです。ただそれは一部のみで、優しい人の方が多いです。

医学部

基本的に、どの先生もとても良い方たちだなと思います。大学という教育機関は、高校までとは違って先生側からアクションが起こることはありません。しかし、鳥取大学の先生方はどの方も、学生からのアクションに対するリアクションが非常に丁寧であったり楽しいものであったりします。いつもお世話になっております。

地域学部

もっと学生に対して親身になってほしい。「自分から来い」というスタンスじゃなくて、「ちょっとお話ししましょう～」ぐらいの気軽さが欲しい。

工学部

友人関係で困ったときに、ある教授がお話を聞いてくださいました。精神的に助かりました。気軽に質問もできて、教員と学生の距離が近くとても満足しています。

医学部

個性的な先生が多く私は好きだが、1人、持論を押し付け、学生の意見を否定してく先生がいる。この先生は生徒との関わり方を見直してほしいと思っている。	地域学部
丁寧に対応してくれるところ。また、オンライン講義に備えて、理解しやすい講義資料、講義内容の作成に力を入れているところがとても良い。	工学部
対応が雑な人や意味の分からない対応をする人がいる。 テストの問題が間違っていたのになんの訂正もなかったり、質問に答えなかったりする場合があった。	農学部
質問に丁寧に答えて下さる先生方が多く、また楽しく講義をして下さる先生方が多いので、講義を受けていてとても楽しいです。	農学部
低レベルな質問であっても嫌な顔せず真摯に対応してくださって、大変うれしく思うとともにこの大学で良かったなとも感じました。	工学部
僕は、楽しく学びたいのに、すぐに怒る先生がいて、あまり楽しくありませんでした。 もっと笑顔で、楽しく授業を進めてほしいです。	工学部

その他

1 研究室に1 教員の体制は、たとえ教員が間違った行動や言動をしてもただ人がいないため、問題であると強く感じています。学生が抱えている問題を抽出したり、教員間で指導に問題がないか振り返る機会が必要だと思います。	農学部
もっと話せる機会があればいいのになと思う。	農学部
教員への接し方が分からない	農学部

Comment
問48と関連させて回答内容を具体的に見ていくと、学生が必要とする対応ができている場合は感謝の言葉も見られますが、そうではない場合も多くあるようです。個々のケースで事情が異なるので一概には言えませんが、学生が求める対応と実際の対応の差を小さくする努力が求められています。

50 本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。

履修・授業関係

クォーターで開講される教養科目や鳥大には県外生が多いので方言に関する科目などもあればもっとおもしろいと思う。	農学部
CAP 制度が本当に邪魔です。抽選で履修できなかった学生や教職課程を履修している学生にもう少し配慮してください。その時しか履修できない恐れもありますし、何よりも将来がかかっているのです。	農学部
基幹科目のうちの1 年時に必ず履修しなければならない講義（人文・社会、自然科学など）が抽選で落ちてしまうので受講したくても受けられません。制度の改正を願います。	農学部

定期試験・成績（評価）

試験の結果はもっと早く発表して欲しい。	医学部
私は農学部なのですが、成績をクォーターごとに出してほしいです。無駄に多くの授業を取らないといけなくなるので。	農学部

連絡（周知の時期・方法等）

もう少し早めの情報を伝えてほしい。気象状況やコロナ、試験など。	医学部
オンライン授業になる時とならない時など、当日に連絡をするのではなく、統一して事前に連絡してほしい。	地域学部

課外活動

サークル活動を行う場所の設備を整えてほしいです。	医学部
サークル活動の活気がないし制限が厳しい。なぜ中学生や高校生が部活動やサークルをできているのに大学生が過剰に拘束される必要があるのか。大学生は勉強ももちろん大事ではあるが、部活動やサークルを通して人間関係や人との付き合い方なども学んでおり、部活動やサークルも勉強と同じくらい重要である。	医学部
課外活動（非公認でも）に力を入れている学生が多い。そういう学生をもっと支援し、自由に大学生でしかできない発想で、活動できるようにかつ継続できるように支援して欲しい。	地域学部

授業料免除・奨学金関係

授業料免除とか奨学金の要望のところが一番の要望。	農学部
奨学金制度を充実させてほしい。	農学部

就活

就活に関する講義、例えばSPI 対策などを実施するものがあってほしいと思います。	農学部
どうにか後輩たちのためにもキャリアセンターの相談員の人数を増やしていただきたいです。どうしても予約がとりにくい時期があって、そういう時期に限って相談したいことがあるという状況が生まれてしまいます。	農学部

駐車場

鳥取という地域から学生が車を所有することも考えて、学部生でも大学駐車場におけるようにしていただきたいです。	地域学部
学業（実験などで）自家用車が必要でもあるに関わらず、駐車場は有料なのが気に食わない	持続性社会 創生科学研究科

駐輪

鳥取は急に雨が降ることが多く、自転車が錆びないために駐輪場に屋根を設置してほしい。	農学部
工学部棟正面玄関近辺が秩序なく、自転車で溢れていて迷惑です。いっそのこと、駐輪場に指定して白枠を引けば秩序ある自転車置場になるかと思います。そうでなければ、徹底的に駐輪場でないことを周知してください。鳥取大学、特に工学部に対して印象が悪くなります。お願いします。	工学部
駐輪場にずっと放置されている自転車を撤去してほしい。	医学部

喫煙

工学部棟西側の学内出入り口に喫煙者と、タバコの吸い殻が多い。 一部の喫煙者が陰に隠れてマナーを守らない所から、喫煙者全体の印象が悪くなるので、対策をしてほしい。 平成 27 年度内に、禁煙に関する通達が HP に掲載されていたが、禁煙を促すことは良い事だと感じる。 せめて吸う人が吸い殻をポイ捨てしないように呼びかけを行ってほしい。	工学部
学内禁煙について異議があります。学内禁煙にするのであれば大学の敷地周辺の喫煙についても厳しく取り締まってください。正門横や駐車場周辺で喫煙している学内関係者を見ると、鳥取大学に通う学生として恥ずかしい思いをするし、何より近隣住民へ迷惑をかけていることがとても申し訳ないです。取り締まれないのであれば喫煙所を作ってそこで喫煙できるようにしてください。私が1 年生の頃からずっとこの問題はあるし、他にも同様の意見を持つる方はいると思います。	農学部

生協

食堂が狭く、座る場所がない時もあるので何か対処を考えて欲しい。	医学部
お昼になると食堂がとても混むので利用しづらいので改善してほしい。	農学部
生協食堂のミールカード上限を上げて欲しい。まったく足りない。	医学部
学食がおいしく、特にマーレはメニューが豊富で助かります。	農学部

その他

全体的にどのような制度が利用できるのかがわかりづらいので、学務支援システムで利用時期に応じた案内などがあると良いと思います。	医学系研究科 (修士)
電気が人を感知してセンサーでつくが、夜まっくらな時が多いので、廊下などは常に点灯して欲しいです。	医学系研究科 (修士)
コロナの影響を受けている学生（特に 1、2 年生）で、生活リズムや学業と部活、バイトなどの両立がなかなかできていない人が多く見受けられる気がする。 何か対策などを考えて頂きたい。	農学部
テスト期間の間図書館に人が殺到しているので、テスト期間の間だけでも、普段の講義室などを勉強のために使える部屋として開けてくれると嬉しい。多くの大学生は自分の家では勉強をしない（できない）。	農学部
コロナで落ちてしまった活気を戻すような催しをしてください。今、いろいろな学生の表情を見るとかなり沈んでしまっていると感じます。	工学部
支援は整っているけれどそれを受けるためにはどこに行けばいいのかがあまり分からず困ることが良くあります。	工学部
私は今学部 4 年生で研究活動を行っているのですが、設備がとても充実しており研究活動に注力できる環境が整っており本当に満足しています。ありがとうございます。	工学部
工学部棟の女子トイレで荷物を引っ掛けるところが高すぎて届かないので低くしてほしい。教科書やパソコンなどが入っていて重たいかばんを、頭の上に乗せてジャンプして引っ掛けるときはとても惨めな気持ちになる。	工学部
学校に行きたい。 部活も出場許可もらえなかったので最後の大会出られずに引退した。 大学生活はほとんどパソコンの前。	工学部
TOUGH や地域創生推進プログラムなど、魅力的なプログラムが多いが、自分が現在どれほどプログラムを達成できているのか。自己管理することが一番なのですが、細かいポイントなどを知りたいときに、学生情報と紐づけてインターネット上から閲覧できると嬉しいです。	農学部
街灯を多く設置してほしい。夜に学校に行くと、暗くて足元がよく見えず、不安になる。	地域学部
・学内に空きコマや夜間等に使える学習スペースを増やしてほしい ・学内にコンビニやカフェなどが欲しい	工学部
各施設の利用のルールをホームページ上か何か冊子に示してほしい。ルールがわからず利用しにくくて困る。	農学部
気軽に色々相談できる場所が欲しい	工学部
鳥取ならではの取り組みをぜひ今後も続けてほしい。	工学部
研究設備が整っておらず、かなり制限された環境で研究を行っています。 大学はアクティブな研究を行っている研究室に設備の提供や支援を行うべき。	工学研究科
鳥取県内には大学が少ないため、他の大学の学生との交流が少ない。 そのため、全国の学生と交流できる場を増やしてほしいです。	持続性社会創生科学研究科
授業や学生生活に対するアンケートは定期的に行われるが、研究室やゼミを対象とした意見調査は不十分だと考える。 少人数かつ人流の少ない研究室やゼミは、風通しが悪いように感じることもある。	持続性社会創生科学研究科

Comment

新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中、切迫した問題から長期的な課題まで様々な意見・要望が届いています。前回調査時と同様のものもあるため、大学の説明不足も含めて、業務の見直し・点検を行い改善に努めるとともに、学生生活支援の充実という観点でも対応していく必要があります。



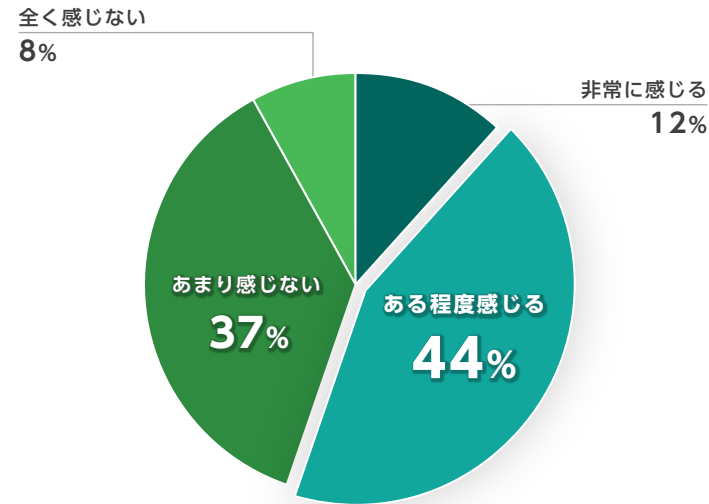
感染症編

令和2(2020)年からの新型コロナウイルス感染拡大による
大学生活への影響や心配事などについて
回答してもらいました。

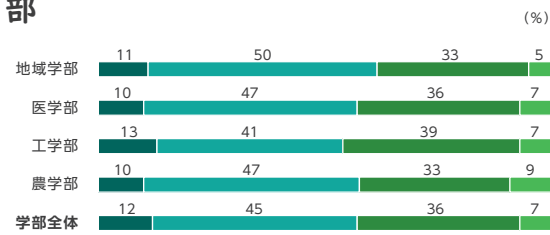
51

昨年から、新型コロナウイルスがまん延し、大学もいろいろな措置をとっていますが、あなたは現在この状況下で「不安」をどの程度感じていますか。

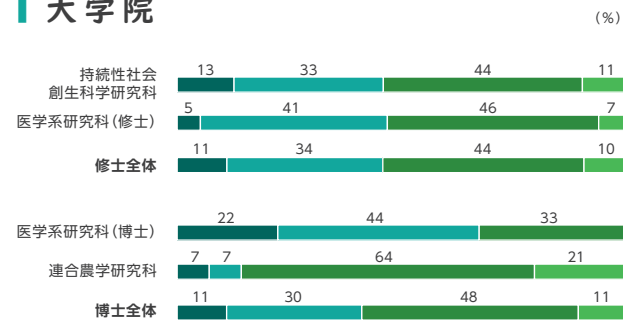
大学全体



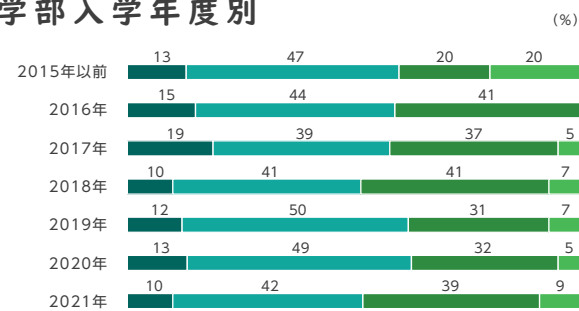
学部



大学院



学部入学年度別



Comment

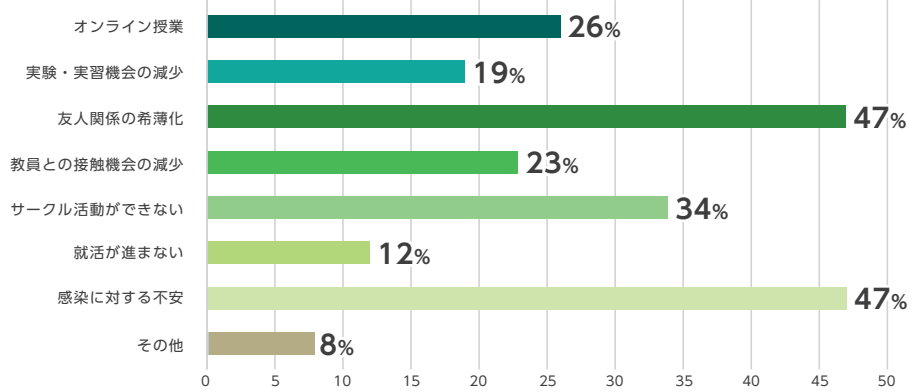
不安を感じている学生が約半数に上がることが示されました。反面、半数弱の学生はあまり不安を感じていないということでもあり、若い世代の感染では重症化例が少ないことも一因かもしれません。ただし若年層においても感染後の後遺症に関しては問題となっており、感染対策の徹底が望まれます。

52

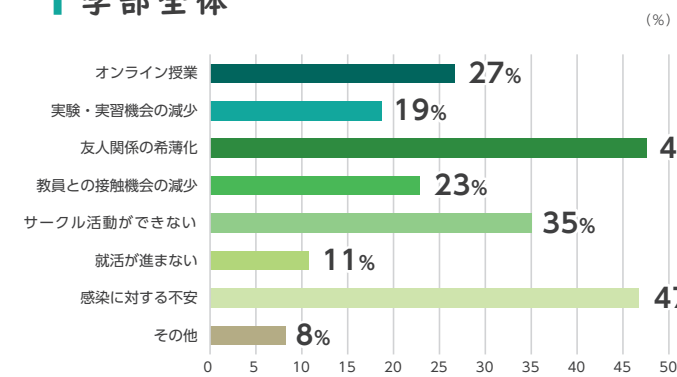
その理由は何ですか。〔複数選択可能〕

(問51で不安を「非常に感じる」又は「ある程度感じる」と答えた人に尋ねます)

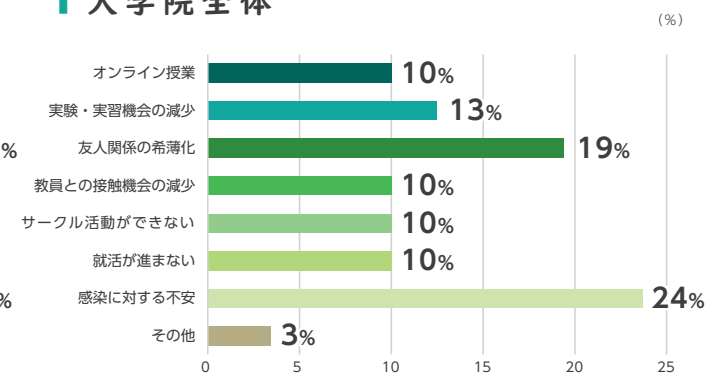
大学全体



学部全体



大学院全体



こんな意見が寄せられました

オンラインと対面のハイブリッドにするのは良いのですが、コロナウイルスに関して学生の危機感が低いように感じます。前期のようにオンライン多めの方が安心できる。

安易に鳥取県外に出られない。実家に帰りにくい。

去年、鳥取でコロナがほぼ出てない状況で全てオンライン授業だったのに、県内で感染者が出ている今年に対面授業をし、しかも密になっている点。

サークルによってきちんと感染対策を行っているところとそうでないところがある。

オンライン推奨の時期でも対面を強行する教師がいるため不安。長期休みの後もそれを考慮せず対面にしていた。ワクチンを打ったとしても結局人が集まれば感染しそうで不安。

食堂の感染症対策が甘いところに不安を感じる。

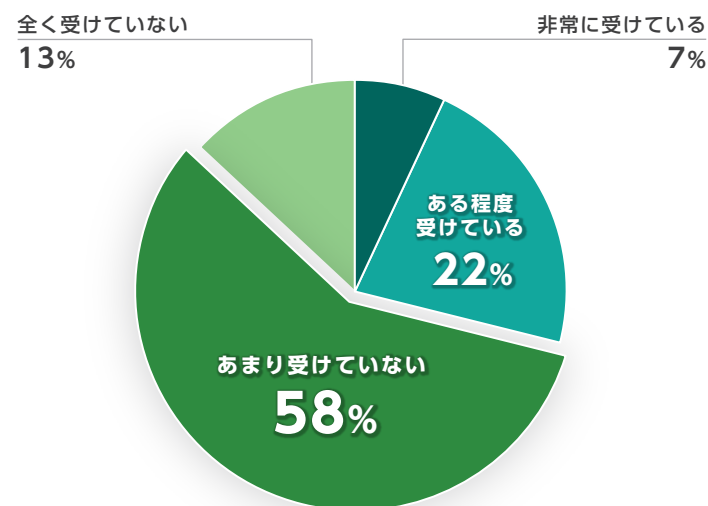
Comment

感染に対する不安の他に、友人関係の希薄化やサークル活動への不安が多く挙げられました。大学生活は学問だけでなく、友人関係も重要だと考えている学生が多いようです。一方、全てオンライン授業にしてほしいとの意見も寄せられており、これらのバランスを模索していく必要があります。

53

あなたの経済状況は、新型コロナウイルスの影響をどの程度受けていますか。

大学全体

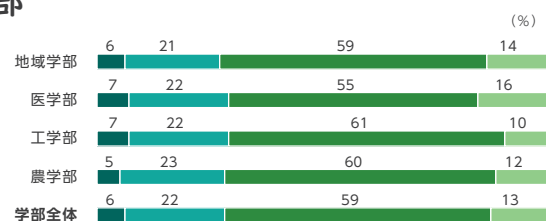


アルバイトができていない。

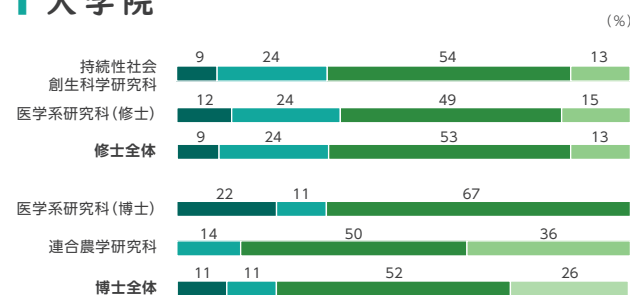
親の仕事が減って仕送りが厳しくなった。

マスクの消費が例年より増え、消毒品なども費用が掛かるため。

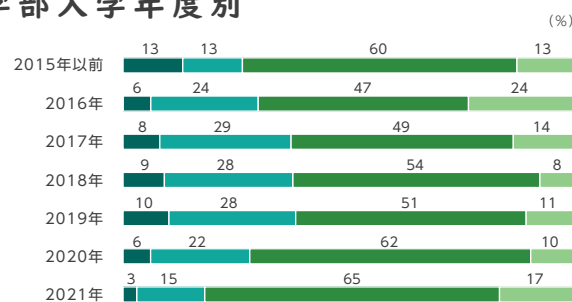
学部



大学院



学部入学年度別



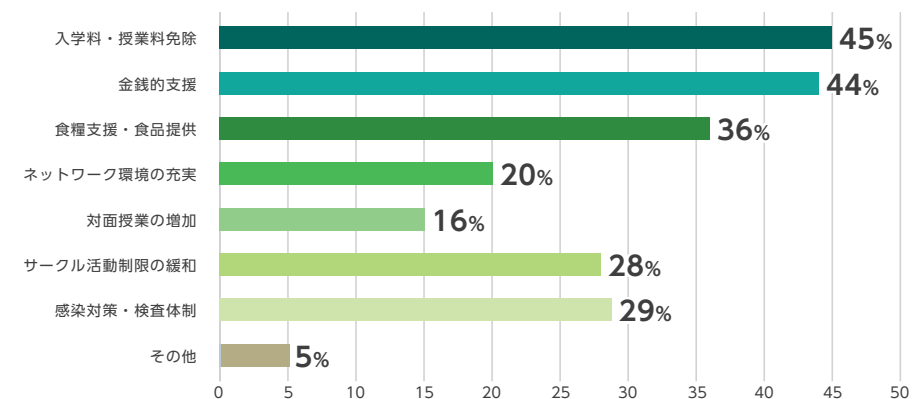
Comment

経済状況に影響を受けていると答えた学生は約1/3に上りました。仕送りの減少も一因ではあるでしょうが、主な要因は、アルバイト先が飲食店等であるためにコロナ禍でアルバイトが出来なくなったことによるものと考えられます。また、マスク等の感染対策に係る費用の増加も影響がありそうです。

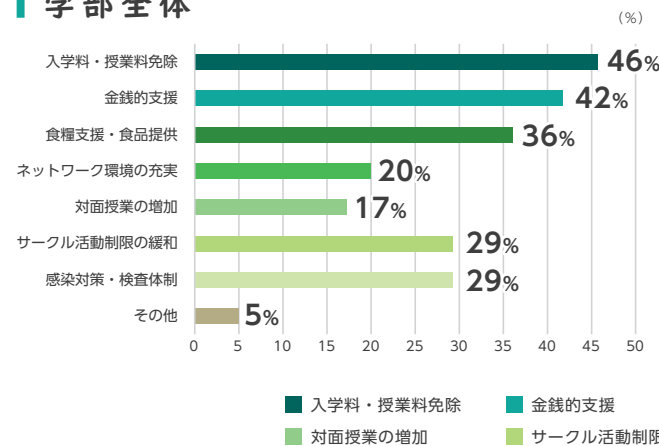
54

今後大学が行う新型コロナ対策において、優先的に検討してほしいことがあれば教えてください。
〔複数選択可能〕

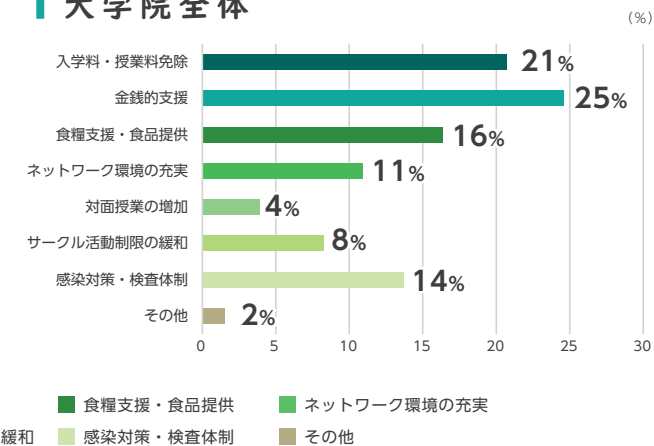
大学全体



学部全体



大学院全体



こんな意見が寄せられました

行動指針が厳しすぎる。インターンで県外に1日行っただけでも現在の規則では2週間学内に入れず、卒業研究や動物の世話等、現実的に無理があると感じる。

長期化する新型コロナウイルスの蔓延で、多くの学生は自覚無く心理的ショックを受け続けていることだと思います。そうした学生へのメンタルヘルスケアについて、もう少し優先的に検討してほしいです。

サークルの後輩たちは、イベントを自粛しながらも頑張っています。やっぱり会って話す機会が増えるといいなと願っています。後輩たちのサークル活動が心配なので、是非ともよろしく願いいたします。

サークル活動において、きちんと対策を行っていなかったり、決まりが守られていないサークルにきちんと対応処置をしてほしい。

友人を作る機会をください。

オンライン講義の実施、感染が定かではないが体調不良の学生が無理にテストを受けに来ないでも良い環境を作してほしい(オンラインによるテストの実施など)。

帰省の「〇日までに鳥取に帰ってきて」ということを守らない学生も多い。その点は不安なのでオンラインを推進して欲しい。

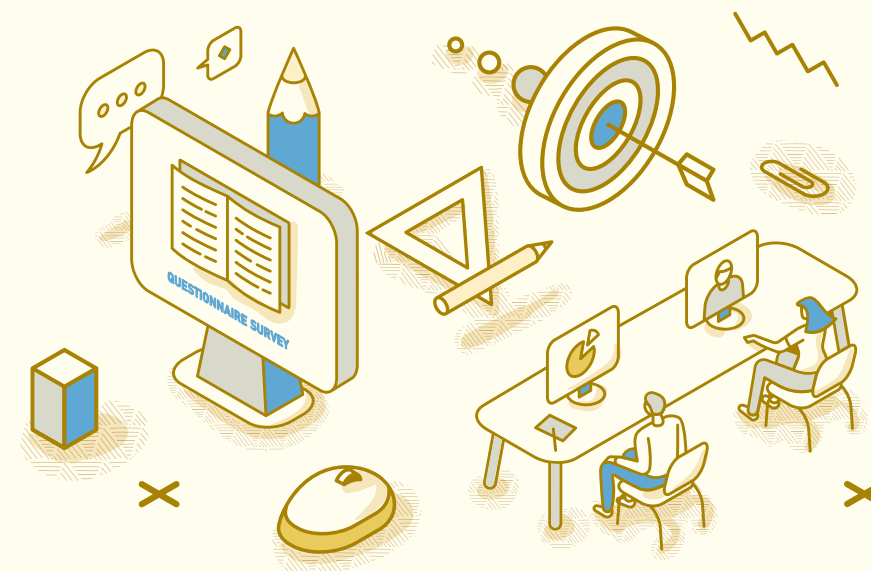
海外渡航の許可を下ろしてほしいです。私は現在、奨学金や受け入れ許可など渡航準備を進めていますが、渡航延期が続いています。自由に学べる機会をください。

2つの講義室をつないで行うサテライト授業では、先生が毎回どちらか一方の講義室ばかりで授業をするために、音声が届き取りづらなどの不平感を感じる。

コロナウイルス感染拡大防止として病院実習がある学生がバイトできなくて生活が苦しいという話をたくさん聞いた。こっそりバイトすることにも繋がるので、十分な支援や公的な制度があるならそれを学生に告知してあげてほしい。

Comment

優先的に検討してほしい事項として、入学料・授業料免除等の金銭的支援、食糧支援が多く挙げられました。今後も継続した支援策を考えていく必要があります。他方、課外活動制限の緩和や感染対策・検査体制を挙げる学生も多く見られ、教員間、学生間、又は教員と学生との意識の差にも目を向けていく必要がありそうです。



参考資料

今回のアンケートを行うにあたり、
学生に回答してもらった設問を
記載しています。

令和3年度学生生活実態調査 調査項目 [I . 基本編]

01 住居・通学方法について

問1. 【全員が対象です】 あなたの出身地域はどこですか。

- | | | | | |
|---------|-----------------|------------|---------|---------|
| 1. 鳥取県 | 2. 中国地方(鳥取県を除く) | 3. 四国地方 | 4. 近畿地方 | 5. 中部地方 |
| 6. 関東地方 | 7. 東北・北海道地方 | 8. 九州・沖縄地方 | 9. 海外 | |

問2. 【全員が対象です】 あなたの通学時間(片道)はどのくらいですか。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5～10分未満 | 3. 10～15分未満 |
| 4. 15～30分未満 | 5. 30～60分未満 | 6. 60分以上 |

問3. 【全員が対象です】 あなたの通学方法は何ですか。(乗継の場合は最も長い区間の手段を選んでください。)

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. バス |
| 5. 鉄道 | 6. 自家用車 | 7. その他 | |

問4. 【全員が対象です】 あなたの住居の種別はどれですか。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 実家 | 2. アパート・マンション(バス・トイレがユニット式) |
| 3. アパート・マンション(バス・トイレがセパレート式) | 4. 共同アパート(バス・トイレ・流しが共同) |
| 5. 学寮 | 6. その他 |

02 課外活動について

問5. 【全員が対象です】 あなたは、現在サークル等(同好会を含む)に入っていますか。

- | | | |
|-----------|------------------------|--------------|
| 1. 加入している | 2. 以前加入していたが、現在加入していない | 3. 加入したことがない |
|-----------|------------------------|--------------|

問6. 【「問5」の質問で加入している又は以前加入していたが、現在加入していないと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、どのようなサークル等(同好会を含む)に入っていますか(または入っていましたか)。

- | | | |
|-------------------|-------------------|----------------|
| 1. 学内の体育系サークル等に参加 | 2. 学内の文化系サークル等に参加 | 3. 学外のサークル等に参加 |
|-------------------|-------------------|----------------|

2) あなたは、サークル等で1週間平均何時間くらい活動していますか。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 4時間未満 | 2. 4～7時間未満 | 3. 7～14時間未満 |
| 4. 14～21時間未満 | 5. 21時間以上 | |

3) サークル活動と学業の関係はどうですか。

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 1. 学業をかなり犠牲にしている | 2. 学業を少し犠牲にしている | 3. 学業を犠牲にしていない |
|------------------|-----------------|----------------|

問7. 【全員が対象です】あなたは、直近1年間にボランティア活動をしていますか。またはしたことがありますか。

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1. している | 2. したことがある | 3. したことがない |
|---------|------------|------------|

03 アルバイトについて

問8. 【全員が対象です】あなたは、直近1年間にアルバイトをしましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問9. 【「問8」の質問ではいと答えた人に尋ねます】

1) あなたは、直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか。

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日 | 3. 週1～2日 |
| 4. 長期休業期間中のみした | 5. たまに、必要に応じてした | |

2) 直近1年間に主にどんなアルバイトをしましたか。(複数選択可能)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 飲食店店員(ファミレス・ファーストフード以外) | 2. 肉体労働(引越し手伝い以外) |
| 3. 一般事務 | 4. ファミレス・ファーストフード店員 |
| 5. 家庭教師 | 6. ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント |
| 7. 引越し手伝い | 8. スーパー・コンビニ店員 |
| 9. 商品販売 | 10. イベントスタッフ |
| 11. 学習塾講師 | 12. その他 |

3) 1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 4時間未満 | 2. 4～7時間未満 | 3. 7～14時間未満 |
| 4. 14～21時間未満 | 5. 21時間以上 | |

4) アルバイトの収入は、何に使いましたか。または何に使う予定ですか。(複数選択可能)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1. 修学費(教科書、参考書、公務員講座費等) | 2. 授業料 |
| 3. 通信費(携帯電話、インターネット等) | 4. 趣味 |
| 5. 課外活動費(サークル活動、ボランティア活動等) | 6. 住居費(家賃、光熱料水費含む) |
| 7. ファッション・美容費(散髪、化粧品、衣服等) | 8. 交通費(旅行等) |
| 9. 食費 | 10. その他 |

5) アルバイトが修学上、負担になっていますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. かなり負担になっている | 2. ある程度負担になっている |
| 3. ほとんど負担になっていない | 4. 全く負担になっていない |

04 就職について

問10. 【全員が対象です】あなたは、将来主にどのような職業に就きたいと思いますか。

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------|
| 1. 大学・官公庁等の教育・研究職 | 2. 教員 | 3. 一般公務員 |
| 4. 企業等の技術・研究職 | 5. 企業等の総合職・営業職・一般職 | 6. 資格を要する専門職 |
| 7. 自営業(家業を継ぐ場合も含む) | 8. その他 | |

問11. 【全員が対象です】あなたが就職するとした場合、勤務地は主にどこを希望しますか。

- | | | | |
|---------------|-----------------|-------------|------------|
| 1. 鳥取県 | 2. 中国地方(鳥取県を除く) | 3. 四国地方 | 4. 近畿地方 |
| 5. 中部地方 | 6. 関東地方 | 7. 東北・北海道地方 | 8. 九州・沖縄地方 |
| 9. 国内であればどこでも | 10. 海外 | | |

問12. 【全員が対象です】勤務地として希望している主な理由は何ですか。

- | | | |
|-----------|--------------|---------------------------|
| 1. 出身地だから | 2. 出身地に近いうから | 3. 出身地ではないが、希望の就職先の所在地だから |
| 4. 都市圏だから | 5. その他 | |

05

カリキュラムについて

問13.【学部学生の人に尋ねます】

- 1) 全学共通科目について、満足している授業科目の区分を全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 入門科目	2. 基幹科目(人文社会)	3. 基幹科目(自然)	4. 実験・演習
5. 主題科目	6. キャリア科目	7. 英語	8. 初修外国語
9. 健康スポーツ実技	10. グローバル教育基礎科目(左記科目は除く)		
11. 地域志向・地域創生推進科目(左記科目は除く)			

- 2) 全学共通科目について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 内容の興味深さ	2. 説明の分かりやすさ	3. 将来への有用性
4. 教員の人柄・対応	5. 授業の双方向性	6. 設備の充実度
7. 課題の適切さ	8. 成績の妥当性	9. その他

- 3) 全学共通科目について、満足できない授業科目の区分を全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 入門科目	2. 基幹科目(人文社会)	3. 基幹科目(自然)	4. 実験・演習
5. 主題科目	6. キャリア科目	7. 英語	8. 初修外国語
9. 健康スポーツ実技	10. グローバル教育基礎科目(左記科目は除く)		
11. 地域志向・地域創生推進科目(左記科目は除く)			

- 4) 全学共通科目について、満足できない理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 内容の興味深さ	2. 説明の分かりやすさ	3. 将来への有用性
4. 教員の人柄・対応	5. 授業の双方向性	6. 設備の充実度
7. 課題の適切さ	8. 成績の妥当性	9. その他

問14.【全員が対象です】

- 1) 学部または研究科の専門教育について、満足しているものを1つ選んでください。

1. 講義(必修)	2. 講義(必修以外)
3. 実験・演習・実習・ゼミなど	4. 研究室活動(卒業研究・修士論文を含む)

- 2) 学部または研究科の専門教育について、満足している理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 内容の興味深さ	2. 説明の分かりやすさ	3. 将来への有用性
4. 教員の人柄・対応	5. 授業の双方向性	6. 設備の充実度
7. 課題の適切さ	8. 成績の妥当性	9. その他

- 3) 学部または研究科の専門教育について、満足できないものを1つ選んでください。

1. 講義(必修)	2. 講義(必修以外)
3. 実験・演習・実習・ゼミなど	4. 研究室活動(卒業研究・修士論文を含む)

- 4) 学部または研究科の専門教育について、満足できない理由として当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 内容の興味深さ	2. 説明の分かりやすさ	3. 将来への有用性
4. 教員の人柄・対応	5. 授業の双方向性	6. 設備の充実度
7. 課題の適切さ	8. 成績の妥当性	9. その他

- 5) 授業科目(全学共通を含む)を通じて、どのような力が身についたと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 知識・理解	2. コミュニケーション能力	3. 数量的スキル
4. 情報活用スキル	5. 論理的思考力・創造的表現力	6. 問題発見・解決力
7. 自己管理・実行力	8. 生涯学習力	9. 協働力
10. 倫理観	11. 責任感・社会性	

- 6) 授業科目(全学共通を含む)を通じて、今後どのような力を身につけたいですか。当てはまるものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 知識・理解	2. コミュニケーション能力	3. 数量的スキル
4. 情報活用スキル	5. 論理的思考力・創造的表現力	6. 問題発見・解決力
7. 自己管理・実行力	8. 生涯学習力	9. 協働力
10. 倫理観	11. 責任感・社会性	

06

家計状況について

問15.【全員が対象です】 あなたの直近1年間における平均的な1か月の収入はいくらですか。小遣いや仕送り、奨学金、アルバイトに区分して、回答してください。

- 1) 収入合計

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～3万円未満
4. 3万円～5万円未満	5. 5万円～7万円未満	6. 7万円～9万円未満
7. 9万円～11万円未満	8. 11万円～13万円未満	9. 13万円以上

- 2) 学費負担者等からの小遣いや仕送り

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～3万円未満
4. 3万円～5万円未満	5. 5万円～7万円未満	6. 7万円～9万円未満
7. 9万円～11万円未満	8. 11万円～13万円未満	9. 13万円以上

- 3) 奨学金

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～3万円未満
4. 3万円～5万円未満	5. 5万円～7万円未満	6. 7万円～9万円未満
7. 9万円～11万円未満	8. 11万円～13万円未満	9. 13万円以上

- 4) アルバイト

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～3万円未満
4. 3万円～5万円未満	5. 5万円～7万円未満	6. 7万円～9万円未満
7. 9万円～11万円未満	8. 11万円～13万円未満	9. 13万円以上

問16.【全員が対象です】 あなたの直近1年間における平均的な1か月の支出はいくらですか。食費、住居費、修学費、課外活動費、その他に区分して、回答してください。

- 1) 支出合計

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～3万円未満
4. 3万円～5万円未満	5. 5万円～7万円未満	6. 7万円～9万円未満
7. 9万円～11万円未満	8. 11万円～13万円未満	9. 13万円以上

- 2) 食費

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～2万円未満
4. 2万円～3万円未満	5. 3万円～4万円未満	6. 4万円～5万円未満
7. 5万円以上		

- 3) 住居費(家賃、光熱水料費含む)

1. 0円	2. ～1万円未満	3. 1万円～2万円未満
4. 2万円～3万円未満	5. 3万円～4万円未満	6. 4万円～5万円未満
7. 5万円以上		

4) 修学費(教科書、参考書、公務員講座費、英会話費等)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ～1万円未満 | 3. 1万円～2万円未満 |
| 4. 2万円～3万円未満 | 5. 3万円～4万円未満 | 6. 4万円～5万円未満 |
| 7. 5万円以上 | | |

5) 課外活動費(サークル活動、ボランティア活動等)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ～1万円未満 | 3. 1万円～2万円未満 |
| 4. 2万円～3万円未満 | 5. 3万円～4万円未満 | 6. 4万円～5万円未満 |
| 7. 5万円以上 | | |

6) その他(上記に含まれない経費)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. ～1万円未満 | 3. 1万円～2万円未満 |
| 4. 2万円～3万円未満 | 5. 3万円～4万円未満 | 6. 4万円～5万円未満 |
| 7. 5万円以上 | | |

問17.【全員が対象です】あなたは、現在の自分の経済状態をどのように感じていますか。

- | | | | | |
|----------|------------|-------|----------|--------|
| 1. 余裕がある | 2. やや余裕がある | 3. 普通 | 4. やや苦しい | 5. 苦しい |
|----------|------------|-------|----------|--------|

07 学生生活について

問18.【全員が対象です】あなたは、現在学生生活の中でどのような点に最も重点をおいて行動していますか。

- | | | |
|----------------|-------------|--------------------|
| 1. 勉強・研究をする | 2. 課外活動をする | 3. 友人を得て豊かな人間関係を結ぶ |
| 4. レジャー等生活を楽しむ | 5. アルバイトをする | 6. 就職の準備をする |
| 7. 特にない | | |

問19.【全員が対象です】あなたは、1日平均何時間くらい睡眠をとっていますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 3時間未満 | 2. 3～5時間 | 3. 5～7時間 |
| 4. 7～9時間 | 5. 9時間以上 | |

問20.【全員が対象です】あなたは、何時ごろに就寝していますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 21時～22時 | 2. 22時～23時 | 3. 23時～24時 |
| 4. 24時～1時 | 5. 1時～2時 | 6. 2時～3時 |
| 7. その他 | | |

問21.【全員が対象です】あなたは授業以外で、予習・復習の他、宿題やレポート作成を含めて1日平均何時間くらい勉強していますか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1～2時間 | 3. 2～3時間 |
| 4. 3～4時間 | 5. 4時間以上 | |

問22.【全員が対象です】授業以外で勉強する場所は、主にどこですか。

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 自宅 | 2. 学内の自習室等 | 3. 大学図書館 |
| 4. 学生研究室 | 5. その他 | |

問23.【全員が対象です】本学の施設・設備の充実度及び利用のしやすさについて、良いと感じている施設を回答してください。
〔複数選択可能〕

- | | | |
|---------------------------|------------|-----------|
| 1. 駐車場 | 2. 体育施設 | 3. 駐輪場 |
| 4. 課外活動施設(大学会館、共用施設、部室棟他) | 5. 実験室・実習室 | 6. 生協食堂 |
| 7. スタディールーム・リフレッシュルーム | 8. 講義室 | 9. 生協ショップ |

問24.【全員が対象です】あなたは、現在の学生生活に満足していますか。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-------|---------|---------|-------|

問25.【全員が対象です】現在の学生生活で満足している部分を教えてください。〔複数選択可能〕

- | | | |
|-----------------|------------------|--------------------|
| 1. 学内に活気がある | 2. 授業が面白い | 3. サークル活動がうまくいっている |
| 4. 教員との接触の機会が多い | 5. 友人関係がうまくいっている | 6. 大学の施設・設備が良い |
| 7. 鳥取大学に魅力がある | 8. 鳥取に魅力がある | 9. その他 |
| 10. 特にない | | |

問26.【全員が対象です】現在の学生生活で不満な部分を教えてください。〔複数選択可能〕

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 学内に活気がない | 2. 授業が面白くない | 3. サークル活動がうまくいかない |
| 4. 教員との接触の機会が少ない | 5. 友人関係がうまくいっていない | 6. 大学の施設・設備が良くない |
| 7. 鳥取大学に魅力がない | 8. 鳥取に魅力がない | 9. その他 |
| 10. 特にない | | |

令和3年度学生生活実態調査 調査項目 [II . 学生支援体制編]

08 学習支援体制について

問27.【全員が対象です】教育に関連するポリシー、制度等について、知っているものを全て選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 鳥取大学教育ブランドデザイン | 2. 学士課程・大学院課程教育に関する三つの基本方針 |
| 3. 成績の評価(成績評価基準) | 4. 成績評価の疑義申立て |
| 5. CAP制度 | 6. GPA制度 |
| 7. 授業中のマナー | 8. 試験における「不正行為」 |
| 9. グローバル教育プログラム | 10. 地域創生推進プログラム |

問28.【全員が対象です】シラバスはどのように活用していますか。〔複数選択可能〕

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 授業科目の選択 | 2. 授業内容の確認 |
| 3. 予習・復習 | 4. 到達目標の確認 |
| 5. 成績評価方法と基準の確認 | 6. 教育ブランドデザインや卒業認定・学位授与の方針との関連 |

問29.【全員が対象です】学務支援システムは、履修登録と成績の確認以外で、どのように活用していますか。〔複数選択可能〕

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 個人時間割の確認 | 2. 一般健康診断情報の確認 |
| 3. 授業料免除の申請をする日の予約 | 4. 奨学金の申請・返還誓約書提出をする日の予約 |
| 5. 学内連絡の受信設定 | 6. 授業連絡の確認 |
| 7. 授業アンケートの自由記述の回答 | 8. 活用していない |

問30.【全員が対象です】 学習支援環境(学務支援システム、シラバス、ネットワーク、e-Learningシステム、オンデマンドブリ
ンタ等)について満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※学習支援環境について要望がある方は、その内容を記入してください。〔			
〕			

問31.【全員が対象です】 図書館に関連するサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. My Library	2. 各種講習会の実施
3. 県内図書館からの資料の取り寄せ	4. 他大学等からの論文の取り寄せ
5. 鳥取大学研究成果リポジトリ	6. 自宅等キャンパス外からの電子ジャーナル、電子書籍、データベース等の利用
7. リクエスト、ブックハンティングなどの学生による選書	

問32.【全員が対象です】

1) 図書館の施設(ラーニングcommons、閲覧室など)について満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※その満足度を選択した理由について、記入してください〔			
〕			

2) 図書館の蔵書(冊数、構成)について満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※その満足度を選択した理由について、記入してください〔			
〕			

3) 図書館のサービス(貸出、Webサービスなど)について満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※その満足度を選択した理由について、記入してください〔			
〕			

問33.【全員が対象です】

本学の学習支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※その満足度を選択した理由について、記入してください〔			
〕			

09

経済支援体制について

問34.【全員が対象です】 経済支援制度について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 日本学生支援機構奨学金(修学支援新制度を含む)【学部生のみ】	2. 入学科・授業料免除/徴収猶予【大学院生のみ】
3. 国の教育ローン(日本政策金融公庫)	4. 提携教育ローン(オリエントコーポレーション)
5. 地方公共団体・民間育英団体の奨学金	6. 学生表彰
7. 優秀学生育成奨学金	8. 学内ワークスタディ

問35.【日本学生支援機構奨学金(修学支援新制度を含む)を申請しなかった学部生が対象です】 申請しなかった主な理由は何ですか。

1. 制度を知らなかった	2. 学力基準に該当しないと思った
3. 家計基準に該当しないと思った	4. 申請手続きが面倒だった
5. 経済的に困っていない	6. その他

問36.【入学科免除・授業料免除/日本学生支援機構奨学金を申請しなかった大学院生が対象です】

1) 入学科・授業料免除を申請しなかった主な理由は何ですか。

1. 制度を知らなかった	2. 学力基準に該当しないと思った	3. 家計基準に該当しないと思った
4. 申請手続きが面倒だった	5. 経済的に困っていない	6. その他

2) 奨学金を申請しなかった主な理由は何ですか。

1. 制度を知らなかった	2. 学力基準に該当しないと思った	3. 家計基準に該当しないと思った
4. 申請手続きが面倒だった	5. 経済的に困っていない	6. その他

問37.【全員が対象です】 日本学生支援機構奨学金(修学支援新制度を含む)について要望することがあります。〔複数選択可能〕

1. 学力基準の緩和	2. 家計基準の緩和	3. 事務手続きの簡略化
4. 特に希望はない	5. その他	

問38.【全員が対象です】 本学の経済支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
5. ※その満足度を選択した理由について、記入してください。〔			
〕			

10

生活支援体制について

問39.【全員が対象です】 学生相談、生活支援、ハラスメントの防止等に関連するサービス、制度等について、知っているものを全
て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 「学生なんでも相談窓口」	2. 学生相談員	3. ハラスメント相談員
4. 障がい学生支援	5. 保健管理センター	6. 学生に対する懲戒処分及びその規則

問40.【全員が対象です】 あなたは、自分の不安や悩みについてどのように対処していますか。〔複数選択可能〕

1. 自分で解決	2. 家族に相談	3. 友人・先輩に相談
4. 教職員に相談	5. 保健管理センターに相談	6. 学生支援センターに相談
7. 学生相談員に相談	8. 誰にも相談していない	9. その他

問41.【全員が対象です】 保健管理センターで行っているサービス等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可能〕

1. 健康診断	2. 心身の健康相談
3. 医師による診察	4. カウンセラーによるカウンセリング
5. 健康指導(生活習慣など)	6. 計測(身長体重・体組成・血圧など)や健康に関する資料

問42.【全員が対象です】 健康診断を確実に受診するために、実施してほしい取組みはありますか。

1. 例年通りでよい	2. 周知を徹底してほしい
3. 授業があっても受けられるようにしてほしい	4. 予約制にしてほしい
5. その他	

問43.【全員が対象です】 本学の学生相談及び生活支援全般に満足していますか。

1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満
※その満足度を選択した理由について、記入してください〔			
〕			

11

就職支援体制について

問44.【全員が対象です】 キャリアセンター（米子地区は学務課学生係の就職相談）を利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 利用したことはないが、知っている 3. 知らない

問45.【全員が対象です】 就職支援に関連する本学のメニューや制度等について、知っているものを全て選んでください。〔複数選択可〕

1. キャリア相談員による個別相談 2. キャリアセンター主催各種ガイダンス・セミナー
3. 「鳥大キャリアナビ」（オンライン求人情報システム） 4. WEB面接ルーム（カメラ・照明・有線 LAN）
5. WEB面接対策オリジナル動画 6. 学内合同企業説明会
7. 就職支援交通費補助

問46.【全員が対象です】 就職活動への支援として、大学側にどのようなことを最も期待しますか。

1. キャリア相談員による個別相談の充実 2. 各学部の就職担当教員の指導・助言
3. ガイダンス・セミナーの充実 4. 出身地域での就職に関する情報提供
5. 交通費補助などの経済的支援 6. 特に思いつかない

問47.【全員が対象です】 本学の就職支援全般に満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

※その満足度を選択した理由について、記入してください〔 〕

12

その他

問48.【全員が対象です】 本学の教職員の対応はどうか。

1. よい 2. 普通 3. 悪い

問49.【全員が対象です】

教職員に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。〔 〕

問50.【全員が対象です】

本学に対して、意見・要望があれば自由に記入してください。〔 〕

令和3年度学生生活実態調査 調査項目 〔Ⅲ.感染症編〕

13

新型コロナウイルス対策について

問51.【全員が対象です】 昨年から、新型コロナウイルスがまん延し、大学もいろいろな措置をとっていますが、あなたは現在この状況下で「不安」をどの程度感じていますか。

1. 非常に感じる 2. ある程度感じる
3. あまり感じない 4. 全く感じない

問52.【「問51」で不安を「非常に感じる」又は「ある程度感じる」と答えた人に尋ねます】

その理由は何ですか。〔複数選択可能〕

1. オンライン授業が多い／苦痛だ 2. 実験や実習が減り研究／技術習得が進まない
3. 友人関係が作りにくい／希薄になった 4. 教員との接触の機会が少ない
5. サークル活動ができない 6. 就活が進まない
7. 感染するのではないか／しているのではないか 8. その他

※「その他」を選んだ方は、具体的な内容を記入してください。〔 〕

問53.【全員が対象です】 あなたの経済状況は、新型コロナウイルスの影響をどの程度受けていますか。

1. 非常に受けている 2. ある程度受けている
3. あまり受けていない 4. 全く受けていない

※影響を「非常に受けている」「ある程度受けている」と答えた方は、その内容を記入してください。〔 〕

問54.【全員が対象です】 今後大学が行う新型コロナ対策において、優先的に検討してほしいことがあれば教えてください。〔複数選択可能〕

1. 入学金・授業料の減免 2. 金銭的な支援
3. 食糧支援・食品提供 4. wi-fi機器の貸与やアクセスポイントの充実
5. 対面授業の増加 6. サークル活動制限の緩和
7. 感染対策 /学内で検査できる体制 8. その他

※「その他」を選んだ方は、具体的な内容を記入してください。〔 〕